

令和元年度

岩手県農業研究センター 年報

令和2年11月



# 目 次

I 農業研究センターの概要	
1 組織機構・職員数	1
2 会議、委員会、部会等の運営	2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	6
(3) 企画運営会議、全体会議	6
(4) 委員会等の運営	9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ 飼料生産委員会	
(5) その他会議	12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	
ク 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	
II 試験研究の推進	
1 研究活動の概要	1
2 トピックス	2
(1) 特許・品種登録出願状況	2
(2) 表彰等受賞状況	2
(3) 連携プロジェクトによる研究推進	3
3 研究室・課の動き	4
(1) 企画管理部	4
(2) 基盤生産研究部	5
(3) 園芸技術研究部	6
(4) 生産環境研究部	8
(5) 病害虫防除部	9
(6) 畜産研究所	9
(7) 県北農業研究所	12

<b>4 令和元年度試験研究課題</b> .....	- 13
(1) 細目課題分類 .....	- 13
(2) 試験研究課題一覧 .....	- 14
(3) 令和2年度試験研究を要望された課題とその措置一覧 .....	- 20
<b>5 共同研究等の推進</b> .....	- 21
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 .....	- 21
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業 .....	- 21
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業 .....	- 22
(4) 革新的技術開発・緊急展開事業 .....	- 22
(5) 公設試等可能性調査 / 公設試連携研究 .....	- 23
(6) その他独法等からの委託 .....	- 23
(7) 民間委託試験 .....	- 24
(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究 .....	- 24
(9) 他の公設試との共同研究 .....	- 25
(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会 .....	- 25
(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター) .....	- 25
(12) その他共同研究 .....	- 25
(13) 産学官連携 .....	- 26
<b>6 現地試験の実施</b> .....	- 27
<b>III 試験研究の成果</b>	
<b>1 試験研究成果</b> .....	- 1
(1) 令和元年度成果数 .....	- 1
(2) 令和元年度成果名一覧 .....	- 2
<b>2 追跡評価</b> .....	- 5
(1) 評価視点 .....	- 5
(2) 追跡評価の調査方法 .....	- 5
(3) 追跡評価の結果 .....	- 5
<b>3 東北農業試験研究成果</b> .....	- 8
(1) 研究成果数 .....	- 8
(2) 研究成果名 .....	- 8
<b>IV 試験研究成果の発表</b>	
<b>1 試験成績書等刊行物</b> .....	- 1
<b>2 研究レポート</b> .....	- 2
<b>3 岩手県農業研究センター研究報告</b> .....	- 4
<b>4 学会等研究報告</b> .....	- 4
(1) 学術論文 .....	- 4
(2) 学会発表 .....	- 6
<b>5 雑誌等掲載</b> .....	- 10
(1) 専門雑誌等 .....	- 10
(2) 月刊農業普及 .....	- 10
(3) 岩手の畜産 .....	- 11
(4) その他の雑誌等 .....	- 11
(5) ホームページ等Web掲載 .....	- 12

6	新聞等掲載	-	13
7	テレビ・ラジオ放送	-	14
	(1) テレビ	-	14
	(2) ラジオ	-	14
8	指導資料等掲載	-	15
9	図書資料収集・提供	-	17
10	ホームページ	-	17
V	指導・啓発活動		
1	技術伝達研修等への対応	-	1
2	現地指導・研修会等への講師派遣	-	5
3	視察者、見学者の受け入れ状況	-	13
4	春季一般公開及び参観デー	-	13
5	技術セミナー等の開催	-	13
6	農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	-	14
7	研修生の受け入れ	-	15
	(1) 海外研修	-	15
	(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	-	15
	(3) 短期研修生	-	15
	(4) 体験学習の受け入れ	-	15
	ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの		
	イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの		
	ウ インターンシップ等に対応したもの		
8	協議会、委員会等委員	-	19
VI	職員研修		
1	大学院派遣	-	1
2	海外派遣・研修	-	1
3	国内研修への派遣	-	1
	(1) 依頼研究員	-	1
	(2) 農林水産関係研究リーダー研修	-	1
	(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	-	1
	(4) 農林水産関係研究者研修	-	1
	(5) その他	-	2
4	所内研修等	-	12
	(1) 岩手県総務部人事課主催研修	-	12
	(2) 岩手県農林水産部主催研修	-	14
	(3) 所内研修	-	15
5	所内セミナー等	-	16

## VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	- 1
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	- 1
(2) その他原々種種子の生産	- 1
2 作物の原種の採種	- 2
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	- 2
(2) その他原種種子の生産	- 2
3 種苗等の配布	- 3
(1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に基づく種子の配布	- 3
(2) その他種苗の配布	- 3
4 県有種雄牛の精液の供給	- 4
(1) 黒毛和種	- 4
(2) 日本短角種	- 4
5 種豚、種鶏等の配布	- 5
(1) 豚の配布	- 5
(2) 種鶏等の配布	- 5
6 寄託放牧	- 5
(1) 牛	- 5
(2) 馬	- 5

## VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	- 2
(1) 建物・用地の面積	- 2
(2) 飼養家畜頭数	- 2
3 種苗登録、特許等	- 3
(1) 種苗登録	- 3
(2) 特許、実用新案	- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	- 6
4 表彰	- 7
5 職員名簿	- 10

### 東日本大震災津波への対応

1 研修会、セミナーの開催	- 1
2 復興支援業務の実施	- 1

沿革	- 1
----	-----

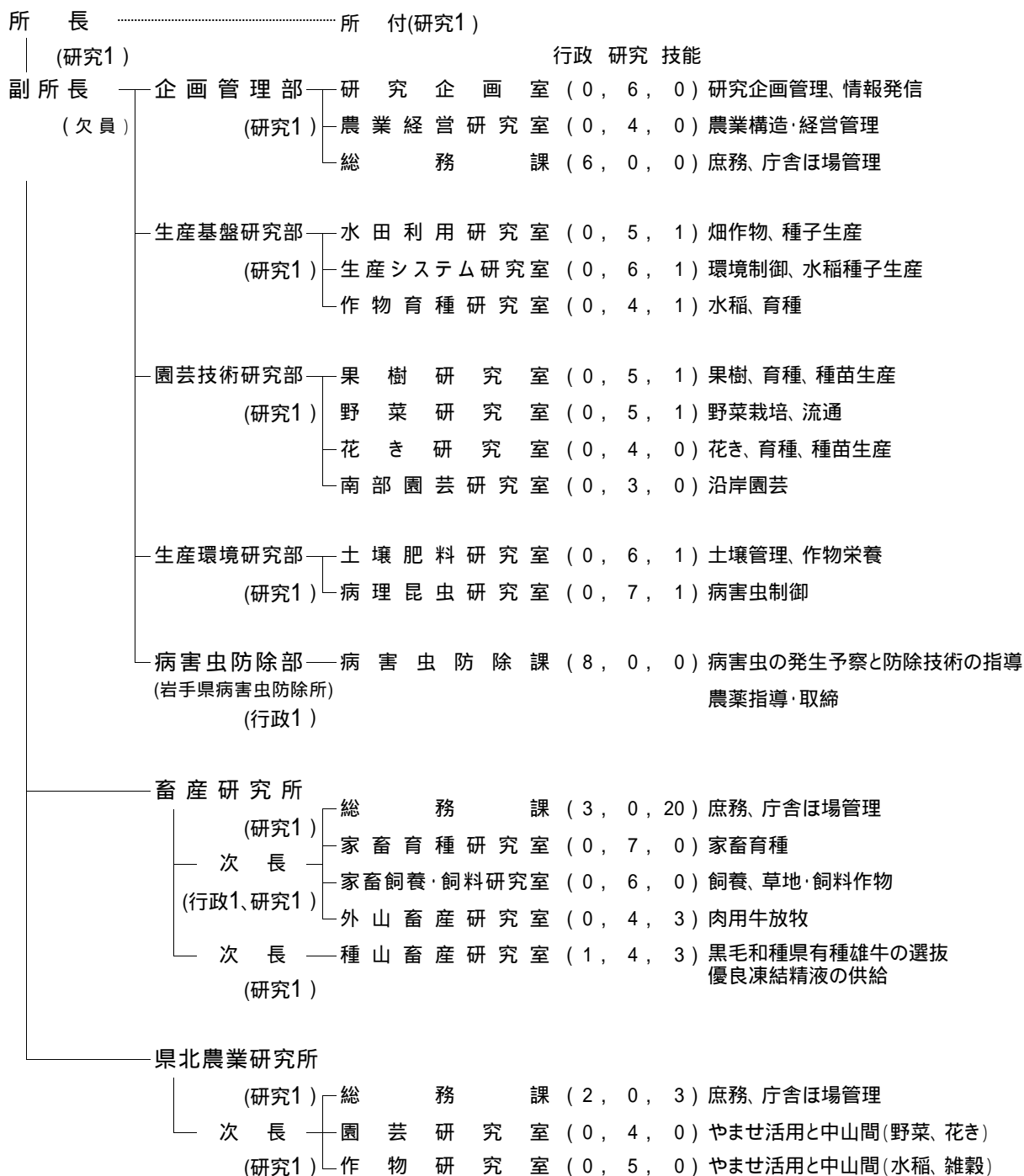
# 農業研究センターの概要





# Ⅰ 農業研究センターの概要

## 1 組織機構・職員数 実数



職員数 定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	56	3	15	4	4	11	93
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	78	3	39	7	8	16	151

1 欠員1名(副所長1)

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 新規試験研究課題の評価と選定

##### (ア) 第1回内部検討会議

###### a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜花き)	畜産部会
開催日		R元.7.30(火)	R元.7.31(水)	R元.7.31(水)	R元.8.1(木)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター		-	-	-
	農林水産部農政関係各室課				
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-	-
	農業大学校	-	-	-	-
	各農業改良普及センター				

###### b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 令和元・2年度新規試験研究課題案について

##### (イ) 第1内部調整会議

- a 開催日 令和元年8月30日(金) 9:30～
- b 協議事項等
  - (a) 令和元・2年度新規試験研究課題案について
- c 参集範囲  
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

##### (ウ) 第1回外部検討会議

###### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		園芸部会	畜産部会
開催日		R元.9.12(木)	R元.9.11(水)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー		
	東北農政局岩手支局		
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	-	
	岩手県農業共済組合		-
	岩手県農産物改良種苗センター	-	-
	岩手県植物防疫協会	-	-
	岩手県農薬卸商業協同組合		-
	岩手県農業公社	-	
	岩手県農業機械協会	-	-
	岩手県畜産協会	-	

###### b 協議事項等

- (a) 令和元・2年度新規試験研究課題案について

##### (エ) 第1回評価調整会議

- a 開催日 令和元年9月26日(木) 13:00～
- b 協議事項等
  - (a) 令和2年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
  - (b) 令和元・2年度新規試験研究課題案について
- c 参集範囲  
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## イ 試験研究成果の採択

### (ア) 第2回内部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹・花き)	園芸部会 (野菜)	畜産部会
開催日		R元.12.9(月)	R元.12.5(木)	R元.12.6(金)	R元.12.10(火)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター				-
	農林水産部農政関係各室課				
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター		-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-	
	農業大学校	-	-	-	-
	各農業改良普及センター				

#### b 協議事項

(a) 令和元年度試験研究成果(案)について

(b) その他

### (イ) 第1内部調整会議

a 開催日 令和元年12月16日(月) 14:00～16:00

#### b 協議事項等

(a) 第2回内部検討会議での指摘事項への対応について

(b) 第2回外部検討会議で検討する試験研究成果(案)について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

### (ウ) 第2回外部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹・花き)	園芸部会 (野菜)	畜産部会
開催日		R2.1.10(金)	R2.1.8(水)	R2.1.9(木)	R2.1.14(火)
参 集 範 囲	試験研究推進アドバイザー				
	東北農政局岩手支局				
	全国農業協同組合連合会岩手県本部				
	岩手県農業共済組合	-		-	-
	岩手県農産物改良種苗センター	-		-	-
	岩手県植物防疫協会				-
	岩手県農薬卸商業協同組合				-
	岩手県農業公社	-	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-	-
	岩手県畜産協会	-	-	-	

#### b 協議事項

(a) 令和元年度試験研究成果(案)について

(b) その他

### (工) 第2回評価調整会議

a 開催日 令和2年1月20日(月) 9:30～11:00

#### b 協議事項

(a) 令和元年度試験研究成果(案)について

(b) 主要成果の選定について

(c) 試験研究成果の公表範囲について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

### (ア) 第3回内部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R2.3.2(月)	R2.3.3(火)	R2.2.28(金)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター			-
	農林水産部農政関係各室課			
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター			

#### b 協議事項

- (a) 令和2年度試験研究課題(新規、変更課題)の試験設計について
- (b) 令和元年度終了課題の報告について
- (c) 令和2年度新規試験研究課題(案)について
- (d) 試験研究を要望された課題とその措置について(A2、A3区分の結果)

### (イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 令和2年3月19日(木) 15:00～

#### b 協議事項

- (a) 試験研究評価について
- (b) 令和2年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 令和元年度追跡調査の結果について
- (d) 岩手県農業研究センター試験研究推進計画の策定について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

## エ 岩手県農業技術開発会議

### (ア) 第1回

a 開催日 令和2年2月4日(火) 15:15～

#### b 報告・協議事項

- (a) 農林水産技術立県いわて 技術開発の基本方向(案)について
- (b) 農業研究センターにおける技術開発について
- (c) 生工研センターにおける技術開発について
- (d) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- (d) その他

#### c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター  
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校  
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	-	
	中山 壮一	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター生産基盤研究領域 領域長	-	-
	高橋 章郎	岩手県農業農村指導士(花巻市) 有限会社アグリスト 社長	-	-
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久・代表(雫石町)	-	
	高橋 一樹	全農岩手県本部米穀部・次長	-	-
農産 (畑作)	新良 力也	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 領域長		-
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役		
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	
	阿部 和幸	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 リンゴ育種ユニット ユニット長	-	
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部生産販売課 技術主管	-	-
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長	-	
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	-	
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター・教授	-	-
	永坂 厚	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫グループ 主任研究員		
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺区)		
	高村 亮一	岩手県農業農村指導士(岩手町)		
	鈴木 公	全農岩手県本部園芸部・次長		
園芸 (花き)	稲本 勝彦	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門 栽培生理ユニット長	-	
	高橋 俊一	(株)T&Gパイオナーサリー・会長兼CEO	-	
	阿部 潤	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	-	
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	-	
畜産	下司 雅也	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究セン畜産飼料作研究領域 領域長		
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長		
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部・次長兼生産指導課長	-	
	仲西 孝敏	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長		
	菊池 忠孝	地域戦略プロジェクト研究実証農家		-
	保科 俊穂	岩手県農業農村指導士	-	
	太田 哲	岩手県農業農村指導士	-	
			10 名	22 名

**(2) 機関評価委員会**

ア 開催日・場所 令和元年10月9日(水) 岩手県農業研究センター 畜産研究所(滝沢市)

イ 議題 (ア) 視察調査(畜産研究所施設(肉用牛に関する試験研究概要))

(イ) 平成30年度までの機関評価への対応状況説明、主な研究の実施状況説明、意見交換

(ウ) 委員講評

ウ 機関評価委員

(ア) 外部評価(6人)

大谷 隆二 氏 (東北農業研究センター企画部長)

高畑 義人 氏 (岩手大学名誉教授)

新田 義修 氏 (岩手県立大学地域政策研究センター地域社会研究部門部門長兼  
総合政策学部准教授)

高橋 明 氏 (やまに農産株式会社 常務取締役)

高橋 司 氏 (全農県本部副本部長)

鎌田 公一 氏 (岩手県工業技術センター理事)

(イ) 所員

所長、各部長、各研究所長、事務局等

**(3) 企画運営会議、全体会議、室長会議**

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
H31.4.5(金)	2階中会議室	(試験研究推進に係る経理事務等説明会(兼第1回本部室長会議)) 1 試験研究推進に係る留意事項 ・諸規定Q&A、外部資金研究(応募手続き、経理、不正防止、研究倫理)等 2 経理事務等に係る留意事項 ・物品購入、旅費、契約事務、物品管理、事務ミスが多い事項等 3 その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情対応、労働安全 等
H31.4.12(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)試験研究推進計画の工程表(案)について (2)連携プロジェクトによる研究推進について (3)特定課題調査検討チームについて 2 連絡・報告事項 (1)平成31年度業務方針(案)について (2)平成31年度当初予算(試験研究費)について (3)平成31年度競争的研究資金応募課題等について (4)報道機関等への情報提供について (5)東北農業研究発表会への発表課題の申込について (6)若手研究員育成サポーター制度の周知と活用について (7)各部長・研究所長からの情報提供 等 (8)4~5月の行事予定
H31.4.12(金)	大会議室	(センター全体会議) 1 機関評価について 2 平成30年度機関評価結果及び対応方針 3 平成31年度業務方針について (1)組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 (2)各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について ア 企画管理部 イ 生産基盤研究部 ウ 園芸技術研究部 エ 生産環境研究部 オ 病害虫防除部 カ 畜産研究所 キ 県北農業研究所 4 その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R元.5.27(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和元年度機関評価の進め方について (2)試験研究推進計画(案)について (3)追跡評価について 2 連絡・報告事項 (1)「第62回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (2)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)6～7月の行事予定 (5)平成31(令和元)年度当初予算に係る共同研究の実施に向けた動向(新規応募)
R元.6.25(火)	2階中会議室	(第2回本部室長会議) 協議事項 (1)内部統制について (2)業務の見直しの徹底等について (3)外部資金執行時の注意事項と経理状況調査について
R元.7.30(火)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)試験研究推進計画工程表(暫定版)の策定について 2 連絡・報告事項 (1)令和2年度以降の研究費の確保について (2)令和元年度機関評価の実施について(機関評価委員会) (3)令和元年度岩手県農業センター参観デーの準備状況について (4)第62回東北農業試験研究発表会の当日対応について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (8)8～9月の行事予定
R元.9.26(木)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価結果、対応状況、委員会の持ち方)について 2 連絡・報告事項 (1)令和元年度農業研究センター参観デーの開催状況について (2)各部長・研究所長からの情報提供 等 (3)10～11月の行事予定
R元.10.4(金)	2階中会議室	(会計年度任用職員制度説明会(兼第3回本部室長会議)) 協議事項 (1)会計年度任用職員制度の概要について (2)委託研究費の適正な執行について (3)外部研究資金に係る内部監査の実施について
R元.11.26(火)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和元年度岩手県農業研究センター研究成果発表会の開催について 2 連絡・報告事項 (1)内部監査の実施結果及び今後の実績等の確認について (2)来年度の参観デーについて (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)12～1月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R元.12.25(火)	2階中会議室	(第4回本部室長会議) 1 協議事項 (1)研究成果発表会の持ち方等について 2 連絡・報告事項 (1)令和元年度農業研究センター参観デーの開催状況について (2)RPAを活用した業務効率化に関する職員研修会(復命) (3)会計年度職員に関する情報共有
R2.1.20(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(総括評価)案について (2)外部研究資金事業への提案について 2 連絡・報告事項 (1)農業技術開発会議(2/4)への対応について (2)第3回内部検討会議に付議する課題数(予定) (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)2~3月の行事予定
R2.2.21(金)	2階中会議室	(第5回本部室長会議) 連絡・報告事項 (1)令和元年度岩手県農業研究センター研究成果発表会の開催について (2)外部研究資金事業に関する実績報告について
R2.3.19(木)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価実施方法の見直しについて (2)任期満了に伴う次期機関評価委員候補者の選定について (3)令和2年度農業研究センター参観デーの開催について (4)外部研究資金事業への応募について(1件) 2 連絡・報告事項 (1)令和元年度岩手県農業研究センター研究成果発表会の開催状況について (2)令和2年度農業研究センター全体会議等の開催について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)3~4月の行事予定



(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
H31.4.23	本部ほ場管理委員会	委員及び業務分担について 委員会開催予定について 水利用状況について 堆肥、残渣堆肥について 全場一斉田植えについて 作業安全について

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
H31.3.18	本部特別会議室	平成31年度参観デーの開催方針について
R元.7.30	本部特別会議室	令和元年度岩手県農業センター参観デーの準備状況について
R元.9.26	本部特別会議室	令和元年度農業研究センター参観デーの開催状況について
R元.11.26	本部特別会議室	来年度の参観デーについて
R2.3.19	本部特別会議室	令和2年度農業研究センター参観デーの開催について

(イ)幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
R元.5.22	本部2階中会議室	(1) 令和元年度岩手県農業研究センター本部及び中部農業改良普及センター合同参観デーの開催計画について ア 平成30年度の開催状況・反省点について イ 令和元年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
R元.6.19	本部2階小会議室	(1) 令和元年度岩手県農業研究センター本部・中部農業改良普及センター・農業普及技術課農業革新支援担当合同参観デーの開催計画について ア イベント実施計画について イ 今後のスケジュール及び依頼事項について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他 令和元年度 外部主催イベントへの出展対応について

開催月日	場所	内 容
R元.7.10	本部1階中会議室	(1) 令和元年度岩手県農業研究センター本部・中部農業改良普及センター・農業普及技術課農業革新支援担当合同参観デーの開催計画について ア イベント実施計画について イ 参観デー準備・当日の動員計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他 令和元年度 外部主催イベントへの出展対応について
R元.8.21	本部1階中会議室	(1) 令和元年度岩手県農業研究センター参観デーの開催計画について(マニュアル等) (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他 ア 依頼事項の確認 イ 今後のスケジュール
R元.9.27	本部1階中会議室	(1) 令和元年度岩手県農業研究センター参観デーの実施結果と反省点について (2) 次年度の開催について (3) その他 ア 成果発表会の開催について イ リエゾン[マッチングフェアへの参加について
R2.3.4	本部特別会議室	(1) 次年度の開催について (2) イベント等の計画について (3) 次年度の担当者会議の開催について (4) 研究成果発表会について

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
R元.8.7	セミナー室	(1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

#### エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
R元.12.18	(書面協議)	(1) リンドウ品種「Bzc-1(仮称)」の勤務発明審査について

#### オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
R元.5.21	農業科学博物館	(1) 農業科学博物館入館者の状況について (2) 平成30年度事業報告について (3) 令和元年度事業計画について (4) その他

#### カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
H31.4.10	本部1階小会議室	(1) 平成30年度環境美化事業報告について (2) 平成31年度環境美化事業計画(案)について (3) その他

#### キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
R元.6.13	本部特別会議室	(1)平成30年度事業実績について (2)令和元年度事業計画について (3)その他
R2.2.14	本部特別会議室	(1)令和元年度定期健康診断結果について (2)令和元年度事業実施状況について (3)その他

#### ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
R元.5.29	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第1期)
R元.6.28	E地区畑圃場	小麦原種・原原種ほ場検査(第2期)
R元.7.18～19	秋田県農業試験場(秋田県秋田市)、JA秋田おぼこ仙北水稻種子センター、仙北採取組合圃場(秋田県大仙市仙北町)	令和元年度東北六県・新潟県主要農作物原種・原々種生産に係る情報交換会(当センター2名出席、全参加者29名) (1)原種・原原種生産の取組と課題、事前アンケート、他県に聞いてみたい事項について意見交換 (2)ほ場、施設視察
R元.8.1 R元.8.8	紫波町及びE地区水田圃場	水稻原種・原原種ほ場検査(第1期)
R元.8.6 R元.8.8 R元.8.16	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第1期)
R元.8.29 R元.9.10	紫波町及びE地区水田圃場	水稻原種・原原種ほ場検査(第2期)
R元.9.4	1階小会議室	麦原種・原原種生産物検査
R元.10.17	E地区畑圃場	大豆原種・原原種ほ場検査(第2期)
R2.3.6	2階第2小会議室	水稻原種・原原種生産物検査
R2.3.18	生産基盤研究部MT	【事務局員会議】原種等生産管理委員会
R2.3.19	特別会議室	原種等生産管理委員会 (1)生産・出荷実績および生産計画・課題について
R2.3.27	1階小会議室	大豆原種・原原種生産物検査

#### ケ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
H31.4.25	畜産研究所中会議室	(1)平成30年度粗飼料供給実績について (2)平成31年度粗飼料需要量と供給予定について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R元.6.20	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 令和元年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R元.7.25 ~7.26	岩手県奥州市、陸前高 田市(南部園芸研究室 等)	1 協議・検討事項(7/26) (1) 研究成果の現地への普及について (2) 知的財産の管理について (3) 現業職員の確保について 2 現地調査(7/25) (1) 岩手県農業研究センター種山研究所(奥州市) (2) 先端プロ現地(陸前高田市小友地区) (3) 高田松原防潮林の再生

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R元.6.18	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成30年度事業報告及び収支決算について (2)令和元年度事業計画及び収支予算について (3)令和元年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R元.9.18~19	北海道新得町	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究について 3 国・独立行政法人に対する提案について 4 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 5 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 6 意見交換の内容についての企画案について 7 その他(次期開催地について)

オ 岩手県農作物病虫害・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
R元.8.30	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
R元.10.29~ 30	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
R元.12.23~ 24	北上市 (農業研究センター)	令和2年度県防除指針の改正内容について(病虫害防除所主催): チェック結果の検討
R2.2.4	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】</b>		
R元.8.27～30	青森県黒石市 (地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所他)	<p>○東北地域水稲品種・系統立毛検討会(8.29～8.30)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現地見学・立毛調査</li> <li>2 有望系統・配付系統の特性等の検討</li> <li>3 配付系統の試作結果と配付計画の検討</li> </ol> <p>○立毛巡回調査(8.27～29)</p> <p>青森・岩手班(第1班 8.28～8.29) 秋田・山形班(第2班 8.27～8.28) 宮城・福島班(第3班 8.27～8.28)</p>
R2.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	<p><b>稲品種検討会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成果情報の検討及び「最新農業技術・品種202X」候補の選定</li> <li>2 新品種及び品種候補系統の概要紹介</li> <li>3 品種の作付動向と要望される品種</li> <li>4 配付系統の試作結果と配付計画の検討</li> <li>5 技術的課題の提案と検討</li> <li>6 特性比較連絡試験の検討</li> </ol>
R2.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	<p><b>稲栽培研究会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究会「水稲高密度播種苗等の省力・低コスト移植栽培技術」</li> <li>2 研究成果情報候補課題の検討</li> <li>3 技術適課題の検討</li> <li>4 重要検討事項「気候変動への適応技術」の検討</li> <li>5 高温障害・冠水害の状況と対応策</li> </ol>
R元.8.21～22	岩手県矢巾町・紫波町 現地、盛岡市(アイーナ)	<p><b>直播研究会(夏期)</b></p> <p>(1)現地調査(1日目)</p> <p>無コーティング種子代かき同時浅層土中播種圃場 「銀河のしずく」鉄コーティング湛水直播圃場 乾田直播圃場 「鉄黒コート」直播圃場</p> <p>(2)検討会議(2日目)</p> <p>各県における水稲直播栽培等の導入状況と推進方向 情報提供 「米の生産コスト低減に向けた現状と課題について」(農水省) 「岩手県における水稲直播栽培の実施状況」(岩手県) 「初冬播きによる超省力化水稲栽培技術」(岩手大) 意見交換</p>
R2.1.28	盛岡市 (アイーナ)	<p><b>直播研究会</b></p> <p>研究会「水稲直播栽培による業務用米等の低コスト生産技術の実証」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水稲直播栽培と機械の汎用利用による低コスト・省力化技術の実証</li> <li>2 無コーティング種子代かき同時浅層播種栽培による業務用米の低コスト生産技術の実証</li> <li>3 不耕起V溝乾田直播栽培による飼料用米の低コスト生産技術の実証</li> <li>4 総合討論</li> </ol>
R2.1.29	盛岡市 (アイーナ)	<p><b>稲課題別検討会</b></p>

開催月日	場 所	内 容
R2.1.29	盛岡市 (アイーナ)	<b>作物生産推進部会 本会議</b> 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2021」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「作物生産分野における気候変動への適応技術の開発状況と今後の課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R元.8.21	福島県福島市 コラッセ福島 (福島県福島市三河南町) (2日目の現地圃場視察は欠席)	<b>畑作物栽培研究会</b> 研究会「畑作物導入による大規模水田輪作体系の展開」 ・小麦・大豆の輪作体系と6次産業化の取り組み ・畑作物生育状況および試験概要報告 ・東北農政局情勢報告 ・総合討議
R2.1.28	盛岡市 (アイーナ)	<b>畑作物栽培研究会</b> 1 行政部局からの情報提供 2 検討会「雑草を上手に管理してダイズ多収を達成する」 (1)大豆作の雑草防除対策技術 (2)畑作物の雑草防除に関する情報交換 (3)総合討論 3 研究成果情報候補等の検討 4 畑作物栽培における気候変動への適応技術
R2.1.29	盛岡市 (アイーナ)	<b>畑作物品種検討会</b> 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 夏畑作物の有望品種・系統の成績および次年度配布計画の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地)、配付計画
R2.1.29	盛岡市 (アイーナ)	<b>畑作物課題検討会</b>
R2.2.12	仙台市 (仙台合庁)	<b>東北そば研究会</b> 1 基調報告「自家不和合ソバの今とこれから」「(株)そば研におけるそば生産振興について」「東北のそばに必要なこと」 2 情勢報告 3 各県のそば振興の現状と課題等について 4 意見交換
<b>【農業生産基盤推進部会】</b>		
R元.7.26	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>農業経営研究会(夏期)</b> スマート農業の経営的評価
R元.8.27～28	福島県福島市・郡山市 (福島大学・郡山市現地)	<b>作業技術研究会(夏期)</b> シンポジウム・現地見学会は農業食料工学会と共催 シンポジウム テーマ 「スマート農業技術の普及における現状と課題」 1 基調講演「技術進歩の歴史とスマート農業のポジション」福島大 生源寺 学類長 2 講演「福島県におけるスマート農業技術導入の取り組み」福島大 窪田准教授 3 講演「小高区における営農再開に向けた取組とスマート農業技術の活用について」 4 講演「みどりクラウドで始めるスマート農業～次世代フードバリューチェーンの構築」 ・ 現地見学会 ふくしま逢瀬ワイナリー(郡山市逢瀬町) ・ 検討会 「スマート農業技術の普及」研究現状と課題他、各県より報告

開催月日	場 所	内 容
R2.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	<b>作業技術研究会</b> 重点検討事項「東北地域における気候変動への適応技術の現状と課題」 1 麦・大豆栽培の気候変動に対応した作業技術的な適応技術 2 水稻の冠水被害特性を考慮した低平農地域の豪雨リスク評価 3 気候変動に伴う温室の被害事例と温室の耐雪・耐風構造 4 各県及び東北農研からの話題提供 5 総合討論 <b>作業技術研究会検討会</b> ・研究成果情報の検討・確認、「最新農業技術・品種2021」候補の選定
R2.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	<b>農業経営研究会</b> 1 令和元年度重点検討事項「東北地域の農業経営における気候変動への対応」 農業経営における労務管理を中心としたGAPの取り組みとICTの活用 2 令和元年度研究成果情報の紹介 3 現場段階での重要な技術的課題 4 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案 5 各県の主要研究課題の検討 6 次年度の夏期研究会開催計画
R2.1.28	盛岡市 (アイーナ)	<b>流通加工研究会</b> 1 情勢報告 2 重要検討事項 「持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する流通加工研究」 3 令和元年度成果情報の検討 4 「最新農業技術・品種2021」候補の選定 5 現場段階での重要な技術的課題の検討 6 研究トピックの紹介
<b>【生産環境推進部会】</b>		
R元.8.27～28	秋田県秋田市 他	<b>病害虫研究会(夏期)</b> 1 研究会 ・水稻と野菜の大規模生産において問題となっている病害虫の防除対策 2 現地視察(八郎潟町、大瀧村、男鹿市) ・(農)ファーム夢未来(えだまめ)、(農)いりあいファーム滝の頭(加工用ねぎ 他)
R2.1.23～24	盛岡市 (アイーナ)	<b>土壌肥料研究会</b> 話題提供「農地環境を推定する技術の進歩と農業生産現場における利用」 (農研機構西日本農研センター) 1 「東北地域における気候変動への適応技術開発に向けた土壌肥料分野が果たす役割」の議論 2 成果情報候補の検討 3 各県の研究課題・研究成果に関する情報交換
R2.1.23～24	盛岡市 (アイーナ)	<b>病害虫分科会 病害研究会</b> 1 令和元年度試験研究成果情報の検討 2 令和2年度新規課題、令和元年度主要課題成績の検討 3 重要検討事項「東北地域における気候変動に対応した病害虫防除技術」 <b>病害虫分科会 虫害研究会</b> 1 令和元年度試験研究成果情報の検討 2 令和2年度新規課題、令和元年度主要課題成績の検討 3 重要検討事項「東北地域における気候変動に対応した病害虫防除技術」
R2.1.24	盛岡市 (アイーナ)	<b>農業気象研究会</b> 1 重要検討事項 気候変動への適応技術開発に向けた気象データの有効活用について 2 研究成果情報候補の検討 3 試験研究成績の検討

開催月日	場 所	内 容
R2.1.24	盛岡市 (アイーナ)	<b>生産環境推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 「気候変動への適応技術開発に向けた東北地域生産環境分野の展開方向」の検討 2 研究成果情報の検討
<b>【畜産飼料作推進部会】</b>		
R元.8.26～27	山形市 (山形テレサ)	<b>夏期研究会</b> 1 分科会 ・大家畜分科会 ゲノミック評価を用いた大家畜の生産性向上に関する取り組みについて ・中小家畜分科会 中小家畜における先端通信技術の活用の現状と課題 ・飼料作分科会 飼料用とうもろこし生産利用技術について 2 全体会議 分科会の報告、情報交換、連絡 3 シンポジウム 「地域飼料資源フル活用のこだわり畜産物を消費者へ」
R2.1.29～30	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>畜産飼料作推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 畜産飼料作研究分野における持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する農業技術-気候変動への適応技術- 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種2021候補の選定 4 令和元年度主要新規試験計画の検討
R2.1.30	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>大家畜分科会</b> ・乳・肉用牛の繁殖成績に及ぼす環境要因の影響と考えられる対策 <b>中小家畜分科会</b> ・中小家畜分野における野生鳥獣害防止対策 <b>飼料作分科会</b> ・子実用トウモロコシに関わる研究開発の現状と課題
<b>【野菜花き推進部会】</b>		
R元.7.24～25	宮城県大郷町、仙台市	<b>野菜研究会(夏期)</b> 1 検討課題 東北地域での民間企業や大規模園芸生産法人等と試験研究機関との連携【話題提供】 (1) イオンにおける農業分野の取り組みと試験研究機関との連携への期待 イオンアグリ創造(株)研究開発部 大塚和美 氏 (2) 露地野菜の安定生産に向けた取り組み(仮) JA全農 東北営農資材事業所 事業推進課 末貞辰朗 氏 (3) 宮城県における企業参入及び大規模園芸法人の設立状況と次世代施設園芸の推進について(仮) 宮城県農政部園芸振興室先進的園芸推進班 技術補佐(班長) 相澤正樹 氏 2 現地研修 株式会社イグナルファーム大郷(黒川郡大郷町) 「Aみどりの美甲ぼてと部会(遠田郡美甲町)」 小集会「東北イチゴ共同育種検討会」
R元.9.25～26	福島県会津若松市	<b>花き研究会(夏期)</b> 1 現地見学会 昭和村矢ノ原高原シュコンカスミソウほ場視察 2 話題提供 「北海道における花き生産流通と試験研究の現状」 3 検討課題 各県における技術開発の現況紹介と討議 推進会議重点検討事項の提案、連絡事項等



開催月日	場 所	内 容
R2.1.30～31	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>野菜花き推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜・花きにおけるSDGsに貢献する農業技術 - 気候変動への適応技術 - に関する研究開発の方向 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 「最新農業技術・品種2021」候補の選定 4 技術的課題(現場ニーズ)の検討 小集会「東北イチゴ共同育種検討会」
<b>【果樹推進部会】</b>		
R元.8.22～23	岩手農研 岩手県奥州市江刺	<b>果樹研究会(夏期)</b> 1 話題提供 (1)早期成園化の取り組みについて (2)経営から見た早期成園化 (3)岩手県の事例紹介 (4)各県の事例を含めて総合討論 2 現地検討 早期成園化現地実証圃(紅果園)、わい性台木衰弱症状の現地検討(江刺グリーンファーム)、農研センター研究状況(早期成園化試験、草刈りロボット等)
R2.1.21～22	盛岡市 (いわて県民情報交流センター(アイーナ))	<b>果樹推進部会</b> 1 重点検討事項:SDGsに貢献する農業技術-気候変動へ適応技術- 特別講演:果樹生産における温暖化適応技術 2 令和元年度成果情報 3 最新農業技術・品種2020候補選出 4 現場段階での重要な技術的課題 5 主要新規試験研究計画の概要 6 今後の会議運営、その他
R2.2.4～5	つくば市	<b>落葉果樹研究会</b> 1 <b>全体会議</b> グローバル化時代における国産果樹の需要拡大に向けて (1)需要拡大に向けた農研機構の果樹育種 (2)長野県における果樹の育種と知的財産権の活用 (3)果実輸出の現状と今後輸出を推進するためのポイント (4)果汁使用アイス、需要拡大への取り組み (5)総合討議 2 <b>栽培・土壌肥料分科会</b> ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
R2.2.12～13	盛岡市 (サンセール盛岡)	<b>寒冷地果樹研究会</b> 1 <b>全体会議</b> リンゴの消費拡大を考える (1)リンゴ産業の未来展望～ふじ80年を迎えて～ (2)果実加工の現状と消費拡大を目指した将来方向 (3)近年における果実消費の傾向と消費拡大の取組 2 <b>分科会</b> 栽培分科会:リンゴの着果管理の現状と課題 病害分科会:リンゴ黒星病における薬剤耐性菌の現状と今後の課題 虫害分科会:近年問題化している寒冷地果樹害虫の発生状況と防除対策 土壌・肥料分科会:リンゴの窒素施肥管理と寒冷地果樹での有機肥料の利用

開催月日	場 所	内 容
<b>【研究戦略会議】</b>		
R元.11.6	仙台市 (仙台合同庁舎)	出席者:企画管理部長 1 令和2年度予算概算要求の概要説明 2 農業データ連携基盤(WAGRI)及びスマート農業技術の現場への実装について 3 戦略目標(重点検討事項)に係る検討 4 「国の施策で対応すべき技術的課題」の候補選定 5 研究成果の普及・実用化に係る検討 6 「最新農業技術・品種2020」の候補選定 7 東北農業研究センターと各県普及組織等との連携強化に係る検討
<b>【本会議】</b>		
R2.2.18	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:気候変動への適応性技術開発 3 その他

#### キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R元.9.12～13	滝沢市 畜産研究所 盛岡市 畜産研究所外山研究室	第45回日本短角種研究会
R元.12.16～17	盛岡市 アイーナ	第7回生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)

#### ク 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
		(活動なし)

# 試験研究の推進



# 試験研究の推進

## 1 研究活動の概要

岩手県では、平成31年から令和10年度までの10年間の計画となる「いわて県民計画」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(令和2年3月)。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、令和5年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した(令和2年3月、研究期間を令和5年度までとして策定)。

技術開発基本方針の6つの農業技術開発の方向に即し、15分野44の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和元年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規28、継続77、合計105(小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている)の研究課題に取り組んだ。

### 1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

### 2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

### 3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR強化

平成23年3月11日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し(平成25年7月1日)、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で35課題(うち新規16課題)、畜産部門で8課題(うち新規3課題)、合計43課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「社会実装促進業務委託事業」、「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」並びに「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」の3課題については代表機関として取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期間を含めた飼料給与体系の確立、転作田におけるフェストロリウムの適応性確認や泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術開発などに取り組んだ。

知的財産では、いちご「そよかの(盛岡37号)」を品種登録出願した(農研機構東北農業研究センターおよび秋田県との共同出願)。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部(試験研究推進アドバイザー・生産者等)の評価を経て、48の研究成果(普及区分6、指導区分30、行政区分8、研究区分4)にとりまとめ公表した。

機関評価委員会(外部評価)については、10月9日に畜産研究所を会場として開催し、前年度までの評価委員会における意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

## 2 トピックス

### (1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	「リンドウの栽培方法」 【出願番号 特願 2019-217750、出願年月日 2019/12/2】	園芸技術研究部 花き研究室
種苗登録	(該当なし)	-

### (2) 表彰等受賞状況

#### ア 県職員表彰(事績顕著者)

畜産研究所種山畜産研究室は、本県歴代最高の成績を記録する黒毛和種優良種雄牛を相次いで造成し、「いわて牛」ブランド向上に貢献したとして表彰された(令和元年 11 月 15 日)。

#### イ 令和元年度農林水産部長職員表彰

園芸畑作研究部 横田啓主査専門研究員・田代勇樹主査専門研究員、企画管理部 吉田徳子主査専門研究員・坂口昌啓技師、生産基盤研究部 及川光史主任専門研究員、県北農業研究所 熊谷初美専門研究員は、「岩手県における春まきたまねぎの生産拡大に向けた技術開発と導入条件の提示」により、省力・多収化技術の開発及び生産者の収益向上に大きく貢献したとして表彰された(令和 2 年 3 月 27 日)。

#### ウ 令和元年度全国農業試験研究場所長会研究功労者表彰

企画管理部農業経営研究室 前山薫上席専門研究員は、技術体系の構成要素となる膨大かつ個別詳細なデータを網羅した「農業技術体系データ作成ブック」と、農研機構中央農業総合研究センターとの共同研究により、Web ブラウザ上で複数作物を組み合わせた場合の収支・所得等をグラフや表形式で表示可能な「農業技術体系データベース・システム」を開発し、今後のスマート農業の振興に貢献したとして、全国農業試験研究場所長会長から表彰された(令和元年 6 月 20 日)。

#### エ 令和元年度優良土づくり推進活動表彰

生産環境研究部病理昆虫研究室 岩館康哉主査専門研究員は、これまで取り組んできた露地きゅうり生産に深刻な被害をもたらす難防除土壌病害「ホモブシス根腐病」の土壌診断に基づいた転炉スラグ(石灰肥料)による土壌 pH 改善による新たな被害軽減技術の開発、農業改良普及センターやJAと一体となった総合防除対策技術の迅速な普及拡大に貢献したとして、(一財)日本土壌協会会長から会長賞を受賞した(令和元年 11 月 7 日)。

#### オ 第 12 回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)

病害虫防除部 猫塚修一主任主査並びに名久井一樹主任主査は、農業普及技術課職員(前・病害虫防除部職員)とともに、「北日本病害虫研究会報第 69 号」に掲載された報文「リンゴ褐斑病の発生に関するリスク要因分析」について、本病の秋期発生を予測するためには「夏期の早期発生」が重要指標となることを見出し、迅速かつ的確な発生予報の公表や防除指導を行うための指標を明らかにしたことが高く評価され、表彰された(令和 2 年 2 月 20 日)。

#### カ 令和元年度東北農業試験研究協議会論文賞

今年度より制定されたもので、「東北農業研究第 72 号」に掲載された論文のうち、以下の 3 名が論文賞を受賞した(令和 2 年 3 月 6 日)。

所属・職・氏名	部会名	論文名
企画管理部 農業経営研究室 主査専門研究員 吉田 徳子	経営	岩手県内の集落営農組織における園芸作導入の現状と課題
生産環境研究部 土壌肥料研究室 主査専門研究員 葉上 恒寿	水田作	水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適した肥効調節型肥料の配合
県北農業研究所 作物研究室 専門研究員 小野 直毅	畑作	大豆畑周辺の非農耕地におけるアレチウリの発生消長と省力管理の試み

### (3)連携プロジェクトによる研究推進

#### ア 連携プロジェクト\*\*

(\*\*多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

##### (ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	りんごJM7台木利用樹衰弱症状対策プロジェクト (H29～)	りんご JM7 台木利用樹衰弱症状に係る試験研究	園芸技術研究部 生産環境研究部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・農研機構果樹茶業研究部門 ・農業普及技術課革新支援担当班(北上市駐在) ・奥州農業改良普及センター ・一関農業改良普及センター ・(一社)岩手県植物防疫協会
	先端技術実装・実証加速プロジェクト (H30～R2)	展示圃の設置運営及び研修会の開催、普及組織・行政機関との連携(社会実装)復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化(実証研究)きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系(実証研究)	企画管理部 生産基盤研究部 園芸技術研究部 生産環境研究部	・農業普及技術課農業革新支援担当

##### (イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
りんごJM7台木利用樹衰弱症状対策	りんごのわい性台木JM7を使用した樹における急性衰弱・枯死症状の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを設置。生工研、農研機構との連携を図る。 第1回チーム会議(R元.5.30)	第1回チーム会議 平成30年度試験成績および令和元年度試験計画の確認。 原因と考えられる病原菌の情報共有。
先端技術実装・実証加速	復興に向けた現地の農業振興における技術的・経営的ニーズに対応し、新たな実証試験を通じた技術の導入・開発と、その成果について沿岸地域への波及を図り、復興を加速するための取り組みを進める。 第1回チーム会議(R2.1.7)	第1回チーム会議 令和元年度社会実装委託事業第3四半期までの進捗状況及び実績見込の確認。

### 3 研究室・課の動き

#### (1) 企画管理部

##### 研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

##### < 顧客視点の試験研究の推進 >

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会について、10月9日に畜産研究所の研究ほ場等の視察後、前年度までの評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成25年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

##### < アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信 >

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、22件(前年70件)であった。ホームページは、年間388万件(前年445万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間49件(前年70件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数190回、フォロワー増加数249名、同じくFacebookでは投稿数141回、フォロワー増加数28名であった。

センターの取組を広く知らせるため、9月7日に参観デーを(公財)岩手生物工学研究センター、中部農業改良普及センター及び農業普及技術課農業革新支援担当と合同で開催し、来場者数は約1,500人であった。

##### < 専門知識と技術を有する人材育成 >

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定、平成27年3月改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、国が主催する研修に研究員1名を派遣した。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

#### 農業経営研究室

「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」の研究課題については、春まきタマネギ栽培マニュアル作成と水田作経営への導入条件を明らかにした。「集落営農組織における園芸作導入条件の解明」の研究課題では、集落営農組織の園芸作取組実態と導入検討のポイントを明らかにした。

##### < 収益性の高い農業経営モデルの提示 >

「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」では、春まきタマネギ栽培マニュアルを作成するとともに水田作経営における春まきタマネギの導入条件を提示した。(研究成果: 指導区分 水田作経営における春まきタマネギの導入条件)

「雇用型園芸経営における作業工程管理の提示」では、収穫等の作業時間データを分析し、作業改善提案を行った。

「集落営農組織における園芸作導入条件の解明」では、県内の集落営農組織に行ったアンケート結果から、園芸作の取組実態と導入検討のポイントを提示した。(研究成果: 指導区分 集落営農組織における園芸作の取組実態と導入検討ポイント)

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」生育管理支援システムの導入実証では、クラウド型生産管理支援システムの利用実証と作業実績の入力データや調査結果から、作物毎の作業時間をまとめ、システムの導入・活用が農作業や経営管理にもたらす効果及び入力・利活用上の課題について整理した。



### < 経営意思決定支援情報の提供 >

生産技術体系 2020 データ作成に必要な積算内訳表、積算内訳データの収集し、マスターデータ修正とマスターデータ等を用いて農業技術体系データ作成ブックにデータ入力を行った。

農業技術体系 DB へのデータ登録拡大に向け、農研機構等とともに、技術体系データ作成・DB 登録手順を整理した。

## (2) 生産基盤研究部

### 水田利用研究室

水稲・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析麦・大豆の原種・原々種生産等に取り組んでいる。また、農村整備分野の遠隔自動給排水システム・地下かんがいシステムの実証試験に取り組んでいる。

#### < 水稲品種 >

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳6系統を供試し、現地調査では粳を13か所で検討した。(試験研究成果書-行政)

#### < 麦類 >

麦類奨励品種決定調査では、小麦2系統、大麦4系統を供試した。

供試6年目の「東北232号」(品種名:ナンブキマリ)について、これまでの栽培試験等の結果をふまえて、品種特性をとりまとめた。「ナンブキマリ」については、県の奨励品種決定に向けて有望品種として推進することとなったため、栽培法について検討が必要である。

また、令和元年10月に発生した台風19号による大豆の冠水被害について、「令和元年台風19号による10月の大豆の冠水被害」として実態を取りまとめた。(試験研究成果書-指導)

麦類耐寒雪性特性検定について、(独)次世代作物開発研究センター委託試験として実施した。小麦および大麦をそれぞれ65、43品種・系統を供試した。

#### < 大豆 >

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆6系統を供試した。

立枯性病害抵抗性検定試験に、27品種・系統を供試し、黒根腐病抵抗性評価法の確立と抵抗性基準品種の策定を目指している。

#### < 種子生産 >

小麦は原種3品種を10.2t、原原種を0.2t生産した。大豆は原種2品種を2.4t、原原種1品種を0.2t生産した。

### < 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ実証研究) >

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」のうち、難防除雑草コウキヤガラ蔓延防止対策実証については、有効成分を含む除草剤での体系処理により発生を抑えることができることを明らかにした。

遠隔自動給水栓の実証については、水管理作業時間を慣行区と実証区で比較した。ハード面、ソフト面で改良すべき点が明らかになったことから、対応策をメーカーと検討した。

### < 県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築 >

委託プロジェクト研究「水田輪作における大豆・麦類の多収阻害要因の解明と安定多収化技術の確立(代表機関:(独)中央農業総合研究センター、H27~R元)」において、5年目の現地試験に取り組んだ。水田転換畑における大豆の難防除雑草に対し、ディスク式除草機による機械除草と除草剤の組み合わせによる効果的な除草体系をとりまとめた。

### < 東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証 >

経営体強化プロジェクト「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」(代表機関:(国研)東北農業研究センター、H29~R元)において、春まきタマネギの転換畑における安定生産のための排水対策を、4年目の地下かんがい実証の中で取り組み、春まきたまねぎ栽培マニュアルに盛り込んだ。(試験研究成果書-行政)

### 生産システム研究室

水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、その収益性・所得の向上や

将来を見据えた地域営農の確立に寄与する「生産性の高い水田農業技術(水稲栽培、作業技術等)、及び AI や ICT 等の先端技術を活用した高度化するスマート農業技術」の技術開発に取り組んだ。なお、継続的に実施している水稲作柄解析、及び、水稲原種・原原種生産も実施し、農業生産の安定に直結する優良な原種等の正確かつ安定的な供給に取り組んだ。

また、園芸分野についても、中核的な経営体が周年雇用により規模拡大を図れる生産性の高い技術や、園芸施設における ICT を活用した省力的環境制御技術、スマート農業加速化実証プロジェクト等、園芸分野のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発に向け関連産業と連携して取り組んだ。

業務推進にあたっては、本県の地域特性に合致した技術の現地実証試験や、普及組織等のビジネスパートナー及び所内他部等との目的の共有化と密接な連携によって、顧客ニーズに即した現場解決型技術の体系化を図った。

#### <水稲栽培・種子生産>

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方气象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病害虫(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した。

水稲種子生産(主要品種)では、原々種はうるち 3 品種、もち 1 品種、原種はうるち 8 品種、もち 1 品種約 26t を生産した。

#### <食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ実証研究)>

「復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究」に代表機関として参画し、震災からの復旧における第 2 ステージにおける課題解決や、経営の安定化をねらいとした実証研究への取り組み継続。水田基盤の補正や生育モデルを利用した収量向上技術の実証・生育ステージ予測するためのパラメータ作成、ドローン活用した鳥害防止、難防除雑草対策に、ICT を活用したスマート農業技術を織り交ぜながら、本年度は最終年総合実証に向けて、各要素技術の評価とともに研究基盤を整えた。

以下、令和元年度の研究成果タイトル(生産システム研究室主査分)

区分:指導 令和元年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析

区分:指導 水稲品種「銀河のしずく」の生育予測パラメータ

区分:指導 岩手県における水稲高密度播種苗の播種量及び育苗日数

### 作物育種研究室

#### <水稲育種>

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 141 号」(早生の晩、耐冷性やいもち病圃場抵抗性等の栽培特性に優れた良食味系統)、「岩手 142 号」(中生の早、耐倒伏性、いもち病圃場抵抗性等、耐冷性が強い良食味系統)、「岩手 143 号」(晩生の中、いもち病圃場抵抗性が強い良質良食味多収系統)を選抜した(行-04)。

平成 31(令和元)年度に開始した「新たな価値を創造する水稲育種基盤強化事業」においては、隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっているスマート農業に適應した品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んでいる。

平成 30 年度からはイノベーション創出強化研究推進事業「水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成」(H27-29「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明)の後継課題)において、(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携して収量性関与遺伝子を集積した系統の育成に取り組んでいる。

### (3)園芸技術研究部

#### 果樹研究室

果樹は、りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」のうち社会実装事業を導入し、ぶどうの実証研究から得られた成果「醸造ブドウの省力垣根栽培技術」の普及に取り組んだ。陸前高田市の実証圃場を活用し、いわてワイン生産アカデミー等への情報提供を行った。

以上の取り組みから、今年度は以下の 4 つの研究成果を公表した。

- (1) 醸造用ぶどう新品種「モンドブリエ」は、白ワイン用品種として芳香があり、酒質が良く、栽培容易な品種特性を有することを明らかにした(普-01)。

- (2) ぶどう「サニールージュ」の無核化処理において、満開 2 週間前にジベレリン処理することで、果穂が伸長し摘粒作業が省力化(慣行比 2 割削減)され、熟期が早まることを明らかにした(普-02)。
- (3) りんご「高野 1 号(商標: 紅ロマン)」の 1-MCP 剤の処理効果を明らかにした。満開後 105 ~ 110 日収穫の果実に対して処理し、常温(20 )で 2 週間の品質保持が可能である。また、収穫後絵里像貯蔵 6 日間までの果実は、1-MCP 剤による効果が期待できる(指-07)。

## 野菜研究室

野菜研究室では、中核的な経営体が周年雇用により規模拡大を図れる生産性の高い技術や、園芸施設における ICT を活用した省力的環境制御技術等、園芸分野のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発に向け関係機関・団体と連携して取り組んだ。

### < 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(現地実証研究) >

「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」において、キュウリ栽培における環境制御技術の確立並びに夏秋どり栽培での高温障害果発生の原因解明と効果的な対策技術の確立に重点的に取り組んだ。

### < 革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト) >

「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」(代表機関: (国研) 東北農業研究センター、H29 ~ R 元)において、県南地域での春まき栽培におけるタマネギ品種の特性評価、及び作型確立を検討するとともに、ネギアザミウマを主体とした適切な病害虫防除体系の確立に取り組んだ。

以上の取組から今年度は以下の研究成果を公表した。また、本年度は野菜研究室、園芸研究室(県北)、水田利用研究室、農業経営研究室で、これまで取り組んできた複数年の試験成績及び研究成果を基に、水田転換畑における春まきタマネギの栽培管理マニュアル(岩手県版)を作成した。

- (1) きゅうり先端肥大症の発症助長要因(指導)
- (2) 鮮度保持フィルムを用いたきゅうり先端肥大症軽減効果(指導)
- (3) 春まきたまねぎ栽培における細菌防除剤の腐敗抑制効果(指導)
- (4) 春まきたまねぎ栽培のネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価(指導)
- (5) 春まきたまねぎ栽培マニュアル

## 花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種の育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の育成については、切り花向け品種は 8 月盆および 9 月彼岸の最需要期に切れ目のない出荷を可能とする青色品種のラインナップを揃えるため、複数品種の育成に取り組んでいる。花色、花型、草姿などの品質の揃いに優れたものを育成し、品質の低下が見られる既存品種に置き換えていく過程にあり、本年度は有望な F<sub>1</sub> 系統の特性検定を実施した。また、鉢花向け品種は、平成 28 年から「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(実用技術開発ステージ)(途中からイノベーション創出強化研究推進事業に変更)」(代表機関: (公財) 岩手生物工学研究センター)に参画し、新奇性の高い八重咲きりんどうのオリジナル品種育成に取り組んでおり、有望な個体が作出され、特性評価を実施した。

種苗の安定生産・供給については、これまでに育成した県品種の親系統の維持や岩手県農産物改良種苗センターへの供給等に取り組んだ。本年は、鉢花用品種の種苗生産に必要となる培養苗を種苗センターに計画どおり供給するとともに、採種技術等について指導した。

安定生産技術の開発については、育成品種の生態的特性や株養成技術等について検討した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- (1) 7 月下旬から 8 月上旬開花の切り花向け青色りんどう F<sub>1</sub> 品種「いわて EB-3 号」の育成(普及)
- (2) 新奇性の高い鉢花向け八重咲きりんどう「いわて DfG PB-1 号」の育成(普及)
- (3) りんどう早生品種「恋りんどう」における全茎収穫栽培の適用条件(指導)

## 南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成 23 年 3 月 11 日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成 26 年 1 月 6 日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を生かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域の農業復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験については、東北農業研究センターと共同で実施しているものとして、四季成り性品種の夏秋どり作

型、露地・半促成栽培に適した一季成り性品種の選定を行なっている。各系統の特性を明らかにするとともに、一季成り性品種では栽培特性に優れるそよかの(盛岡36号)が品種登録出願された。また、「革新的技術開発緊急展開事業」の共同研究において、種子繁殖型品種「よつぼし」の品種特性把握、岩手県に適した作型や栽培方法の検討を行った。

いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改善については、前作の残肥がある場合の施肥方法と追肥方法について葉柄硝酸イオン濃度や追肥の作業時間を継続的に調査し、省力的で効果的な管理方法等について検討した。

四季成り性いちご品種の2年栽培技術の確立については、効率の高い高温対策となつあかり以外の品種への適応性の検討を行い、送風ファンによる気化熱冷却の効果が高いことが明らかになった。併せて、先端プロ社会実装において、「なつあかりの長期栽培」の横展開のために、関心のあるいちご栽培者を個別巡回し栽培技術の支援や長期栽培のPRを行った。

ICTを核とした施設野菜の高度化技術の確立については、先端プロ実証研究において「きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究」に取り組み、高断熱保温資材による保温技術と必要最小限の環境制御機器(自動換気、内張被覆、二酸化炭素施用、ミスト導入等)による増収効果の検討を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- (1) いちご促成栽培における種子繁殖型品種「よつぼし」の各栽培体系の導入効果(指導)
- (2) いちご低温カット栽培における極晩生品種「そよかの」の特性(指導)

## (4) 生産環境研究部

### 土壌肥料研究室

土壌肥料研究室では、土壌養分の蓄積及び不足に対応した効率的な施肥管理技術の開発、有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立、農産物の安全性を確保するための栽培管理手法の開発を柱とした研究課題に取り組んだ。

土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発では、国庫委託事業「収益力向上のための研究開発事業」の構成機関として、雨よけトマトにおける土壌中の可給態窒素に基づく窒素の適正施肥体系確立に取り組み、土壌蓄積養分の簡易な評価手法および雨よけトマトの窒素減肥技術を研究成果として公表した。一方、新たに養分不足の事例として、水田土壌中の可給態硫黄欠乏の疑いが示唆され、モニタリング(定点)調査等から土壌中の可給態硫黄含量の低下を確認した。また、欠乏症状の確認や対策として、ポット試験や簡易評価法の検討、現地ほ場における資材施用試験を実施した。

高品質な農産物の安定生産供給のための肥培管理技術として、陸前高田市小友地区の復旧水田において、マルチスペクトルカメラによる空撮画像から生育解析を行い、ラジコンヘリコプターによる可変施肥(追肥)の実証に取り組んだ。初期の施肥条件等による生育不良がみられたが、画像解析とその結果に基づく可変施肥(追肥)による生育ムラ改善について一定の知見を得た。

その他、小麦および大豆の連作圃場を対象とした間作緑肥の検討、有機物連用試験、切花りんどうの鮮度保持技術や玄米中の無機ヒ素濃度低減の各プロジェクト研究へ参画して試験に取り組んだ。

以下、令和元年度公表の研究成果

- 区分:指導 マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌蓄積養分の簡易評価手法
- 区分:指導 土壌の可給態窒素に基づく雨よけトマトの窒素減肥技術

### 病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んでいる。

令和元年度は、水稲分野では、高密度播種苗移植栽培体系に適した葉いもち・初期害虫の防除技術、なす産地で問題となっている果実小陥没症の発生要因解明と対策技術の確立、りんご園地における土着天敵によるハダニ類の発生抑制、キャベツにおける薬剤抵抗性害虫に対応できる新たな防除体系の確立、リンドウ黒斑病に有効な殺菌剤の探索などに係る調査・試験を実施した。

この他、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業による、AI(人工知能)を活用した病害虫の診断や病害発生予測に係る共同研究に参画している。

以下、令和元年度公表の研究成果

- 区分:指導 水稲高密度播種苗移植栽培における葉いもち・初期害虫の防除
- 区分:指導 無人マルチローター(ドローン)による薬剤散布特性の把握

- 区分:指導 畑わさびの害虫ワサビルリイロサルゾウムシに対する数種殺虫剤の被害抑制効果
- 区分:指導 カーバムナトリウム塩液剤のきゅうり古株枯死処理によるホモブシス根腐病菌の増殖抑制効果
- 区分:指導 アブラナ科野菜根こぶ病多発圃場における効果的な被害軽減対策と転炉スラグによる土壌pH 改良効果の持続性

## (5) 病虫害防除部

### 病虫害防除課

#### < 病虫害発生予察 >

水稲、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報7回、注意報4回、特殊報2回に加え、防除速報(11回)を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、電子メールでの配信や、いわてアグリベンチャーネットへの掲載等により、病虫害防除員はじめ、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	月1回 : 3~8月、11月
	注意報	4	水稲: 細菌病類、りんご: 黒星病・褐斑病、ねぎ: ペと病
	警報	0	
	特殊報	2	水稲: クモヘリカメムシ、レタス: 根腐病レース2
病虫害防除速報		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲(6回): 斑点米カメムシ類(3回)、いもち病(3回、取置苗・葉いもち・穂いもち)</li> <li>・小麦(1回): 赤かび病</li> <li>・りんご(3回): 黒星病(1回)、褐斑病(2回)</li> <li>・野菜・花き類(1回): リンドウホソハマキ</li> </ul>

#### < 病虫害防除指導 >

本県の病虫害等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、病虫害防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病虫害防除指導に取り組んだほか、病虫害防除実績検討会を開催し、主要病虫害の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の強化を図った。

水稲の病虫害防除指導においては、各地方の病虫害防除員協議会および病虫害防除協議会、JA 稲作部会等が中心となり、病虫害防除所が発行する発生予察情報を活用しながら、地域の一点検調査等の取組を行っており、これらに対し、技術的な助言・支援・指導を行った。特に年度当初から育苗期の細菌病類の多発が予想されたため、注意報を発し、各種機会で育苗期間中の温度管理の指導徹底を呼びかけた。また、巡回調査地点の農家 83 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて、近年の黒星病の発生特徴、要因解析に基づく「開花7~10 日前の特別散布」を指導したほか、褐斑病についても夏期の早期発生を確認し、それぞれ注意報や防除速報により、重点時期での防除の徹底を呼びかけた。また、地域の防除暦作成にあたっては、普及センター担当者等とともに検討し、黒星病や褐斑病に対する重点防除対策が一層図られるよう指導した。なお、りんごの防除実績は、県内 79 の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜・花きについては、果菜類の主産地を抱える普及員及びJA 営農指導員等を対象に、ウイルス病や細菌病の簡易診断キットを用いた検定法の指導を行ったほか、岩手県園芸産地改革戦略推進会議・技術対策部会において情報提供した。また、防除実績は、野菜では 18 件、りんごは 10 件の農家から収集し、次年度の防除計画に資した。

重要性が増してきている病虫害診断については、58 件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(75.9%)、次に花き(15.5%)、普通作物(5.2%)、果樹類(3.4%)の順であった。また、原因別では、病害が 51.7%、虫害が 5.2%、生理障害・薬害が 17.2%等であった。

#### < 農薬適正使用指導 >

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(6月14日、参加者230名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(316件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(2件)。

## (6) 畜産研究所

### 家畜育種研究室

#### < 家畜育種 >

(肉用牛) 日本短角種の種雄牛造成では H30 直接検定牛 15 頭(平均 DG1.37kg)から、現場後代検定用 6 頭(選抜率 40%、

平均 DG1.40kg)を選抜した。現場後代検定では H28 交配種雄牛 5 頭(「藤辰」、「松福藤」、「辰藤川」、「辰良川」、「勝琴」)の成績を公表した。

黒毛和種肥育牛では、出荷月齢 27 か月齢を目標とした短期肥育試験 3 回目(試験区 9 頭、対照区 6 頭)で進行しており試験区 4 頭が出荷された。日本短角種の一産取り肥育試験では、2 回目試験が終了し、子牛生産率は 89%、枝肉成績は慣行区、試験区で同等、高栄養区の平均出荷月齢は 30 か月齢、枝肉重量は 419kg であった。

(養豚)パークシャー種肥育豚における肥育前期の背脂肪厚の推移を調査した結果、背脂肪厚増加量は、体重 50~60kg で最大であり、肥育前期終了時の背脂肪厚と肥育終了時の背脂肪厚に高い正の相関がみられることが判明した。

(養鶏)平成 26 年度より、取り組んだ南部かしわ母系生産用のロードアランドレッドの選抜交配試験において目標体重 3.5kg、2.5kg、産卵率 88%を達成した。また、地域飼料を活用した南部かしわの給与体系を確立するため飼料用米ソフトグレインサイレージへの代替が 50%でも可能であり地域飼料自給率 64%とできることを明らかにした。

### <家畜工学>

(遺伝子解析)今年度より日本短角種のおいしさや硬さに係る SNP マーカーを改良手法にとりいれることを目的に東北大学、宮城大学との共同研究を開始し、県内広域から 188 頭のサンプルを収集し、イノシン酸遺伝子、カルバスタチン遺伝子の保有状況を調査した。また、新たな脂肪交雑形状の評価法を検討するため枝肉切開面画像撮影装置を用い、脂肪交雑の細かさ指数、あらさ指数を測定した。また、黒毛和種直接検定牛、受精卵産子のゲノム育種価を算出し、直接検定牛及び種雄牛候補の選抜に役立てた。

(繁殖)黒毛和種繁殖牛において、分娩後の子宮環境回復は 7 週までに概ね終了すること、BHB 高値は、分娩後の子宮回復 (PMN (%)) および初回発情を遅延させること、哺乳形態の違いにより分娩後の子宮回復や初回排卵に差があり、人工哺乳で早いことを明らかにした。

## 家畜飼養・飼料研究室

### <飼養>

泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発について、第 3 期試験の短縮 CP 強化区 2 頭、短縮 CP・TDN 強化区 2 頭の飼養試験を終了し、新たに第 4 期試験の短縮区 2 頭、CP のバイパス率を高めた短縮 CP・TDN 強化区 2 頭の飼養試験を開始した。また、泌乳平準化による健全性向上効果の経済評価を酪農家 3 戸について調査した。

協定試験全体で乾乳期短縮により乳量は減少するが、乳質及び繁殖成績が向上した。農家調査について、対象農家 3 戸を巡回訪問し聞き取り調査を行い、泌乳持続性育種価等の解析を行った。

生体センサーを活用した乳用牛群管理技術の開発について、分娩した乳牛 7 頭を対象にセンサーによる 1 日反芻時間と T-Cho 値との関係を調査した。分娩時には反芻時間の減少が見られ、T-Cho 値も泌乳初期標準値の下限 (50mg/dl) 前後まで低下した。臨床症状が確認されなかった牛では分娩後反芻時間が増加し、日数の経過と共に徐々に T-Cho 値も増加した。分娩後反芻時間が大きく増減した期間は T-Cho 値の増加は見られなかった。

トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発について、トウモロコシ子実サイレージの粉碎時期の差異が、飼料成分変化及び産乳性に及ぼす影響を調査した。未粉碎のまま発酵調製したトウモロコシ子実サイレージは、粉碎して発酵調製したトウモロコシ子実サイレージと比べて、栄養成分について蛋白質分画に差が認められた。粉碎時期の異なるトウモロコシ子実サイレージを、発酵 TMR として乳牛に給与した場合、未粉碎で発酵調製した試験区において、乳中尿素窒素及び乾物糞量が低くなることが認められたが、乳中尿素窒素の値は適正範囲内であり、乾物糞量を含む調査項目について悪い影響は認められなかった。

### <飼料>

外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発について、堆肥の表面施用を 3 年間継続した場合、堆肥無施用に比較して乾物収量が増加し、3~12t/10a における堆肥施用量間の乾物収量に差はみられなかった。当年施用の堆肥由来の窒素利用率は 3t/10a 区が良いことから、堆肥の表面施用量は 3t/10a が望ましいことがわかった。不耕起栽培前年に 15t/10a 堆肥を施用した場合、不耕起栽培 3 年目の窒素吸収量が減少したことから、不耕起栽培前年に施用した堆肥の肥効が少なくなったことが推察された。不耕起栽培において、土壤中可給態窒素が 47~88mg/10a の場合、5~22kg/10a の窒素施用量の違いによる乾物収量及び窒素吸収量の差はみられなかった。

フェストロリウム追播技術の確立について、場内圃場において、フェストロリウムはオーチャードグラスの年間牧草収量を下回ったが、湿害が発生していないことが考えられた。年間牧草収量は、フェストロリウム播種量 6 kg/10a が 3 kg/10a を上回り、堆肥施用は「あり」が「なし」を上回った。作業機械別では、ディスクハローと不耕起播種が概ね同等であった。

二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較について、供試 7 品種全てで生育期間 100 日間で黄熟中期に達した。県の「サイレージ用とうもろこしの総合評価法」では「コロサリス」、「エリオット」、「KD277」が有望であった。HPR 値は「コロサリス」、「ペローナ」、「ピピアン」の順に良かったが、有意な差はみられなかった。

チモシー極早生新系統の特性確認について、標準品種と比較して供試 4 品種の耐倒伏性は良好であったが、年間乾物収

量は同等以下であった。なお次年度は、品種化の見込みがなくなった3品種について試験を中止する。

採草地におけるワルナスビ防除体系の確立について、前年度に処理した方法ではワルナスビの発生が防げなかったことから、2番草後 MDBA + オーチャードグラス追播区、完全耕起区、表層攪拌区の新しい試験区を設置した。

近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立について、イネ科主体牧草及び牧草サイレージの蛋白質画分(易分解性、遅分解性及び非分解性)の乾物中含量を推定する近赤外分析検量線を作成し、品質評価に利用可能な推定精度であることを確認した。

#### < 牧草の放射線対策 >

除染草地の更新時における施肥量の検討について、除染後6年目の草地の更新時にケイ酸カリを施用することにより、牧草中 RCs濃度の上昇を抑制し、土壌中交換性カリ含量が維持される傾向が見られた。

耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立について、試験2年目は、緩効性肥料区のうち、「緩効性 NK73」は牧草中 RCs濃度及びコストが低く、テナニー比において「緩効性 NK10」との差は見られず、基準値の2.2前後であった。採草地における施肥管理手法としては「緩効性 NK73」の割合が良好であると示唆された。

## 外山畜産研究室

#### < 子牛の生産状況 >

外山畜産研究室では繁殖雌牛101頭(黒毛和種51頭、日本短角種50頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち31頭を1頭当たり平均633千円で販売した。(3月13日現在)

同様に日本短角種の子牛は23頭を出荷し、1頭当たり平均価格は298千円であった。

また、家畜育種研究室で実施する試験等の供試牛として、日本短角種の子牛を9頭提供した。

#### < 成果の発信状況 >

本県の公共牧場では放牧監視員の高齢化や後継者不足が課題となっており、放牧牛の管理作業の負担を軽減する技術の開発に取り組んだ。その結果、監視員が携帯端末(スマートフォン等)を用いて、放牧牛に装着した BLE タグの情報を読み取るにより、耳標等を目視することなく個体を確認するシステムを構築した。

このシステムに必要な「牛群管理アプリ」は NOK 株式会社等と共同開発し、BLE タグ販売元の株式会社マーベリックスからタグを購入すると、購入者は「牛群管理アプリ」を無料で利用できる。

この成果は、公共牧場の運営者が参加する会議等で紹介するとともに、報道機関への情報提供を行い、情報発信に努めている。

BLE(Bluetooth Low Energy): 近距離無線通信技術 Bluetooth の拡張使用の一つで、極低電力で通信可能な仕様。

#### < 寄託放牧の状況 >

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月21日から10月18日まで150日間放牧を実施し、近隣の生産者2戸から繁殖牛35頭と子牛28頭を受入れた。

また、馬については5月14日から10月11日まで150日間放牧を実施し、雌馬5頭、雄馬1頭、子馬3頭の合計9頭を受入れた。これらの馬は、6月に行われた「チャグチャグ馬コ」で行進した馬たちであり、200年以上にわたって行われる伝統行事を支援する意義を感じながら、適切な管理に努めた。

## 種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補9頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等2頭計11頭の直接検定を実施。平成30年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補として「種山」、「百合雲」、「百合照重」、「沢美津雲」を選抜した。現場後代検定では平成29年度に検定を開始した「安久勝晃」、「花百合安」、「久忠福」、「北孝栄」、「菊富秀」から「安久勝晃」が、平成30年度に検定を開始した「桜花富士」、「岩洋永克」、「飛良智」、「沢百合茂」、「美津福勝」からは「飛良智」、「沢百合茂」、「美津福勝」の計4頭が基幹種雄牛に選抜された。中でも「安久勝晃」の脂肪交雑は、これまで検定を実施した県産種雄牛の中で最も優れていた。

昨年度に引き続き2022年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向けた取組として総合評価群「肉牛の部」出品牛および若雌を生産するために「暁雲」と「美津福勝」の性別別精液委託生産を行い、次いで当室は産子の枝肉成績が高い雌牛5頭に「美津福勝」を交配し、移植用受精卵52個を回収した。また今年度からゲノム育種価により選抜された基礎雌10頭の中から4頭の農家採卵を実施し、33個の移植胚を回収し種雄牛候補生産のための移植に供用した。

## (7) 県北農業研究所

### 園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10月収穫に適する春系品種の選定と、10月収穫に適した栽植密度や・施肥量等の栽培法について継続して検討した。

本県が受諾した国庫事業「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」(H31～R2)では、アンドファームスマート農業技術実証コンソーシアムにおいて、自動操舵補助システムと畦立同時二段局所施肥機によるキャベツの生育斉一性や収量向上、作業労力軽減効果等について検討した。

たまねぎ春まき栽培技術については、「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」について「経営体強化プロ」に参画して取り組み、最終年度は岩手県に適する品種・作型、大玉品種の収穫適期、全自動移植機に対応した育苗培土と448穴ポット育苗技術について試験研究成果として取りまとめた。

中山間地域における土地生産性の高い高収益品目の導入を図るため、たまねぎ新作型の開発に関する研究を継続した。新たなたまねぎやサラダ用など高単価が期待できる初冬(11～12月)や、春(4～5月)の収穫を可能とする作型として、セット球を用いた初冬どり作型やハウスでの春どり作型について、栽培に適する品種の選定や育苗条件の検討、定植時期等について検討を行った。

これらの研究の過程で、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決策について共有を図ったほか、試験課題設計の内部会議においても意見や助言を求めた。また、得られた研究成果は、農業研究センター本部で開催された参観デーや研究成果発表会、普及指導員に対する研修等でも発信し、研究成果の普及に努めた。

### 作物研究室

先端技術を活用した農産物の高付加価値化を図る新品種育成と革新的な技術体系の確立に向けては、新たに国庫委託事業「イノベーション創出強化研究推進事業(応用研究ステージ)」を獲得し、「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」において、アワ EMS 突然変異集団(M7、交雑集団(F6))から短稈で穂の抽出長が短く多収、高機能性を有する3系統を選抜した。

雑穀の原種生産では、キビ1系統(ひめこがね)、ヒエ1系統(ねばりっこ2号)を採種した。

その他、「いわて農林水産物機能性活用研究会」へ参画し、(公財)岩手生物学研究センターと協働して雑穀の機能性成分(ルテインほか)に関する研究を支援した。また、INSいわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。

昨年度安定多収栽培法として研究成果とした飼料用品種「たわわっこ」について、「栽培の手引き」を作成し、県内各地の普及センター等へ配布、普及活動を支援した。

その他、作況調査のほか幼穂形成期の低温影響等について臨時調査を行った。生産システム研究室と連名で令和元年産の作柄要因として解析した(R元研究成果)。また、「たわわっこ」の高密度播種苗について栽培試験を実施し、生産システム研究室と連名で高密度播種苗の育苗条件等を提示した(R元研究成果)。

「大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築」では、茎葉処理剤が使用できない大豆2葉期前でもレーキ式除草機処理によりアレチウリを除草可能で除草労力を軽減できること、また、つる化する5葉期以降のアレチウリには効果が低いことを明らかとした(R1研究成果)。

また、薬用作物(トウキ、センキュウ)の除草体系において、条間・株間除草機の適用可否判断指標作成に向けて、作物体や雑草の主要草種についてフォースゲージによる引抜抵抗値とその時点での株幅との関係性を調査した。

本県が受諾した国庫事業「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」(H31～R2)では、岩手町のキャベツ圃場において、自動操舵補助システムと条間・株間除草機の組み合わせによる除草作業の高精度化について調査した。

「トウキの生産拡大のための技術開発」を継続実施し、アルミ蒸着フィルムがトウキ発芽率の向上と雑草抑制効果に優れることを再確認したほか、出芽後のトンネル被覆と組み合わせた栽培体系化に目途が立った。

その他、研究課題や地域課題、その解決策について共有を目的に、八幡平、久慈、二戸の各農業改良普及センターに赴きラウンドテーブルを開催したほか、各種研修会等への参加も積極的に行った。また、二戸農業改良普及センターが取組んだ雑穀生産機械化体系導入実証事業(地域経営推進費)や雑穀若手生産者育成への取り組みに対して支援した。



#### 4 令和元年度試験研究課題

##### (1) 細目課題分類

研究推進計画 分野  担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		農業構造・経営管理	生産工学	水稻	畑作物	特産作物	果樹	野菜	花き	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境
企画管理部	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
生産基盤研究部	62	0	15	31	9	0	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0
水田利用研究室	24		6	6	9			2		1						
生産システム研究室	22		9	9				3		1						
作物育種研究室	16			16												
園芸技術研究部	53	1	1	0	0	0	26	14	7	1	3	0	0	0	0	0
果樹研究室	29						26			1	2					
野菜研究室	10	1	1					7			1					
花き研究室	7								7							
南部園芸研究室	7							7								
生産環境研究部	27	0	2	1	0	0	1	0	0	12	11	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	13		1							12						
病理昆虫研究室	14		1	1			1				11					
畜産研究所	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	18	3	12	0
家畜育種研究室	14												11	3		
家畜飼養・飼料研究室	12											3	1		8	
外山畜産研究室	6												2		4	
種山畜産研究室	4												4			
県北農業研究所	32	1	7	4	5	5	0	5	0	2	3	0	0	0	0	0
園芸研究室	11	1	2					5		1	2					
作物研究室	21		5	4	5	5				1	1					
総計	216	7	25	36	14	5	27	25	7	17	17	3	18	3	12	0

- 1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上
- 2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上
- 3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

- 凡例
- ・主査: 小課題の主査研究室
  - ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記
  - ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示  
課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
  - ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
  - ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業  
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
  - ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【農業経営研究室】</b>						
農業経営	1	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	H21	R2	県単	農業経営
農業経営		(H28-15-3000)経営規模に対応する省力機械化技術の評価と体系化	H29	R1	独法委託等	農業経営/水田利用/野菜/園芸(県北)
農業経営		(H28-15-4000)現地実証による経営評価および導入マニュアルの作成	H29	R1	独法委託等	農業経営/水田利用/野菜/園芸(県北)
農業経営	2	(H30-03)集落営農組織における園芸作導入条件の解明	H30	R2	県単	農業経営
農業経営	3	(H30-07)雇用型園芸経営における作業工程管理手法の提示	H30	R2	県単	農業経営
農業経営		(H30-25-4000)経営モデルの構築	H30	R2	国庫委託	農業経営
<b>【生産基盤研究部水田利用研究室】</b>						
水田利用	4	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(803-1000)予備調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-2000)本調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-3000)現地調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	R5	県単	水田利用/土壌肥料/作物(県北)
水田利用	5	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	R5	民間委託	水田利用/作物(県北)
水田利用		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	R5	民間委託	水田利用
水田利用	6	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R5	独法委託	水田利用
水田利用	7	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用
水田利用	8	(891)畑作物原々種・原種生産	H22	R5	県単	水田利用
水田利用	9	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H23	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H23	R5	県単	水田利用
水田利用	10	(H19-13)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用/作物(県北)
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H26	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	R5	県単	作物(県北)
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用
水田利用		(H28-15-2000)水田土壌基盤管理技術(排水対策、地下灌漑)の確立	H29	R1	独法委託	水田利用/野菜
水田利用		(H28-15-3000)経営規模に対応する省力機械化技術の評価と体系化	H29	R1	独法委託	水田利用/農業経営/野菜
水田利用	11	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	R3	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-1000)地下水位制御システムによる土壌水分制御技術の確立	H30	R2	令達	水田利用
水田利用		(H30-02-2000)主要水田農作物(水稲・大豆等)での営農実証	R1	R2	令達	水田利用
水田利用		(H30-25-2000)輪作・直播体系と組み合わせたコウキヤガラの防除技術の実証	H30	R2	国庫委託	水田利用
水田利用		(H30-25-3000)ICTを活用した効率的な水管理技術の実証	H30	R2	国庫委託	水田利用

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産基盤研究部生産システム研究室】</b>						
生産システム	12	(61)水稲原々種生産	S22	R5	県単	生産システム
生産システム	13	(62)水稲原種生産	S29	R5	県単	生産システム
生産システム	14	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム/作物(県北)
生産システム		(805-1000)水稲作況調査	H14	R5	県単	生産システム/作物(県北)
生産システム		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	R5	県単	生産システム
生産システム		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	作物(技術)
生産システム	15	(H29-06)ドローンを利用した栽培管理技術に関する基礎研究	H29	R1	独法委託	生産システム
生産システム	16	(H30-01)岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立	H30	R2	県単独/民間委託	生産システム/病理昆虫/県北作物
生産システム		(H30-01-1000)育苗技術の確立	H30	R2	県単独/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム		(H30-01-2000)本田栽培技術の確立	H30	R2	県単独/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム		(H30-01-4000)現地実証	R1	R2	県単独/民間委託	生産システム/県北作物
生産システム	17	(H30-08)ICTを核とした施設野菜の高度化技術の確立	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜/南部園芸
生産システム		(H30-08-1000)環境情報を活用した高生産技術の開発	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜
生産システム		(H30-08-2000)スマートデバイスを活用した高効率栽培管理技術の開発	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜
生産システム		(H30-08-4000)ICTを核とした施設栽培の高度化実証	H30	R2	県単/国庫委託	生産システム/野菜/南部園芸
生産システム		(H30-25)復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	H30	R2	国庫委託	生産システム/水田利用/土壌肥料/農業経営
生産システム	18	(H31-09)岩手県におけるICTを活用した水田作業の省力化及び生産性向上	R1	R1	民間委託	生産システム
生産システム	19	(R1-1)露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム/県北園芸/県北作物
生産システム		(R1-1-1000)GNSSを活用した効率的な作業管理技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
生産システム		(R1-1-2000)リモートセンシングを活用した生育斉一化および収量予測技術の実証	R1	R3	独法等委託	生産システム
<b>【生産基盤研究部作物育種研究室】</b>						
作物育種	20	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	R1	令達	作物育種/作物(県北)
作物育種		(H27-03-3000)個体選抜	H27	R1	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-4000)系統選抜	H27	R1	令達	作物育種
作物育種		(H27-03-5000)生産力検定試験	H26	R1	独法委託	作物育種/作物(県北)
作物育種		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	R1	県単	作物育種
作物育種		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	R1	県単	作物育種
作物育種	21	(H30-16)水稲の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを活用したゲノム育種による安定・超多収系統の育成	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-1000)RILs 1の形質評価	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-2000)準同質遺伝子系統によるエピスタシス 2の実証	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種		(H30-16-3000)超多収系統の育成	H30	R2	独法委託	作物育種
作物育種	22	(H30-22)イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	H30	R4	独法委託	作物育種
作物育種	23	(H31-07)多様なニーズに対応する水稲品種の育成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)特性検定	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)後代系統の評価・選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)育成系統採種	R1	R5	令達	作物育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部果樹研究室】</b>						
果樹	24	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R5	民間委託	果樹
果樹	25	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹	26	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	R5	令達	果樹
果樹	27	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	H23	R3	県単	果樹
果樹	28	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単・独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単	果樹
果樹		(H26-15-2000)均質なフェザー苗を確保するための育成技術及び幼木管理技術の確立	H28	R1	独法等委託	果樹
果樹	29	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	R3	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫研究室
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	R3	県単/独法等委託	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	R3	県単	果樹/病理昆虫研究室
果樹	30	(H30-17)生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単	果樹
果樹		(H30-17-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-4000)耐寒性品種の育成及び選抜	H30	R4	令達	果樹
果樹	31	(H30-18)醸造用ぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-18-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単/令達	果樹
果樹		(H30-18-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法等委託	果樹
果樹		(H30-18-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-18-4000)優良品種の垣根栽培の実証	H30	R4	令達/独法等委託	果樹
果樹	32	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72~74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	33	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	R1	R10	県単	果樹
<b>【園芸技術部野菜研究室】</b>						
野菜	42	(H28-02)きゅうり省力・低コスト栽培技術の確立	H28	R3	県単	野菜
野菜		(H28-02-1000)作業が単純で省力的な栽培技術の確立	H28	R3	県単	野菜
野菜		(H28-02-2000)多雌花性品種を利用した省力栽培技術の確立	H28	R3	国庫委託/県単	野菜
野菜	44	(H28-15)水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証	H28	R1	独法等委託	野菜/園芸(県北)/農業経営/水田利用
野菜		(H28-15-1000)地域に適応する栽培技術の確立	H29	R1	独法等委託	野菜/水田利用
野菜	45	(H30-27)きゅうり先端肥大症発生予測技術の開発	H30	R2	国庫委託	野菜

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部花き研究室】</b>						
花き	46	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-2000)塊茎・越冬芽等の形態形成機構と制御条件の解明	H14	R5	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R5	県単	花き
花き	47	(H30-06)産地を強化するリンドウの品種育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-1000)親系統の育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-2000)親系統の維持	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-4000)未受精胚珠培養等による純系リンドウの作出	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-5000)鉢花用八重咲きリンドウの品種育成	H30	R4	独法委託	花き
花き	48	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-2000)鉢物りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
<b>【技術部南部園芸研究室】</b>						
南部園芸	49	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R7	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R3	県単研究	南部園芸
南部園芸	50	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R1	県単	南部園芸
南部園芸		(H30-08-3000)環境情報を活用した沿岸部の高生産技術の開発	H30	R4	国庫委託	南部園芸
南部園芸	51	(H30-19)四季成り性いちご品種の2年栽培技術の確立	H30	R2	県単	南部園芸
<b>【生産環境研究部土壌肥料研究室】</b>						
土壌肥料	52	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R5	県単	土壌肥料
土壌肥料	53	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R2	県単	土壌肥料
土壌肥料	54	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料	55	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R2	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	56	(H27-07)野菜・花きの鮮度保持技術の確立	H27	R1	県単/独法委託	土壌肥料
土壌肥料		(H27-07-2000)県産花きの鮮度保持技術の確立	H27	R1	県単・独法委託	土壌肥料
土壌肥料	57	(H27-08)雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	H27	R1	独法委託	土壌肥料
土壌肥料		(H27-08-1000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H27	R1	独法委託	土壌肥料
土壌肥料		(H27-08-2000)リン酸・カリ減肥基準の検証	H27	R1	独法委託	土壌肥料
土壌肥料	58	(H30-04)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H30-04-1000)麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H30-04-2000)麦栽培における緑肥作物の効果	H30	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	59	(H30-26)省力的かつ実効性の高いコメ中無機と素濃度低減技術の開発	H30	R4	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料		(H30-26-1000)水田営農における地力・生産力向上技術の実証	H30	R4	国庫委託	土壌肥料/水田利用/生産システム
土壌肥料	60	(H31-01)水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稻生育改善対策	R1	R3	県単	土壌肥料

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産環境研究部病理昆虫研究室】</b>						
病理昆虫	61	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	R5	民間委託	作物(県北)/園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)生産環境研究部	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)園芸技術研究部	H16	R5	民間委託	果樹
病理昆虫	62	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R5	令達	病理昆虫
病理昆虫	63	(H29-02)リンドウ黒斑病に有効な薬剤の探索	H29	R1	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	64	(H29-05)コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立	H29	R3	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-1000)夏秋どりキャベツにおける灌漑処理殺虫剤の防除効果	H29	R3	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-2000)コナガにおける薬剤感受性検定	H29	R3	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(H29-08)AIを活用した病害虫早期診断技術の開発	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H29-08-1000)トマトで発生する病害虫被害の検証	H29	R3	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-01-3000)本田初期の病害虫防除方法の確立	H30	R2	県単	病理昆虫
病理昆虫	66	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫/果樹研
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-2000)りんご園地における下草管理による生育への影響	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	67	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R1	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	68	(H30-28)トマトうどんこ病発生予測システムの実用化	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-1000)感染好適条件の解明	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-2000)ほ場における発病予測機能の検証	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	69	(H31-13)ナス果実小陥没症の発生生態の解明と防除技術の確立	R1	R3	国庫補助	病理昆虫
<b>【畜産研究所家畜育種研究室】</b>						
家畜育種	70	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	71	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	72	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	H28	R2	県単/独法等委託	家畜育種
家畜育種	73	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	H26	R10	県単	家畜育種
家畜育種	74	(H28-06)生産農場におけるパークシャー種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	R2	県単	家畜育種
家畜育種	75	(H29-03)雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術の確立	H29	R2	県単	家畜育種、外山畜産
家畜育種	76	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R4	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種	77	(H31-04)牛枝肉の画像解析による脂肪交雑形状評価方法の検証	R1	R3	令達	家畜育種
家畜育種	78	(H31-05)黒毛和種における分娩間隔短縮のための子宮回復の評価基準の作成と早期回復技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	79	(H31-06)地域飼料の有効活用による南部かしわ飼養技術の確立	R1	R3	県単	家畜育種
家畜育種	80	(H31-14)SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	R1	R3	令達	家畜育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】</b>						
家畜飼養・飼料	81	(H27-17)近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立	H27	R1	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(H27-19)外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	H27	R1	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(H27-20)子実トウモロコシサイレージの給与技術の開発	H27	R1	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(H28-14)泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	H28	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H30-11)チモシー極早生新系統の特性確認	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H30-12)採草地におけるワルナスビ防除体系の確立	H30	R3	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H30-20)フェストロリウム追播技術の確立	H30	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H30-21)二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	H30	R2	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H30-23)除染後草地の再更新時における施肥量の検討	H30	R2	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(H30-24)耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立	H30	R2	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(H31-03)生体センサーを活用した乳用牛群管理モニタリングシステムの開発	R1	R4	独法委託	家畜飼養・飼料
<b>【畜産研究所外山畜産研究室】</b>						
外山畜産	92	(H28-09)黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与技術の確立	H28	R1	県単	外山畜産/家畜飼養・飼料/家畜育種
外山畜産	93	(H30-14)ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地および粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	H30	R2	県単	外山畜産
外山畜産	94	(H30-15)BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力軽減技術の確立	H30	R2	県単	外山畜産
<b>【畜産研究所種山畜産研究室】</b>						
種山畜産	95	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	96	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	97	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R5	県単	種山畜産
<b>【県北農業研究所園芸研究室】</b>						
園芸(県北)	98	(H27-12)春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立	H27	R3	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H27-12-1000)長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	H27	R1	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H27-12-2000)春系キャベツの生育斉一化技術の確立	R1	R3	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	99	(H30-09)中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-1000)タマネギ初冬どり新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H30-09-2000)ハウスを活用したタマネギ春どり新作型の開発	H30	R2	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(R1-1-3000)畦立・施肥作業の高精度化実証(キャベツ)	R1	R2	独法等委託	園芸(県北)/生産システム
園芸(県北)		(R1-1-4000)中耕・除草作業の高精度化実証(キャベツ)	R1	R2	独法等委託	園芸(県北)/生産システム
<b>【県北農業研究所作物研究室】</b>						
作物(県北)	100	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R5	令達	作物(県北)
作物(県北)	101	(H27-23)大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築	H27	R1	国庫委託	作物(県北)/水田利用
作物(県北)		(H27-23-1000)大豆難防除雑草の効果的な除草体系の構築	H27	R1	国庫委託	作物(県北)/水田利用
作物(県北)		(H27-23-2000)薬用作物栽培における省力的な除草体系の構築	H27	R1	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	102	(H28-16)ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	H28	R2	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H28-16-1000)ミヤマトウキにおける苗の安定生産技術及び省力栽培体系の確立	H28	R2	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	103	(H31-02)機械移植に適した雑穀育苗技術の確立	R1	R3	県単	作物(県北)
作物(県北)	104	(H31-08)収量・品質に優れた雑穀新品種の育成	R1	R5	独法等委託	作物(県北)
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R5	独法等委託	作物(県北)

## (3)令和2年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置区分
1	農産	1	農業普及技術課（革新）	大豆の麦あと晩播栽培技術の確立	水田利用	B,C
2	農産	2	農業普及技術課（革新） 久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター	県北部で栽培可能な大豆新品種の育成	○作物(県北) 水田利用	B
3	農産	3	奥州農業改良普及センター	小麦品種「ナンブキラリ」の安定栽培法及び後期窒素追肥方法の検討	水田利用	B,D
4	農産	4	二戸農業改良普及センター	難脱粒性雑穀品種の開発	作物(県北)	B
5	農産	5	農業普及技術課（革新）	航空画像・リモートセンシングと気象データを組み合わせた生育評価・予測手法の確立	○生産システム 土壌肥料 作物(県北)	A2,A3,B
6	農産	6	JA全農いわて	直播栽培による良食味の主食用多収品種の育成	作物育種	B
7	農産	7	JA全農いわて	ドローンの活用による水田営農の省力技術体系の確立について	○生産システム 水田利用 土壌肥料 病理昆虫	B,D
8	農産	8	(一社)岩手県農業会議	本県が目指す10年後の農業、農村社会	○農業経営 研究企画	D
9	園芸	1	盛岡農業改良普及センター	短梢棚における醸造用ぶどうの栽培方法の確立	果樹	A2
10	園芸	2	盛岡農業改良普及センター	気象変動に伴うりんご病害防除体系の再検討	病理昆虫	B,C
11	園芸	3	中部農業改良普及センター	「紅いわて」のサビ果軽減効果の高いカルシウム資材の検討	果樹	B
12	園芸	4	JA全農いわて	「高野5号(奥州ロマン)」及び「高野7号(江刺ロマン)」の果実特性並びに鮮度保持効果の解明	果樹	B
13	園芸	5	JA全農いわて	スマートフレッシュ等鮮度保持資材の「はるか」及び「ふじ」に対する蜜入り保持効果の解明	果樹	A3,C
14	園芸	6	岩手県農業農村指導士協会	果樹における省力化や労力軽減を目指したスマート農業技術導入の検討	○生産システム 果樹	A3,B,C
15	園芸	7	農業普及技術課（革新）	土地利用型野菜(たまねぎ、キャベツ等)の目標単収に到達するための水田転換畑の土壌管理方法	○水田利用 野菜 土壌肥料	A1
16	園芸	8	JA全農いわて	秋植えたまねぎの安定生産技術	野菜	A1
17	園芸	9	農業農村指導士協会	りんどう、小ぎくに次ぐ本県に適した露地品目(枝物花木)に関する研究	花き	C,D
18	畜産	1	奥州農業改良普及センター	肉用繁殖牛における尿、唾液を用いた妊娠関連糖タンパク(PAG)検査による妊娠鑑定技術の確立	家畜育種	D
19	畜産	2	JA全農いわて	和牛肉における脂肪酸組成の理化学分析と光学測定分析の平準化	家畜育種	B
20	畜産	3	農業農村指導士協会	黒毛和種繁殖における早期母子分離促進に向けた岩手県版人工哺育技術の確立	家畜育種	C



## 5 共同研究等の推進

### (1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ・委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
社会実装促進業務委託事業	東北農業研究センター(*)	H30～R2	(1)オープンラボの運営及び平成29年度までに得られた成果の情報発信・PR (2)普及目標を定める技術に係る展示圃の設置運営による技術の紹介および導入効果の展示、展示圃を活用した研修会の実施	
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に向けた実証研究	岩手県農業研究センター	H30～R2	水田営農における地力・生産力向上技術、輪作・直播体系と組み合わせた難防除雑草の防除技術、ICTを活用した効率的な水管理技術などの導入条件の整理や要素技術の体系化を図る実証研究	水田利用 生産システム 農業経営 土壤肥料
きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究	岩手県農業研究センター	H30～R2	経営の発展段階に応じたICTを活用したキュウリ栽培の環境制御技術の確立およびキュウリの障害果(フケ果)の発生予測技術及び発生低減技術の確立	生産システム 野菜 南部園芸
原発事故からの復興のための放射性物質対策に関する実証	東北農業研究センター(*)	H30～R2	耕起困難草地における緩効性肥料を利用した省力施肥技術の確立および除染後草地の再更新時における施肥体系の開発	家畜飼養・飼料

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	中央農業総合研究センター(*)	H27～R元	野菜作(夏秋トマト施設栽培)における土壤可給態窒素の簡易測定等に基づく適正施肥技術の開発	土壤肥料
栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発	畜産研究部門(*)	H27～R元	外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発 トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発	家畜飼養・飼料
多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	中央農業研究センター(*)	H27～R元	薬用作物栽培における雑草管理の安定化と軽労化	作物(県北研)
省力的かつ現場で使い易いコメの無機と素低減技術の開発	農業環境変動研究センター(*)	H30～R4	水管理・資材施用によると素・カドミウムの同時低減のための現場実行性の高い栽培管理技術の開発	土壤肥料
品質保持期間延長技術の開発	野菜花き研究部門(*)	H28～R元	切り花の採花後低温品質管理技術の開発	土壤肥料
薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発	西日本農業研究センター(*)	H28～R2	トウキの露地育苗苗を用いた栽培における軽労化技術の開発	作物(県北研)
AIを活用した病害虫診断技術の開発	中央農業研究センター(*)	H29～R3	岩手県のトマト産地で発生する主要病害虫の発生実態調査と被害進行に応じた電子画像データの取得と人工知能の実証	病理昆虫

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)**

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とそれを踏まえたゲノム育種による安定・超多収系統の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	H30～R2	(1)準同質遺伝子系統(NIL)によるエピスタシスの実証 (2)生産現場における組換え近交系(RILs)形質の変動性の解明 (3)収量性関与遺伝子の導入効果の確認および集積による超多収系統の育成	作物育種
新規育種技術を活用した需要拡大のためのリンドウ品種の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	H28～R元	新奇性の高いリンドウの育成・八重咲きリンドウの育成	花き
施設園芸の主要病害発生予測A1による総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	公立大学法人秋田県立大学	H30～4	トマトうどんこ病のほ場での実証	病理昆虫
雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立	岩手県	R元～4	(1)アワ品種の育成 (2)アワ品種の多収栽培法と機械栽培体系の確立	作物(県北研)
ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発	岩手生物工学研究センター	R元～5	(1)リンドウにおけるゲノム編集の高度化技術の開発と利用 (2)リンドウ新規育種素材の開発と利用	花き

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(4) 革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロ、先導プロ、委託)**

課題名	研究期間	研究期間	研究の内容	担当研究室
【経営体強化】各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	果樹茶業研究部門(*)	H28～R元	わい化密植栽培における生育促進技術の開発と実証	果樹
【経営体強化】寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証	東北農業研究センター(*)	H28～R元	(1)岩手県に適する品種・作型と病虫害防除技術の確立 (2)簡易地下水水位制御を利用した水田転換畑での春まきタマネギ生産に適した圃場管理技術の確立 (3)全自動移植機に対応した448穴ポット育苗技術の確立 (4)大規模水田作における春タマネギ現地実証と経営評価	農業経営 水田利用 野菜 園芸(県北研)
【経営体強化】気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発	畜産研究部門(*)	H30～R2	(1)多年生ライグラス追播技術の確立 (2)二毛作を可能とするトウモロコシ市販品種の特性比較	家畜飼養・飼料
【先導】黒毛和種の低コストで良質な牛肉生産のための早期肥育技術の開発	中央農業研究センター(*)	H28～R2	黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	家畜育種
【A1】泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上	北海道農業研究センター(*)	H28～R2	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	家畜飼養・飼料

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 公設試等可能性調査 / 公設試連携研究 (県政策地域部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
日本酒テロワールの実現に向けた碎米率が低いオリジナル酒米品種の効率的育種法の共同開発	岩手県農業研究センター	R元	・品種登録における審査基準品種を用いてポットを養成し、茎切除による穂数制限で心白発現位置と心白発現量が品種間差を増大できるか検証する。 ・市場流通している玄米と同等の心白発現について検証可能な育種法を開発する。	作物育種
リンドウのウイルス病害に対する抵抗性素材の探索	(公財)岩手生物工学研究センター	R元	・岩手県内のリンドウ圃場で病気を引き起こしているウイルスを単離・同定し、その病原性評価系を確立する。それらに加え、すでに実験系が確立しているCMVとトンプスウイルスを中心に、様々なリンドウ品種 / 系統・変異体における病原性を調査し、抵抗性の様態を解析することで、育種に利用可能なリンドウ遺伝資源を明らかにする。	花き
機能性成分含量の高い雑穀品種の育成に向けた粒色(ルテイン・ゼアキサンチン)に関与する遺伝子同定と有望系統の探索	岩手県農業研究センター(県北農業研究所)	R元	(1)岩手県農業研究センター ・高機能性成分系統の探索のため、研究センターが保有するあわ遺伝資源200系統について粒色や機能性成分含量を評価する。 ・ゲノム解析用の分離集団を育成する。 (2)岩手生物工学研究センター ・あわ遺伝資源200系統の機能性成分合成に関与する遺伝子領域を解読し、機能性成分含量が高い有用遺伝資源の探索を行う。 ・分離集団を用いて、ゲノム解析による機能性成分関連遺伝子の同定とDNAマーカーの開発を行う。	作物(県北研)

(6) その他独法等からの委託 (10 / 10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H23~R元	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定試験	水田利用
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H31(R元)	育成地等からの大豆育成系統の立枯性病害特性検定試験	水田利用
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	R元	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27~	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
新品種・新技術の確立支援事業	東北農政局	H30~31(R元)	飼料用米「岩手122号」の栽培法の確立 飼料用米品種「たわわっこ」の特性把握	作物(県北研)
我が国の輸出に有利な国際的検疫処理基準の確立、実証事業	中央農業研究センター(*) 果樹茶業研究部門(*)	H28~	(1)モモシクイガ、ナシヒメシクイ等検疫措置の確立 (2)病害虫の発生状況調査等のデータ収集及びとりまとめ	病理昆虫
大学委託(科研費)	国立大学法人岩手大学	H30~	イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	作物育種

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(7) 民間委託試験 (10 / 10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	水田利用、果樹、野菜、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、小麦、大豆、りんご、トマト、レタス、タマネギ(春まき)、キャベツ、オーチャードグラス	水田利用、生産システム、果樹、野菜、土壌肥料、園芸(県北研)、家畜飼養・飼料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
日本短角種高品質赤肉生産開発事業	国立大学法人東北大学(JRA事業)	SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	家畜育種
情報処理等先端技術を活用した高生産システムの確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培及びICTを活用した水田作業の省力化技術の適応性	生産システム
高品質・高付加価値農産物の生産・供給技術の確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	トラクタ用タマネギ直播栽培用播種機の実証試験	野菜
令和元年度栽培マニュアルプラットフォーム実証業務	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(NTT東日本(株))	「シャインマスカット」の無加温ハウス栽培園に設置するIoTセンサーによるデータ収集による栽培マニュアルの構築	果樹

(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物育種
雑穀における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	ゲノム解析技術をアワ、キビ、タカキビ、ヒエなどイネ科雑穀に適用し、農業上重要形質に関わる有用遺伝子を同定し、その機能を解明する。	作物(県北研)
リンドウの新品種開発支援・そっ苦心技術の開発 リンドウ等の新規有用遺伝資源の開発	園芸資源研究部	R元～5	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 安定栽培に寄与する情報として生理・生態の解明 重イオンビームを利用した花色・花形・開花期・耐病性等の有用形質に関わる新規育種素材の開発	花き
現場ニーズに対応した即応的 植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部	R元～5	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)の感染実験系の確立と耐病性研究への利用	病理昆虫
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～R4	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

**(9) 他の公設試との共同研究**

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

**(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会**

## ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物育種
2 水稲栽培研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	水田利用 生産システム
3 イワテヤマナシ研究会	神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	花き

平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

## イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
(なし)		

**(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)**

開催月日	場所	内容
(なし)		

**(12) その他共同研究**

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	東北農業研究センター(*)、青森県産業技術センター農林総合研究所	H26～ R2	米粉、飼料用米等の普及拡大のため、多収性に耐冷性、耐病性等に優れた東北地域中北部に適した多収稲品種をの開発を行う。	作物育種
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、宮城県農業・園芸総合研究所	H31～ R4	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸
「ナンプコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～31	「ナンプコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	水田利用
農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー、およびそれに基づくサービスの構築と検証	農業技術革新工学研究センター(*)	H29～31	岩手県農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー(AOO)、及びそれに基づくサービスの検証	農業経営
肉用牛における新たな経済形質のゲノミック評価に関する研究	(一社)家畜改良事業団	H31～ R2	肉用牛において、肥育時発育パターンの種雄牛ごとの遺伝的能力解析、発育関連形質のゲノミック評価に向けたデータ解析等に取り組み、これらの形質について改良を可能とする手法を明らかにする。	種山畜産

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人家畜改良センター	H31 (R元)	・牛DNAサンプルと形質情報の収集 ・肥育牛、若雄牛、繁殖雌牛のゲノムワイドなSNP情報の解析 ・ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証	家畜育種
野鼠のリンゴ台木嗜好性に関する研究	果樹茶業研究部門(*)	H30～31	冬季の積雪が多くない地域での野鼠被害の対策に資するため、岩手県農業研究センターの野鼠被害が多い圃場に5種類の台木(JM1、JM7、M.26、マルバカイドウ)を定植し、被害の程度を調査し、野鼠被害に台木品種間再の有無を明らかにする。	果樹
ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	岩手大学	H30～32	ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地及び粗飼料圃場の効率的植生診断技術の確立	外山畜産
長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	岩手大学(株)サカタのタネ東北農業研究センター(*)	H30～R5	長日要求性素材と遺伝子解析を応用した極晩抽性ハクサイ品種の開発	野菜
低カドミウム遺伝子を付与した水稻系統の育成	農業環境変動研究センター(*)	H31～R2	カドミウム低吸収性遺伝子を付与したイネ系統を育成し、岩手県向けのカドミウム低吸収米を開発する。	作物育種
LAMP法による根こぶ病の菌密度測定キットの検証	ベジタリア株式会社	R元	LAMP法による根こぶ病の菌密度測定キットの有効性の検証	病理昆虫
小型炭酸ガス発生機の実用化研究	サンボット株式会社	R元～2	県内の小規模施設に導入可能な小型炭酸ガス発生機の開発と活用技術を開発することで、施設栽培の生産性向上と安定生産を可能にする。	生産システム

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (13) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	R元.5.14	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	平成30年度活動報告および令和元年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	R元.10.29	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	リエゾン-Iマッチングフェア2019について	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	R元.11.6	盛岡市 (岩手大学復興祈念銀河ホール)	基調講演 リエゾンI研究開発事業課育成資金贈呈企業によるプレゼンテーション	研究企画室

#### 1 令和元年度リエゾン-Iマッチングフェアでパネル等展示およびプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
りんどうの八重咲き品種で新たな需要を創出	花き研究室

## 6 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
			生産基盤研究部
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田における先端技術導入における先端技術導入による水田 営農の高度化に向けた実証研究 難防除雑草(コウキヤガラ)の蔓延防止対策実証	陸前高田市	小友	水田利用 (土壌肥料) (農業経営)
施肥合:大豆資材の施用効果確認	奥州市	江刺愛宕	
水稻奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳)	雫石町 紫波町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 久慈市 二戸市	長山 大巻 土川 鍋倉 沢内前郷 江刺稲瀬 萩荘 日頃市 上郷町 豊間根 夏井 安比	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺田原 玉山	
委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」 大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構 築 県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	奥州市	江刺愛宕	(県北・作物)
経営体強化プロジェクト「寒冷地の水田作経営収益向上のための春ま きタマネギ等 省力・多収・安定化技術の開発とその実証」 簡易地下水位制御を利用した水田転換畑での春まきタマネギ生産に 適した圃場管理技術の確立	花巻市	石鳥谷町新堀	(野菜) (農業経営) (県北・園芸)
水稻高密度播種苗移植栽培体系	花巻市		生産基盤研究部
新稲作研究会:ICTを活用した水田作業の省力化技術	花巻市		生産システム
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証	岩手町		
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田における先端技術導入における先端技術導入による水田 営農の高度化に向けた実証研究 耕盤均平、生育モデル、鳥害防止、スマート農業活用直播 実証	陸前高田市	小友	(土壌肥料) (水田利用) (農業経営)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 中小区画土地利用型営農技術の実証	矢巾町 北上市 奥州市	前沢	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 施設園芸技術の実証:施設野菜における環境制御技術	盛岡市 3戸 花巻市 一戸町 奥州市	江刺	

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 奥州市 一関市	金田一 内の沢 元村 江刺小倉沢 花泉町金沢	園芸技術研究部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町	
「革新技術・緊急展開事業(地域戦略プロ)」 各地域に適したりんご早期成園化技術の実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺愛宕	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	陸前高田市 野田村	米崎町 根井	
JM7台木利用樹衰弱症状対策試験	奥州市	江刺鴨沢	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(現地実証研究)」 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術大系の実証研究	陸前高田市 奥州市	竹駒 江刺田原	園芸技術研究部 野菜 (生産システム)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装)」 水稲施設等の高度利用によるパブリカの栽培技術	紫波町	片寄	
革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト) 「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」	花巻市 花巻市	太田 石鳥谷町新堀	
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (切り花向け有望系統の現地適応性試験)	奥州市 雫石町 一戸町	衣川 上野 小友	園芸技術研究部 花き
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (八重咲きりんどう有望系統の現地適応性試験)	北上市 八幡平市	稲瀬 安代	
食料生産地域再生のための先端技術展開事業 現地実証研究委託 事業 きゅうり産地の復興に向けた低コスト安定生産流通技術体系の実証研究	陸前高田市	竹駒町	園芸技術研究部 南部園芸
雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	紫波町	赤沢	生産環境研究部 土壌肥料
復旧水田における先端技術導入による水田営農の高度安定化に 向けた実証研究 地カムラの解消及び地力向上実証	陸前高田市	小友	
水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稲生育改善対策	花巻市 奥州市 一関市 釜石市	湯口 米里 巖美 唐丹	
マンガン資材による水稲ごま葉枯れ症抑制効果の検証	陸前高田市	広田	
緩効性ペースト肥料の施用効果	花巻市	湯口	



内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	二戸市 岩手町 北上市 宮城県栗 原市	上里 北山形 藤根 若柳	生産環境研究部 病理昆虫
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	軽米町	小軽米	
ナス果実小陥没症の発生要因解明と対策技術の確立	一関市 一関市	花泉 藤沢	
リンドウ黒斑病に有効な薬剤の探索	八幡平市 奥州市	大更 衣川	
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (現地調査)	二戸市 盛岡市 盛岡市 矢巾町 花巻市 花巻市 奥州市 奥州市 平泉町 一関市	石切所 川目 黒川 煙山 石鳥谷 東和 江刺樽輪 江刺愛宕 長島 藤の沢	
黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期間を含めた飼料給与体系の確立	盛岡市		畜産研究所 家畜育種
フェストロリウム追播技術の確立	雫石町	七つ森	畜産研究所 家畜飼養・飼料
泌乳量の平準化を通じた生涯生産乳量の向上技術の開発	一戸町 八幡平市		
大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証	花巻市	太田	東北農業研究所 園芸
中山間地域における収穫・出荷期間の拡大に向けたタマネギ新タイプの開発	二戸市	似鳥	
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証(畦立・施肥作業の高精度化実証、キャベツ)	岩手町	久保	
県北部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	二戸市	金田一	東北農業研究所 作物
露地野菜におけるスマート農業を活用した栽培体系の実証(中耕・除草作業の高精度化実証、キャベツ)	岩手町	久保	
薬用作物の機械除草体系の確立	軽米町	上館	
ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	二戸市 盛岡市玉山	夏間木 玉山	
岩手県における水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立 たわわっこの栽培法	軽米町	上館	
水稲奨励品種決定調査(2)本調査 早生系統	二戸市	安比	
	軽米町	円子	
	久慈市	夏井	



# 試験研究の成果



## 試験研究の成果

### 1 試験研究成果

#### (1)令和元年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	2	0	0	2
2 生産工学	0	0	0	0	0
3 水稲	0	3	4	1	8
4 畑作物	0	1	0	0	1
5 特産作物	0	1	0	0	1
6 果樹	2	1	0	0	3
7 野菜	0	9	0	0	9
8 花き	2	1	0	0	3
9 土壌作物栄養	0	2	0	0	2
10 病害虫制御	0	5	0	0	5
11 乳用牛	0	1	0	0	1
12 肉用牛	1	1	4	2	8
13 中小家畜(豚・鶏)	0	1	0	1	2
14 草地・飼料作物	1	3	0	0	4
15 畜産環境	0	0	0	0	0
[ 計 ]	6	31	8	4	49

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

## (2)令和元年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
果樹	R1-普-01	酒質に優れ、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「モンドプリエ」	果樹
果樹	R1-普-02	ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理による省力・熟期前進効果	果樹
花き	R1-普-03	7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF1品種「いわてEB-3号」の育成	花き
花き	R1-普-04	新奇性の高い鉢花向け八重咲きりんどう「いわてDfG PB-1号」の育成	花き
肉用牛	R1-普-05	黒毛和種県産種雄牛「安久勝晃(やすひさかつあき)」の作出	種山畜産
草地・飼料作物	R1-普-06	BLE通信技術を用いた放牧牛群の簡易な個体確認手法の確立	外山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R1-指-01	集落営農組織における園芸作の取組実態と導入検討のポイント	農業経営
農業構造・経営管理	R1-指-02	水田作経営における春まきたまねぎの導入条件	農業経営
畑作物	R1-指-03	令和元年台風第19号による大豆の冠水被害	水田利用
水稻	R1-指-04	令和元年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R1-指-05	水稻品種「銀河のしずく」の生育予測パラメータ	生産システム
水稻	R1-指-06	岩手県における水稻高密度播種苗の播種量及び育苗日数	生産システム
果樹	R1-指-07	りんご品種「紅ロマン」の1-MCP剤(スマートフレッシュTM)処理による鮮度保持効果	果樹
野菜	R1-指-08	きゅうり先端肥大症の発症助長要因	野菜
野菜	R1-指-09	鮮度保持フィルムを用いたきゅうり先端肥大症軽減効果	野菜
野菜	R1-指-10	春まきたまねぎ栽培における細菌防除剤の腐敗抑制効果	野菜
野菜	R1-指-11	春まきたまねぎのネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価	野菜
花き	R1-指-12	りんどう早生品種「恋りんどう」における全茎収穫栽培の適用条件	花き
野菜	R1-指-13	いちご促成栽培における種子繁殖型品種「よつぼし」の各栽培体系の導入効果	南部園芸
野菜	R1-指-14	いちご低温カット栽培における極晩生品種「そよかの」の特性	南部園芸
土壌作物栄養	R1-指-15	マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌蓄積養分の簡易評価手法	土壌肥料

分野	成果番号	成果名	担当研究室
土壌作物 栄養	R1-指-16	土壌の可給態窒素に基づく雨よけトマトの窒素減肥技術	土壌肥料
病虫害制 御	R1-指-17	無人マルチローター（ドローン）による薬剤散布特性の把握	病理昆虫
病虫害制 御	R1-指-18	畑わさびの害虫ワサビルリイロサルゾウムシに対する数種殺虫剤の被害軽減効果	病理昆虫
病虫害制 御	R1-指-19	カーバムナトリウム塩液剤のきゅうり古株枯死処理によるホモプシス根腐病菌の増殖抑制効果	病理昆虫
病虫害制 御	R1-指-20	アブラナ科野菜根こぶ病多発圃場における効果的な被害軽減対策と転炉スラグによる土壌pH改良効果の持続性	病理昆虫
野菜	R1-指-21	春まきたまねぎ栽培における好適品種と定植時期	県北（園芸）
野菜	R1-指-22	春まきたまねぎ栽培における「トタナ」の収穫適期	県北（園芸）
野菜	R1-指-23	たまねぎの全自動移植機に適する育苗培土の特性	県北（園芸）
特産作物	R1-指-24	県北部の大豆圃場におけるレーキ式除草機を用いたアレチウリの除草技術	県北（作物）
中小家畜 (豚・鶏)	R1-指-25	飼料用米ソフトグレインサイレージ多給による南部かしわの発育と産肉性への影響	家畜育種
草地・飼料 作物	R1-指-27	飼料用とうもろこし不耕起栽培における堆肥利用技術	家畜飼養・飼料
草地・飼料 作物	R1-指-28	イネ科主体牧草及び牧草サイレージの蛋白質画分用近赤外分析検量線	家畜飼養・飼料
草地・飼料 作物	R1-指-29	ドローン空撮画像を用いた経年草地の裸地率等の推定方法について	外山畜産
肉用牛	R1-指-30	26か月齢出荷を可能とする黒毛和種育成・肥育技術の確立	家畜育種
病虫害制 御	R1-指-31	水稲高密度播種苗移植栽培における葉いもち・初期害虫の防除	病理昆虫

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R1-行-01	令和2年度水稲奨励品種決定調査 本調査・現地調査に供試する系統	水田利用
水稲	R1-行-02	令和元年度における水稲奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
野菜	R1-行-03	水田転換畑の春まきたまねぎ栽培に適した排水対策・かん水技術	水田利用
水稲	R1-行-04	令和2年度水稲奨励品種決定調査に供試する「岩手141号」「岩手142号」「岩手143号」	作物育種
畜産	R1-行-05	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
畜産	R1-行-06	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
畜産	R1-行-07	黒毛和種産肉能力検定(直接法)	種山畜産
畜産	R1-行-08	黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R1-研-01	携帯型リーフポロメーターを用いた水稲多収系統の選抜方法	作物育種
畜産	R1-研-02	日本短角種一産取り肥育で生産された牛肉の消費者嗜好	家畜育種
畜産	R1-研-03	黒毛和種における分娩前後の血中β-ヒドロキシ酪酸(BHB)と子宮内膜細胞中の多形核白血球割合(PMN(%))および分娩後初回発情との関係	家畜育種
畜産	R1-研-04	正常な背脂肪厚のパークシャー種肥育豚における発育及び背脂肪厚、飼料摂取量の推移	家畜育種



## 2 追跡評価

### 令和元年度追跡評価の概要

#### (1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

#### (2) 追跡評価の調査方法

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成28年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,186成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C:後年度の成果に反映(更新)

D:無効(Bの概念に含まないもの)

##### イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成28年度に公表した「普及」区分の研究成果(4成果)

b 平成28年度に公表した「指導」区分の研究成果(3成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)  
農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象  
岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)  
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)  
日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼  
評価調書による調査:成果毎に調査対象者\*1を定め、評価調書による調査を依頼  
調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調書による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼  
調査対象は、農業普及技術課農業革新支援担当の協力を得て選定

#### (3) 追跡評価の結果

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	953
B	189
C	44
D	0
合計	1186

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H28-普-01)りんご樹体内に食入したヒメボクトウ幼虫の効果的な防除方法	-	A
(H28-普-02)品種 極良食味の主食用晩生粳水稻「金色の風」	A	B
(H28-普-03)品種 耐倒伏性に優れる早生の飼料用米粳水稻「岩手122号」の育成	-	A
(H28-普-06)品種 切り餅加工適性に優れる早生糯水稻「ふ系糯234号」	D	B

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
乗用型ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	3.0
パイプハウスを用いたトマト多収化モデル	3.0
飼料用トモロコシ栽培の不耕起対応高速播種機活用による省力不耕起播種技	1.0

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

b 農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能する収穫後のジベレリン処理技術	2.3
水稻鉄コーティング点播機用作溝草地の開発(追補)	2.7
常時被覆育苗による乳苗移植栽培の特徴	2.0
「つぶゆたか」の鉄コーティング湛水直播による飼料用米安定生産のための生育指標と栽培法	3.0
「ひとめぼれ」の鉄コーティング直播による良質米安定生産のための生育指標と栽培法	3.0
無代かき鉄コーティング直播栽培の特徴	2.3
岩手県中南部における帰化アサガオ類の発生状況と開花結実時期	2.7
沿岸地域における水稻鉄コーティング湛水直播及び大豆栽培技術の導入効果	3.3
開花直前の摘心による大豆の倒伏軽減効果	2.3
大豆「シュウリュウ」の青立ち発生を抑制するための播種期・栽植密度及び裂莢の発生様態	2.7
水稻新品種「金色の風」の良食味・高品質安定栽培法	3.0
県産地品種と比較した水稻新品種「金色の風」の食味特性	3.0
水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合	2.3
水稻1～2年後の転換畑での小麦「ゆきちから」の窒素施肥量	3.7
水稻品種「銀河のしずく」のいもち病圃場抵抗性を利用した穂いもち防除の省略	3.7
小麦品種「銀河のちから」におけるコムギ赤かび病の防除回数	3.7
ホップベと病・うどんこ病の効果的かつ低コストな防除体系	4.0
水稻出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策(追補)	3.0
大規模施設園芸経営における労務管理の方向	2.7
りんご「岩手7号(紅いわて)」の収穫適期判断(追補)	3.3
りんご品種「紅ロマン」の品種特性(追補)	3.3
温度変換日数法よるりんご開花予測の精度向上	3.0
ユズ既存樹のせん定による樹形改善が収量及び収穫効率に与える影響	3.0
ササリンドウの主塊茎と副塊茎に着目した株の経年推移	2.5

課題名	指導効果等の向上
無加温ハウス栽培に適する促成向けいちご品種	3.5
包装形態及び保存温度がなすの品質に及ぼす影響	4.0
りんご園地内で土着天敵を維持し、ハダニ類の密度を低く抑える防除技術	3.0
きくの害虫キクヒメタマバエに対する数種殺虫剤の防除効果	4.0
生食向け露地ほうれんそうの栽培法	3.3
飼料用トモロコシ6～7葉期におけるトブラメゾン処理の雑草防除効果	3.3
広域コントラクターにおける圃場管理システムを活用した飼料用トモロコシ収穫作業の効率化	3.0
希塩酸抽出法による粗飼料のミネラル測定	3.3
土壌中交換性カリが改良目標値以下の除染草地における施肥管理	3.0
硬盤破碎と表層攪拌を組み合わせた草地更新技術の確立	2.3
日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法	2.5
黒毛和種肥育期間短縮のための飼料給与体系の確立	2.3

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

### 3 東北農業試験研究成果

< 研究成果情報 >

#### (1) 研究成果数

推進部会名	生産環境	畜産飼料作	野菜花き	果樹	計
研究成果数	1	2	1	1	5

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
生産環境	マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌養分の簡易評価手法	普及	土壌肥料
畜産飼料作	BLE通信技術を用いた放牧牛群の簡易な個体確認システム	普及	外山畜産
	泌乳中後期牛用のTMRにおいて乾物中20%程度であればトウモロコシ子実サイレージを給与可能	研究	家畜飼養・飼料
野菜花き	新奇性の高い八重咲き鉢花向けリンドウ新品種「いわてDiG PB-1号(仮称)」	普及	花き
果樹	中粒種用短梢棚を利用した「シャインマスカット」栽培における適正着果量	普及	果樹

# 試験研究成果の発表



## 試験研究成果の発表

### 1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部 経営 1 No.1	令和元年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R2.3	89
生産基盤研究部 生産基盤元-No.1	令和元年度 水稻関係除草剤試験成績書(水田利用研究室)	R1.10	165
生産基盤元-No.2	令和元年度 水稻関係除草剤試験成績書(水田利用研究室)	R2.3	200
生産基盤元-No.3	令和元年度 生産システム研究室試験成績書	R2.3	200
園芸技術研究部 園芸 30 No.2	平成30年度 果樹関係試験成績書(技術部果樹研究室)	H31.3	108
園芸 1 No.2	令和元年度 試験研究成績書(野菜研究室)	R2.3	151
	春まきタマネギ栽培マニュアル	R2.3	42
園芸 1 No.1	平成29年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	H31.4	55
生産環境研究部 環境 R1 No.2	平成28年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	R2.3	182
環境 R1 No.2	平成28年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	R2.3	214
環境 30 No.1	平成30年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	H31.3	379
病虫害防除部	令和元年度 植物防疫事業年報	R2.3	191
畜産研究所 畜産 1 No.1	令和元年度試験成績書(畜産研究所)	R2.3	120
県北農業研究所 県北 R1 No.1	令和元年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R2.3	186
県北 R1 No.2	令和元年度 試験研究成績書(作物研究室)	R2.3	216

## 2 研究レポート(令和元年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
961	酒質に優れ、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「モンドプリエ」	果樹
962	ぶどう「サニールージュ」は早期ジベレリン処理で摘粒作業を2割省力、収穫期を前進できます	果樹
963	7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF1品種「いわてEB-3号」の育成	花き
964	鉢花向け八重咲きりんどう「いわてDfG PB-1号」	花き
965	黒毛和種県産種雄牛「安久勝晃(やすひさかつあき)」の作出	種山畜産
966	BLE通信技術を用いた放牧牛群の簡易な個体確認手法の確立	外山畜産
967	集落営農組織における園芸作の取組実態と導入検討のポイント	農業経営
968	水田作経営における春まきたまねぎの導入条件	農業経営
969	令和元年台風第19号による10月の大豆の冠水被害	水田利用
970	令和元年産水稻の登熟期前半の高温による品質への影響と対策	生産システム
971	水稻高密度播種苗の播種量及び育苗日数	生産システム
972	りんご「紅ロマン」の1-MCP剤処理による鮮度保持効果	果樹
973	きゅうり先端肥大症の発症助長要因	野菜
974	鮮度保持フィルムを用いたきゅうり先端肥大症軽減効果	野菜
975	春まきたまねぎ栽培における細菌防除剤の腐敗抑制効果	野菜
976	春まきたまねぎ栽培のネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価	野菜
977	りんどう早生品種「恋りんどう」における全茎収穫栽培の適用条件	花き
978	定植までの管理を省力化できる種子繁殖型いちご「よつぼし」	南部園芸
979	いちご低温カット栽培における新品種「そよかの」の特性	南部園芸
980	土壌の窒素・リン酸・カリを簡易に評価できます	土壌肥料
981	土壌の可給態窒素を活用した雨よけトマトの窒素減肥技術	土壌肥料
982	無人マルチローター(ドローン)による薬剤散布特性の把握	病理昆虫
983	畑わさびの害虫ワサビルリイロサルゾウムシに対する数種殺虫剤の被害軽減効果	病理昆虫
984	キュウリホモプシス根腐病の伝染源対策	病理昆虫
985	アブラナ科野菜根こぶ病の被害軽減対策	病理昆虫
986	春まきたまねぎ栽培における好適品種と定植時期	県北(園芸)
987	春まきたまねぎ栽培における「トナナ」の収穫適期	県北(園芸)



No.	試験研究成果名	担当研究室
988	たまねぎの全自動移植機に適する新規育苗培土の特性	県北(園芸)
989	県北部の大豆圃場におけるレーキ式除草機を用いたアレチウリの除草技術	県北(作物)
990	飼料用米ソフトグレインサイレ - ジ多給による南部かしわの発育と産肉性への影響	家畜育種
991	とうもろこし子実サイレージの乳牛への給与技術	家畜飼養・飼料
992	飼料用とうもろこしの不耕起栽培で堆肥を利用する方法	家畜飼養・飼料
993	ドローン空撮画像を用いた経年草地の裸地率推定手法について	外山畜産
994	水稻高密度播種苗移植栽培における葉いもち・初期害虫の防除	病理昆虫

### 3 岩手県農業研究センター研究報告

(令和元年度:発行なし)

### 4 学会等研究報告

#### (1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

東北農業試験研究第62回発表会(2019.8.6 開催・盛岡市)・東北農業研究(第72号)

吉田 徳子 岩手県内の集落営農組織における園芸作導入の現状と課題 東北農業研究 72: 103-104
大野 浩・西田 絵梨香・佐々木 真人 岩手県におけるブドウ「シャインマスカット」の適正着果量 東北農業研究 72: 69-70
小田島 雅・小澤 傑 リンドウの花芽分化期と開花期 東北農業研究 72: 89-90
葉上 恒寿、島 輝夫 「水稻鉄コーティング湛水直は栽培に適した肥効調節型肥料の配合」 東北農業研究 72: 23-24
小田島 芽里、高橋 良学 「稲わら秋施用施用による水田土壌の交換性カリ含量の経時変化」 東北農業研究 72: 25-26
佐々木 康仁・増田 隆晴 <sup>1</sup> ・大宮 元 <sup>1</sup> 奥州農業改良普及センター BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力の低減効果 東北農業研究 72: 39-40
安田 潤平・神山 洋・土谷 のぞみ・細川 泰子 黒毛和種去勢牛の育成期における高蛋白質飼料が発育成績に及ぼす影響 東北農業研究 72: 41-42
土谷 のぞみ・安田 潤平・細川 泰子 雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術 東北農業研究 72: 47-48
高杉 亘・細川 泰子 パークシャー種肥育後期用配合飼料における栄養バランスによる背脂肪厚及び日増体量の推定 東北農業研究 72: 51-52
高村 聡美 耕起困難草地において緩効性肥料が牧草中放射性セシウム濃度及びミネラルバランスに与える影響 東北農業研究 72: 37-38
小野 直毅・高橋 好範 大豆畑周辺の非農耕地におけるアレチウリの発消長と省力管理の試み 東北農業研究 72: 35-36

#### 日本作物学会東北支部報

小舘 琢磨 <sup>1</sup> ・田中 洋貴 <sup>2</sup> ・伊禮 凧沙 <sup>2</sup> ・安江 紘幸 <sup>3</sup> ・岡留 博司 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 岩手県農業研究センター・ <sup>2</sup> 沖縄県農業研究センター名護支所・ <sup>3</sup> 農研機構東北農業研究センター・農研機構本部) 岩手県及び沖縄県における低アミロース米の食味関連形質の比較 日本作物学会東北支部報62: 15-18
--

#### EBC(Evidence-based Contorol)研究会誌

岩館 康哉 岩手県におけるキュウリホモプシス根腐病の総合防除対策の確立 EBC研究会誌 15:17-26
--

北日本病害虫研究会報

<p>横田 啓・熊谷 初美・福田 拓斗・荻内 謙吾                  岩手県の春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマの適切な殺虫剤散布間隔                  北日本病害虫研究会報 70:152-157.</p>
<p>岩館 康哉・千田 裕*1・岡本 淳*2・千葉 満男*2                  圃場対策および育苗対策の組み合わせによるキャベツ根こぶ病の防除                  北日本病害虫研究会報 70:49-52                  *1 岩手県八幡平農業改良普及センタ - 岩手町駐在, *2 ミネックス(株)</p>
<p>岩館 康哉・佐々木 陽菜                  ナス果実の小陥没症と推定される発生要因の検討                  北日本病害虫研究会報 70:76-79</p>
<p>中村 太紀*1・西田 絵梨香・加藤 真城・佐々木 真人・高橋 藍・岩館 康哉(2019)                  岩手県におけるリンゴ急性衰弱症の発生生態                  北日本病害虫研究会報 70:96-100                  *1 中部農業改良普及センター遠野サブセンター</p>
<p>中村 太紀*1・高橋 藍・佐々木 真人・加藤 真城・岩館 康哉(2019)                  リンゴ急性衰弱症の発生抑制法の検討                  北日本病害虫研究会報 70:101-104                  *1 中部農業改良普及センター遠野サブセンター</p>
<p>佐々木 陽菜・岩館 康哉(2019)                  ダイズ紫斑病に対する各種SDHI剤の防除効果                  北日本病害虫研究会報 70:199</p>
<p>佐々木 陽菜・岩館 康哉(2019)                  ナス褐色斑点病に対する各種薬剤の防除効果                  北日本病害虫研究会報 70:202</p>
<p>中野 央子(2019)                  直播水稻におけるイネミズゾウムシ成虫加害の検討                  北日本病害虫研究会報 70:209</p>
<p>猫塚 修一・名久井 一樹・中村 大紀*1・遠藤 歩美(2019)                  岩手県におけるリンゴ黒星病の発生と開花前の早期感染の関係                  北日本病害虫研究会報 70:90 - 95                  *1中部農業改良普及センター遠野普及サブセンター</p>
<p>佐藤 美和子*1・鈴木 敏男*2(2019)                  有効積算温度を用いたリンドウホソハマキの防除開始時期の決定                  北日本病害虫研究会報 70:187-189                  *1 現在・奥州農業改良普及センター、*2 岩手県植物防疫協会</p>

## (2) 学会発表(発表要旨)

日本育種学会 第137回講演会(感染症対策のため中止。講演要旨のみの発表)

仲條 眞介<sup>1</sup>・吉津 祐貴<sup>1</sup>・藤岡 智明<sup>1</sup>・小館 琢磨<sup>1</sup>・齊藤 智宏<sup>2</sup>・太田 裕貴<sup>3</sup>・阿部 陽<sup>4</sup>  
(1岩手農研セ、2岩手県庁、3岩手県南広域振興局、4岩手生工研セ)  
4遺伝子集積品種「岩手117号」に新たに早生遺伝子を導入して育成した系統の栽培特性  
育種学研究 (別1):120

日本作物学会 第248回講演会(2019.9.26 開催・とりぎん文化会館)

小館 琢磨<sup>1,2</sup>・藤岡 智明<sup>1</sup>・岡留 博司<sup>3</sup>・安江 紘幸<sup>4</sup>・小出 章二<sup>2,5</sup>  
(1岩手県農業研究センター・2岩手大学大学院連合農学研究科・3農研機構本部・4農研機構東北農業研究センター・5岩手大学農学部)  
タンパク質含有率が異なる低アミロース米の白米における水浸裂傷粒の特徴  
日本作物学会第248回講演会要旨集:74.

日本作物学会 第249回講演会(感染症対策のため中止。講演要旨のみの発表)

小館 琢磨<sup>1,2</sup>・藤岡 智明<sup>1</sup>・岡留 博司<sup>3</sup>・安江 紘幸<sup>4</sup>・小出 章二<sup>2,5</sup>  
(1岩手県農業研究センター・2岩手大学大学院連合農学研究科・3農研機構本部・4農研機構東北農業研究センター・5岩手大学農学部)  
タンパク質含有率が異なる低アミロース米の白米における水浸裂傷粒の特徴  
日本作物学会第249回講演会要旨集:141

藤岡 智明<sup>1</sup>・阿部 陽<sup>2</sup>・堺 俊之<sup>3,4</sup>・寺内 良平<sup>3</sup>・仲條 眞介<sup>1</sup>・上村 豊和<sup>5</sup>・川島 史寛<sup>6</sup>・斎藤 真一<sup>6</sup>・小林 恭子<sup>6</sup>  
(1 岩手県農業研究センター・2 岩手生物工学研究センター・3 京都大学、4The Sainsbury Laboratory・5 青森県産業技術センター・6 福島県農業総合センター)  
異なる環境で栽培したイネ組換え近交系統群の農業形質変動及び遺伝子-環境間相互作用の解析  
日本作物学会第249回講演会要旨集:81

日本官能評価学会 2019年大会(2019.11.17 開催・東京家政大学)

小館 琢磨・藤岡 智明・仲條 眞介  
(岩手県農業研究センター)  
水稲品種“ひとめぼれ”の粒厚が食味官能評価および米飯物性に与える影響  
日本官能評価学会2019年大会発表要旨集:24.

園芸学会(令和元年度秋季大会:2019.9.15~17開催・島根大学 園芸学研究. 18(別2): 2018.9月発行)

田代 勇樹  
キュウリ先端肥大症に及ぼす収穫時果実形質等の影響  
2019.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 18(別2): 373.

横田 啓  
岩手県北部の秋まきタマネギ栽培に適する品種と栽培上の留意点  
2019.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 18(別2): 423.

鈴木 朋代・漆原 昌二  
寒冷地における種子繁殖型イチゴ品種‘よつぼし’の本圃直接定植法の定植時期の検討(第2報)  
2019.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 18(別2): 356.

園芸学会(令和2年度春季大会:2020.3.21~22開催・東京農工大学小金井キャンパス. 19(別1): 2020.3月発行):新型コロナウイルスの関係で

<p>佐藤 春菜<sup>1</sup>・田代 勇樹<sup>1</sup>                  キュウリ早熟作型における初期生育の品種間差異                  2020.園学研(Hort. Res. (Japan)). 19(別1): 295                  1岩手農研セ</p>
<p>佐々木 達史<sup>1</sup>・吉田 泰<sup>1,2</sup>・藤尾 拓也<sup>1</sup>                  トマト越冬栽培における 定植苗の仕立て本数と 接ぎ木が 収量に 及ぼす影響                  2020.園学研(Hort. Res. (Japan)). 19(別1): 346                  1岩手農研セ 2岩手農普技課 農業革新支援担当</p>
<p>藤尾 拓也<sup>1</sup>・安東 赫<sup>2</sup>                  施設キュウリ摘心栽培における群落光合成のに基づいた収量構成要素の評価                  2020.園学研(Hort. Res. (Japan)). 19(別1): 298                  1岩手農研セ 2農研機構野菜花き部門</p>
<p>細越 翔太<sup>1</sup>・横田 啓<sup>1,2</sup>                  岩手県のタマネギ初冬どり新作型における育苗条件の違いがセット球内の養分量ならびに収量に及ぼす影響                  2020.園学研(Hort. Res. (Japan)). 19(別1): 319                  1 岩手農研セ 2 岩手農研セ</p>
<p>小澤 傑<sup>1</sup>・渡辺 藍子<sup>2</sup>・後藤 史奈<sup>2</sup>・西原 昌宏<sup>2</sup>・内藤 善美<sup>1</sup>                  新奇性の高い鉢花向け八重咲きリンドウ'いわてDiG PB-1号'の育成                  2020.園学研(Hort. Res. (Japan)). 19(別1): 409.                  1岩手農研セ 2岩手生物工学研究センター</p>

令和元年度 日本土壌肥料学会東北支部大会(2019.7.2~3開催・南相馬市)

<p>高橋 良学・桐山 直盛<sup>*1</sup>                  可給態窒素を活用した夏秋トマトの窒素減肥技術の実証  <sup>*1</sup> 岩手県農業普及技術課</p>
<p>葉上 恒寿・島 輝夫・小田島 芽里・藤井 弘<sup>*1</sup>                  津波被災農地におけるマルチスペクトルカメラ搭載ドローンによる水稻生育の評価  <sup>*1</sup> 山形大学</p>

令和元年度 日本土壌肥料学会静岡大会(2019.9.3~5開催・静岡市)

<p>葉上 恒寿・高橋 良学・島 輝夫                  岩手県の水田土壌における35年間の施肥管理と化学性の変化~ 土壌環境基礎調査および土壌機能実態モニタリング調査から~</p>
<p>高橋 良学・島 輝夫・葉上 恒寿                  岩手県の畑土壌における35年間の有機物施用と化学性の変化~ 土壌環境基礎調査および土壌機能実態モニタリング調査から~</p>
<p>菅野 均志<sup>*1</sup>・葉上 恒寿<sup>*2</sup>・清水 健太郎<sup>*3</sup>・牧野 知之<sup>*1</sup>                  定点調査資料からみた水田土壌の可給態硫黄の変化-岩手県と広島県における測定事例-  <sup>*1</sup> 東北大院農 <sup>*2</sup> 岩手農研セ <sup>*3</sup> 広島農技セ</p>

第73回 北日本病害虫研究発表会(2020.2.20~21開催・秋田市 北日本病害虫研究会報. 71:印刷中)

<p>横田 啓・福田 拓斗・熊谷 初美・佐々木 達史                  春まきタマネギの ネギアザミウマに対する 各種殺虫剤の評価</p>
<p>中野 央子                  斑点米カメムシ類に対する数種防除薬剤の効果</p>
<p>佐々木 陽菜                  ダイズ紫斑病防除におけるQol剤の使用法に関する考察</p>
<p>岩館 康哉・佐々木 陽菜                  ナス果実の小陥没症に対する各種薬剤の防除効果</p>
<p>加藤 真城                  岩手県のリンゴ園地に生息する樹上及び下草のカブリダニ類</p>

第73回 北日本病害虫研究発表会(前ページの続き)

猫塚 修一・名久井 一樹・遠藤 歩美 リンゴ黒星病の発生に関するリスク要因分析
吉田 雅紀・猫塚 修一 岩手県における大豆子実害虫被害の傾向
佐藤 千穂子 岩手県におけるネギ葉枯病(黄色斑紋症状)の発生特徴と防除対策

第64回日本応用動物昆虫学会大会(2020.3.15～17 開催中止 名城大 講演要旨)

横田 啓・熊谷 初美・佐々木 達史 春まきタマネギにおける殺虫剤と細菌防除剤が収量と腐敗に及ぼす影響 第64回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:63
--

令和元年度(第55回)日本植物病理学会東北支部会(2019.9.24～25開催・秋田市)

岩館 康哉・佐々木 陽菜 フルジオキシニル水和剤の散布によりナス果実の小陥没症を抑制できる 日本植物病理学会報 86(1):69(講要)
--

東北育種研究会(第14回研究集会:2019.11.30)

高草木 雅人 岩手県における雑穀育種の取り組み【特別講演】
----------------------------------

東北農業試験研究第62回発表会(2019.8.6 開催・いわて県民情報交流センター(アイーナ)・東北農業研究(第72号))

吉田 徳子 岩手県内の集落営農組織における園芸作導入の現状と課題 東北農業研究 72:103-104
大野 浩・西田 絵梨香・佐々木 真人 岩手県におけるブドウ‘シャインマスカット’の適正着果量 東北農業研究 72:69-70
小田島 雅・小澤 傑 リンドウの花芽分化期と開花期 東北農業研究 72:89-90
安田 潤平・神山 洋・土谷 のぞみ・細川 泰子 黒毛和種去勢牛の育成期における高蛋白質飼料が発育成績に及ぼす影響 東北農業研究 72:41-42
土谷 のぞみ・安田 潤平・細川 泰子 雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術 東北農業研究 72:47-48
高杉 亘・細川 泰子 パークシャー種肥育後期用配合飼料における栄養バランスによる背脂肪厚及び日増体量の推定 東北農業研究 72:51-52
高村 聡美 耕起困難草地において緩効性肥料が牧草中放射性セシウム濃度及びミネラルバランスに与える影響 東北農業研究 72:37-38
佐々木 康仁 BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力の低減効果について 東北農業研究 72:39-40
小野 直毅・高橋 好範 大豆畑周辺の非農耕地におけるアレチウリの発生消長と省力管理の試み 東北農業研究 72:35-36

農業情報学会2019年大会(2019.5.15～16 開催・東京大学弥生講堂)

○前山 薫1・佐藤 正衛2・鈴木 明日香3・南石 晃明4  
作業ノウハウ体系化ツールを用いた農業技術情報の共有化  
1岩手農研セ、2農研機構北海道農研、3胆沢平野土地改良区、4九州大学

○佐藤 正衛1・前山 薫2・南石 晃明3  
地域の農業経営指標を利用した農業技術体系データベース構築手法  
1農研機構北海道農研、2岩手農研セ、3九州大学

第10回 農産物流通技術研究会(2019.11.29・東京都)

田代 勇樹・佐藤 春菜・佐藤 達雄・児島 清秀  
フィルム包装によるキュウリ先端肥大症の発症軽減

第69回東北畜産学会山形大会(2019.8.27～28 開催・山形市山形テルサ)

佐々木 康仁・増田 隆晴1・大宮 元  
日本短角種を用いた蹄耕法による草地更新技術  
1 奥州普及セ

尾張 利行・飯村 太一1・吉田 力・佐々木 康仁・大宮 元  
黒毛和種育成牛におけるTMR給与技術  
1 一関普及セ

2019年度日本草地学会静岡大会(2020.3.24～26・静岡大学) 開催中止 原稿提出

佐藤 真  
トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用 - 表面施用 -  
トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用 - 前年多量施用 -

令和元年度 農研機構マッチングフォーラム in 東北(2019.12.4 開催・いわて県民情報交流センター(アイーナ))

高村 聡美  
岩手県の転作田におけるフェストロリウムの栽培実証と普及

佐藤 真  
飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術

佐々木 康仁  
蹄耕法による草地更新技術

令和元年度農業農村工学会東北支部秋田大会(2019.11.12 開催・秋田ビューホテル)

小野寺 健一  
水田転換畑での春まきタマネギ栽培に適した給排水技術

## 5 雑誌等掲載

### (1) 専門雑誌等

果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

大野 浩 「果樹園管理のポイント(リンゴ)」 令和2年1～3月号
西田 絵梨香 「リンゴにおける摘果剤・摘葉剤による省力化」 令和2年1月号

月刊「植物防疫」(一般社団法人日本植物防疫協会)

熊谷 拓哉 研究室紹介「岩手県農業研究センター生産環境研究部病理昆虫研究室」 2019年9月号
羽田 厚 研究報告「ナミハダ二個体群構造の遺伝的解析による殺ダニ剤感受性低下個体群の分布要因の推定」 2020年3月号
岩館 康哉 トピックス「ナス果実の小陥没症とナス褐色斑点病の関係」 2020年3月号
猫塚 修一 露地夏秋キュウリに発生する褐斑病のリスク要因分析 2019年11月号

畜産技術(畜産技術協会)

佐藤 真 飼料用トウモロコシにおける不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術 2020年3月号
---

### (2) 月刊「農業普及」(平成31年4月号～令和元年12月号) 令和元年12月号にて終刊

4月号	田代 勇樹 越川 志津	農業研究センター試験研究レポート「かん水同時施肥技術を用いた露地きゅうり栽培の収量向上事例 らぼ・れたあ「自給飼料ですくすく育て！トウモロコシ子実サイレージの乳牛への給与」
5月号	岩館 康哉 吉津 祐貴	特集 岩手県農業研究センターで開発された新品種・新技術 農業研究センター試験研究レポート「ナス果実の小陥没症」 らぼ・れたあ「貴重な資源を守るために 雑穀種子を缶詰にして長期保存！」
6月号	小田島 芽里 土谷 のぞみ	農業研究センター試験研究レポート「水稻品種『金色の風』の栄養診断基準」 らぼ・れたあ「良質な精液は十分な観察から～日本短角種種雄牛の凍結精液生産」
7月号	大野 浩 土谷 のぞみ	農業研究センター試験研究レポート「ぶどう『シャインマスカット』の短梢栽培における適正着果量」 らぼ・れたあ「短角牛よ、旅立ちの時は来た～日本短角種の貸付開始」
8月号	佐々木 陽菜 石川 菜津美	農業研究センター試験研究レポート「ダイズ紫斑病に効果のある新規薬剤の使用法」 らぼ・れたあ「斑点米カメムシに関する最新の防除技術を学ぶ～令和元年度岩手県病害虫防除員等指導者研修会」
9月号	白木 正俊 岩手県病害虫防除所	農業研究センター試験研究レポート「りんごにおける補給型施肥基準の検証」 らぼ・れたあ「田んぼに、りんご園に、野菜畑に出没中！ 農作物病害虫発生予察のための巡回調査」
10月号	金森 靖 佐々木 忍	農業研究センター試験研究レポート「加工・業務用途向け寒玉系キャベツの栽培法」 らぼ・れたあ「ただいまオリジナル品種育成真っ最中！～日本一のりんどうの更なる出荷拡大をめざして」
11月号	浅川 知則 高村 聡美	農業研究センター試験研究レポート「ポット養成フェザー苗+かん水技術で早期成園化！」 らぼ・れたあ「ポスト「クンプウ」はどれだ！？～牧草チモシーの極早生品種比較試験」
12月号	篠崎 創 下川原 智	農業研究センター試験研究レポート「黒毛和種種雄牛『菊勝久』の作出」 らぼ・れたあ「飼料用水稲品種『たわわっこ』の現地検討会を開催しました」



(3) 岩手の畜産(平成31年5月号～令和2年3月号)

5月号	昆野 勝	性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立
7月号	安田 潤平	黒毛和種育成期における高蛋白飼料が発育成績等に及ぼす影響
9月号	吉田 力	ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模草地の効率的植生診断技術の確立
11月号	小梨 茂	近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立
1月号	高杉 亘	飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期用配合飼料における収益性
3月号	佐々木 康仁	BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力低減技術の確立

(4) その他の雑誌等

JATAFFジャーナル

前山 薫 将来を見据えた研究の必要性 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会, 8巻4号
--

現代農業

浅川 知則 大木化したユズ 低樹高化せん定でラクラク収穫 2019年12月号
長谷川 聡 アワ・キビ・ヒエ もち性で加工向き、作業性のよい品種が続々 2020年2月号

三陸総合研究

漆原 昌二、千葉 彩香 三陸地域の気象条件を活かすいちご2年栽培作型の現地普及に向けた研究 (公財)さんりく基金, 第44号(令和元年9月発行)
--

グリーンレポート

高橋 良学 「施設トマトにおける可給態窒素量に応じた窒素減肥技術」 JA全農 耕種総合対策部, 2019年9月号
--

公益財団法人園芸振興松島財団平成29年度助成による研究成果要約

岩館 康哉 路地キュウリにおけるホモプシス根腐病の総合防除対策の確立と普及 (公財)園芸振興松島財団 令和2年3月
---

植物防疫所「病害虫情報」

勝部 和則 各地の取組 - 岩手県における植物防疫業務 - 農林水産省横浜植物防疫所, 令和元年11月15日発行
--

肉牛ジャーナル

種山畜産研究室 菊勝久と安久勝晃、好成績の種雄牛が台頭する岩手県 2019年10月号:表紙,8-9,47-51
種山畜産研究室 全国種雄牛紹介ポスター「菊勝久」「安久勝晃」「花金幸」 平成2年1月号

養牛の友

種山畜産研究室  
新時代の種雄牛紹介  
2019年11月号:76-77

農業日誌

昆野 勝  
ホルスタイン種経産牛における性選別精液の人工授精牛の選定指標(乳蛋白質率およびMUN)  
農林統計協会 平成31年5月発行

デーリープロフェッショナルVol.14

昆野 勝  
乳蛋白質%・MUNとX精液受胎率  
デーリージャパン社 2019年6月臨時増刊号

農業新時代

佐藤 真  
飼料用トウモロコシにおける不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術  
日本曹達株式会社 創刊号

(5) ホームページ等Web掲載

シンジェンタジャパンメールマガジン

病理昆虫研究室  
ダイズ紫斑病のトレンドとその防除対策  
「シンジェンタジャパン・ホットページ」5月Web配信

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>企画管理部</b>			
<b>研究企画室</b>			
	ミニセミナーや枝豆収穫体験 7日・北上 県農研セ	岩手日日新聞	R元.9.5
	技術相談や収穫体験 農研センター 参観デー リポート、資材展示も	岩手日日新聞	R元.9.9
<b>農業経営研究室</b>			
	集落営農 法人化できず7割 米政策不透明 後継者不足 合意形成困難 岩手県農業研究センター調べ 議論の不足 顕著	日本農業新聞(地方面)	R元.6.5
<b>農業科学博物館</b>			
	度量衡の歴史に迫る 農業科学博物館企画展 道具展示、パネル解説も	岩手日日新聞	R元.5.8
	親子で協力 しめ飾り作り 農業科学博物館体験会	岩手日日新聞	R元.12.16
	郷愁誘う茅葺き民家 農業科学博物館 写真や模型展示	岩手日日新聞	R2.3.17
<b>生産基盤研究部</b>			
<b>水田利用研究室</b>			
	スマート農業 身近に 人手不足や生産効率 課題解決を狙って 金ケ崎・県が初の紹介催事	岩手日報	R元.11.28
<b>生産システム研究室</b>			
	栽培制御技術に熱視線 県農研センター 導入拡大へ研修会	岩手日報	R元.6.22
	農業の最先端技術学ぶ アグリキャンプ 課題解消、生産力向上へ	岩手日日新聞	R元.11.28
<b>園芸技術研究部</b>			
<b>果樹研究室</b>			
	シャインマスカット短梢栽培 日照短い地域 岩手県が目安 新梢8本 着房数0.8 主枝1メートル	日本農業新聞(地方面)	R元.7.18
	リンゴフェザー苗木に灌水処理 定植1年目に初収穫	農業共済新聞(全国面)	R元.12.4
<b>野菜研究室</b>			
	e農スマートアプリ 後付「環境制御」普及 小規模向け 安価で小さく 岩手県	日本農業新聞(地方面)	R元.6.26
<b>花き研究室</b>			
	挿し木増殖 青登場 鉢花リンドウ 出荷増期待 岩手県農業研究センター 新品種育種	日本農業新聞(全国版)	R元.10.10
	岩手県リンドウで初育成 八重咲きの鉢花用 9月開花新たな商材へ	日本農業新聞(全国版)	R2.3.18
<b>生産環境研究部</b>			
<b>土壌肥料研究室</b>			
	土づくり活動 優良事例共有 土壌医の会 全国交流大会	日本農業新聞(全国版)	R元.11.8
<b>病害虫防除部</b>			
<b>病害虫防除課</b>			
	リンゴ、ネギ 病気に注意～岩手県注意報	日本農業新聞	R元.7.26
	リンゴの褐斑病とネギのべと病注意～県病害虫防除所	岩手日報	R元.7.27
	育苗期細菌病多発の恐れ～県病害虫防除所注意報発表	岩手日日新聞	R2.2.13
<b>畜産研究所</b>			
<b>種山畜産研究室</b>			
	本県和牛生産の柱 前沢産・安久勝晃号 歴代最高成績で県有種雄牛に選抜	岩手日日新聞	H31.4.6
	本県種牛 新たな星 黒毛和牛「安久勝晃」	岩手日報	H31.4.28
	県種雄牛「安久勝晃」 上物率など歴代最高 岩手	日本農業新聞(全国版)	R元.6.14

## 7 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 園芸技術研究部	園芸技術部長 三田 重雄 他	ニュース 農業研究センター研究成果発表会	岩手朝日テレビ	R2.2.26	有

### (2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
(なし)					

## 8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	吉田 徳子 坂口 昌啓	タマネギの生産コストと導入モデル	東北地域における春まきタマネギ栽培マニュアル	R2.2
	吉田 徳子 坂口 昌啓	春まきタマネギの作業内容と収益性、導入モデルと導入条件	春まきタマネギ栽培マニュアル	R2.3
生産基盤研究部 水田利用研究室	田村 和彦	雑草防除(水稲)	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	木村陽子 齋藤 智子	雑草防除(畑作物)	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	小野寺健一	圃場準備	春まきタマネギ栽培マニュアル(岩手県版)	R2.3
生産システム研究室	永富 巨人	「金色の風」栽培マニュアルver.4.0	「金色の風」栽培マニュアルver.4.0	R2.3
	永富 巨人	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.5.0	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.5.0	R2.3
園芸技術研究部 果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	浅川 知則	わい化密植栽培におけるかん水を利用したポット養成フェザー苗の生育促進	革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)各地域に適したリンゴ早期成圃化技術の開発と経営体における実証 技術紹介資料	R2.2
野菜研究室 野菜研究室 農業経営研究室 水田利用研究室 園芸研究室・東北	横田啓 佐々木達史	雑草防除及び成長調整剤使用指針(野菜)	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	横田 啓 吉田 徳子 坂口 昌啓 熊谷 初美 小野寺健一 川戸 善徳	東北地域における春まきタマネギ栽培マニュアル	東北地域における春まきタマネギ栽培マニュアル	R2.2
	横田 啓 吉田 徳子 坂口 昌啓 及川 光史 熊谷 初美 川戸 善徳 及川 浩一 小野寺健一 後藤 純子 高橋 渉	春まきタマネギ栽培マニュアル	春まきタマネギ栽培マニュアル	R2.3
花き研究室	佐々木 忍	雑草防除及び成長調整剤使用指針(花き)	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	佐々木 忍 小澤 傑	花き栽培技術指針	令和2年度花き栽培技術指針	R2.3
南部園芸研究室	鈴木 朋代	インタープランティングを利用したトマトの高収益周年栽培マニュアル	インタープランティングを利用したトマトの高収益周年栽培マニュアル	R2.3
	鈴木 朋代	地域木質資源を活用した 園芸用薪ストーブ利用マニュアル	地域木質資源を活用した 園芸用薪ストーブ利用マニュアル	R2.3

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
生産環境研究部				
土壌肥料研究室	島 輝夫	植物の栄養と土、岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術	令和元年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	R元.6
	島 輝夫	土づくり・施肥改善研修会資料	平成30年度土づくり・施肥改善研修会資料	R元.11
病理昆虫研究室	熊谷 拓哉	病害虫管理(防除・農薬)～基礎知識と農薬安全使用～	令和元年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	R元.6
	佐々木 陽菜	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	中野 央子	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	岩館 康哉	防除指導資料(畑作、土壌病害)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	武田 純子	防除指導資料(野菜害虫)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	中村 太紀	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	加藤 真城	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
病害虫防除部				
病害虫防除課	遠藤 歩美	農薬安全使用指針	令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
畜産研究所				
家畜飼養・飼料研究室	高村 聡美	病害虫・雑草防除(牧草・飼料作物)	2020年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R2.3
	佐藤 真	飼料増産研修会コントラクター分科会の内容	いわてコントラクター等利用推進協議会会報	R2.3
	佐藤 真	寒冷地における飼料用トウモロコシ不耕起栽培の家畜ふん堆肥利用	飼料用トウモロコシの作付け拡大に向けた新しい栽培技術<2019年度版>	R2.2
県北農業研究所				
園芸研究室	熊谷初美 他	春まきタマネギの指導資料	春まきタマネギ栽培マニュアル(改訂版)	R2.3
作物研究室	下川原 智	「たわわっこ」栽培の手引き	「たわわっこ」栽培の手引き	R2.1
	小野 直毅 (共同執筆)	第3章:除草機を用いた防除体系 -トウキ-	薬用作物の機械除草マニュアル ～カンゾウ、トウキ、センキュウ～	R2.3
	高草木 雅人 (共同執筆)	第3章:難防除雑草の生態と防除対策 アレチウリ(東北北部)	農林水産省委託プロジェクト研究 「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」 診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル「大豆栽培における難防除雑草の防除」 農林水産省委託プロジェクト研究 「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」	R2.3

## 9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	73,681 冊
令和元年度収集図書数	431 冊
学会誌	27 冊
資料	42 冊
研究報告	76 冊
気象	8 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	0 冊
財団法人	4 冊
図鑑	0 冊
総記	2 冊
単行本	0 冊
定期	1 冊
統計	4 冊
図書	4 冊
洋雑誌	2 冊
CD-ROM	7 冊
雑誌	254 冊
図書室利用者数(延べ)	97 名
同貸し出し冊数	157 冊

数値はいずれもセンター本部のみ(2020/3/31現在)

## 10 ホームページ

	項目	件数	内訳
入力件数	研究レポート	75	平成31年度、令和2年度発行分(No.919～993)
	試験研究成果	35	令和元年度試験研究成果書
	らぼ・れたあ	49	No. 1～49(研究トピックス)
	行事予定	4	参観デー、研究成果発表会、いわてキュウリセミナー
	各種資料	49	平成30年度業務年報、先端プロ成果マニュアル、機関評価結果
	農業科学博物館	6	企画展第80～83回開催案内、農業ふれあい公園だより 第26、27号
	その他	2	平成31(令和元)年度組織体制
アクセス件数	トップページ	30,010	令和元年度分
	総ページビュー	3,882,442	令和元年度分





## 指導・啓発活動



## 指導・啓発活動

### 1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農産園芸課主催 園芸技術研究部 野菜研究室 企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 東北農業研究所 園芸研究室	R2.1.15	北上市 (農業研究センター)	令和元年度第1回「水田への土地利用型野菜導入推進に係る研修会」(経営体強化プロ) 農業研究センターにおける土地利用型野菜(「春まきタマネギ」)の研究取組状況について	110名
農業研究センター主催 生産基盤研究部 生産システム研究室 園芸技術研究部 野菜研究室	R元.9.26	北上市 (農業研究センター)	いわて環境制御技術セミナー(先端プロ社会実装・実証研究) 養液栽培技術について基礎知識の習得と実習による技術習得 講師:和田光生氏(大阪府立大学)	70名
生産基盤研究部 生産システム研究室 園芸技術研究部 野菜研究室	R2.2.26	北上市 (農業研究センター)	いわてキュウリセミナー2020(先端プロ社会実装・実証研究) キュウリ栽培における葉の繁茂(LAI)と施肥との関係について(かん水同時施肥技術マニュアルの紹介) 講師:川頭洋一氏(農研機構野菜花き研究部門) 佐藤達雄氏(茨城大学)	70名
[新技術・普及活動検討会](農業普及技術課農業革新支援担当主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	R2.1.27	滝沢市 (畜産研究所)	令和元年度新技術・普及活動検討会(畜産)	29名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 東北農業研究所 作物研究室	R2.1.31	北上市 (農業研究センター)	令和元年度新技術・普及活動検討会(作物)	29名
園芸技術研究部 花き研究室	R2.1.29	北上市 (農業研究センター)	令和元年度新技術・普及活動検討会(花き)	26名
園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	R2.1.23~24	北上市 (農業研究センター)	令和元年度新技術・普及活動検討会(果樹)	30名
園芸技術研究部 野菜研究室 南部園芸研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 東北農業研究所 園芸研究室	R2.1.27	北上市 (農業研究センター)	令和元年度新技術・普及活動検討会(野菜)	36名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
[普及指導員専門技術研修] (革新担当北上駐在主催)				
<b>生産基盤研究部</b>				
水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R元.8.21～22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物 )	4名
作物育種研究室	R元.11.14	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物 )	4名
生産システム研究室	R元.11.19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物 )	4名
	R元.6.11 R元.9.2 R元.9.26～27 R元.12.10	北上市 (農業研究センター) 奥州市	スペシャリスト養成研修(環境制御野菜関連)	4名
	R元.7.9	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
<b>園芸技術研究部</b>				
果樹研究室	R元.5.21～24 R元.6.18～21 R元.9.17～20 R元.10.15～18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
	R元.12.20 R2.3.4～5	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	1名
	R2.3.11	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう)	3名
	R元.12.19 R2.2.19	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	1名
野菜研究室	R元.5.13	北上市 (農業研究センター) 花巻市 (現地圃場)	スペシャリスト養成研修「土地利用型野菜(たまねぎ等)期」	6名
	R元.7.30	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術、第2回)	6名
	R元.5.22～23	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第 期)	4名
	R元.7.11	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第 期)	4名
	R元.9.10、13	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第 期)	4名
花き研究室	R元.6.4～5	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き 期)	1名
	R元.8.23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き 期)	1名
	R元.10.11	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き 期)	1名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
南部園芸研究室	R元.6.24 R元.9.11	陸前高田市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(いちご)	15名
	R元.9.12	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
生産環境研究部 土壌肥料研究室	R元.5.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
	R元.10.16	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹)	1名
病理昆虫研究室	R元.5.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物)	4名
	R元.8.20、23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
	R元.9.19	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹 土壌・病害)	1名
病害虫防除部 病害虫防除課	R元.5.10	北上市 (農業研究センター)	普及職員新任者研修 及び普及活動基本研修	11名
	R元.5.23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	4名
	R元.7.26	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(小麦)	3名
	R元.8.21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き)	1名
	R元.9.19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基礎研修(果樹)、 スペシャリスト養成研修(果樹)	2名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R元.7.22～26	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山研 究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産 期)	2名
	R元.10.1～3	滝沢市、住田町 (畜産研究所、種山研 究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産 期)	2名
東北農業研究所 園芸研究室	R元.8.22	軽米町 (東北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	3名

【岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会】(農業普及技術課農業革新支援担当主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
園芸技術研究部 野菜研究室	R元.7.18	花巻市石鳥谷町 (JAIいわて花巻)	技術対策部会 春まきタマネギ現地検討会	35名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
[病虫害防除に関する研修] (岩手県病虫害防除所主催)				
<b>病虫害防除部</b>				
病虫害防除課	R元.12.10	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【水稲・畑作部会】 (対象:病虫害防除員、関係機関・団体)	64名
病虫害防除課	R元.12.10	軽米町 (県北農業研究所)	病虫害防除実績検討会【水稲・畑作部会】 (対象:同上)	15名
病虫害防除課	R元.12.12	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	37名
病虫害防除課	R元.12.18	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【果樹部会】 (対象:同上)	56名
病虫害防除課	R2.1.24	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	30名
病虫害防除課	R元.5.31	北上市 (農業研究センター)	第1回病虫害防除員等指導者研修会 (対象:同上)	65名
病虫害防除課	R2.2.6	北上市 (農業研究センター)	第2回病虫害防除員等指導者研修会 (対象:同上)	82名
病虫害防除課	R元.6.14	盛岡市	農薬適正販売・使用研修会 (対象:農薬販売業者、産直関係者、関係機関・団体等)	230名
病虫害防除課	R元.6.13 R元.7.10	北上市 (農業研究センター)	りんご病虫害防除研修会 (対象:関係機関・団体、共同防除組織等)	69名 62名

## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>企画管理部</b>				
<b>農業経営研究室</b>				
及川 浩一	令和元年度いわて型野菜トップモデル産地創造事業に係る部門検討会	R元.5.13	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	令和元年度GAP普及・拡大に係る担当者会議(第1回)	R元.5.17	農業普及技術課	農研センター
及川 浩一	令和元年度岩手GAP推進チーム会議(第1回)	R元.5.24	農業普及技術課	矢巾町
及川 浩一	令和元年度第1回地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	R元.6.12	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第5回)	R元.7.9	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	令和元年度土地改良事業営農推進対策委員会・幹事会合同現地検討会	R元.8.29	農村計画課	二戸市
及川 浩一	令和元年度第2回地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	R元.9.4	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第6回)	R元.9.18	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	令和元年度いわて型野菜トップモデル産地創造事業に係る部門検討会	R元.10.4	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP)審査委員会(第6回)	R元.12.17	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委員会	R元.12.18	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)表彰式	R2.2.4	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	令和元年度土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	R2.2.12	農村計画課	盛岡市
及川 浩一	令和元年度岩手GAP推進チーム会議(第2回)	R2.2.13	農業普及技術課	矢巾町
及川 浩一	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会	R2.3.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門)審査委員会	R2.3.27	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	令和元年度生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	R元.5.27	農業振興課	盛岡市
前山 薫	令和元年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会農業経営研究会(夏期)	R元.7.26	東北農業誌研究推進会議	盛岡市
前山 薫	令和元年度岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	R元.10.30	農村建設課	盛岡市
前山 薫	大規模施設園芸経営体カイゼン研修会	R2.2.20	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
前山 薫	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会幹事会	R2.3.18	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
吉田 徳子	令和元年度生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	R元.5.27	農業振興課	盛岡市
吉田 徳子	令和元年度中部農業改良普及センター職場研修	R元.10.9	中部農業改良普及センター	農研センター
吉田 徳子	県重点プロジェクト(集落営農)中間検討会	R元.11.21	農業普及技術課	農研センター
吉田 徳子	ほ場整備地区における営農ビジョンの現実に向けた情報交換会	R元.12.17	農村計画課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
吉田 徳子	いわてスマート農業シンポジウム	R2.1.28	北上市	北上市
吉田 徳子	県重点プロジェクト(集落営農)中間検討会	R2.3.2	農業普及技術課	農研センター
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第1回WG会議	H31.4.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第3回WG会議	R元.6.24	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第4回WG会議	R元.7.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第6回WG会議	R元.9.26	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	施設園芸経営体視察研修	R元.9.21	陸前高田市	宮城県石巻市
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第7回WG会議	R元.10.28	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第10回WG会議	R2.1.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
坂口 昌啓	大規模施設園芸経営体カイゼン研修会	R2.2.20	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
<b>生産基盤研究部</b>				
<b>水田利用研究室</b>				
齋藤 智子	平成30年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	R2.1.16 R2.1.21	岩手県	北上市 (農業研究センター) 滝沢市
齋藤 智子	農薬適正販売研修会	R2.1.24	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
<b>生産システム研究室</b>				
藤尾 拓也	養液栽培研究会・福井大会	R元.11.7～8	養液栽培研究会	福井県
藤尾 拓也	環境制御技術研修会(広島県)	R2.2.13～15		広島県
山口 貴之	農業公社ICT農業等研修会	R元.9.27	岩手県農業公社	北上市 (農研センター)
山口 貴之	Smart Agri Camp 講師対応	R元.12.16		金ヶ崎町 (農業大学校)
山口 貴之	スマート農業シンポジウム	R2.1.28	県南広域振興局	北上市さくらホール
永富 巨人	雫石地区農作業改善協議会研修会(銀河のしずく栽培方法)	R元.12.16	雫石地区農作業改善協議会	北上市 (農業研究センター)
吉田 宏	土地連技術実践向上研修	R元.11.29	土地連	盛岡市
<b>作物育種研究室</b>				
小館 琢磨	飼料用米現地指導	R元.7.30	一関市南部農業技術開発センター	一関市大東
藤岡 智明	農業大学校講師(研究現場の育種)	R元.10.1	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
小館 琢磨	飼料用米現地指導	R元.10.10	一関市南部農業技術開発センター	一関市大東
仲條 眞介	北いわて酒米シンポジウム	R元.11.15	県北広域振興局	二戸市(二戸パークホテル)



担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
仲條 眞介	国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会	R元.12.6	東北農政局	盛岡市 (東北農政局岩手 県拠点)
小野寺 健一 八重樫 耕一 仲條 眞介	岩手県認定農業者組織連絡協議会稲作部会との 意見交換会	R元.12.17	岩手県認定農業者組織連絡 協議会	盛岡市 (エスポワールいわ て)
<b>園芸技術研究部</b>				
<b>果樹研究室</b>				
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則	純情りんごコンテスト審査(1部)	R元.10.17	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則	純情りんごコンテスト審査(2部)	R元.11.20~21	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R元.10.7	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
佐々木 真人	果実酒等の原料作物の生産拡大セミナー 「『つくる』を応援、東北の酒」	R元.7.30	東北農政局	宮城県仙台市 (仙台合庁)
佐々木 真人	いわてワイン生産アカデミー	R元.7.5 R元.7.26	農林水産部農産園芸課	盛岡市 (サンセール盛岡)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則	いわてワイン生産アカデミー栽培技術フォローア ップ講座	H31.4.17 R元.5.21 R元.6.18 R元.7.9 R元.8.6 R元.9.3 R元.10.15 R2.2.10	農林水産部農産園芸課	北上市 (農研センター)
大野 浩	雲南省農業シンポジウム	R元.11.15	中国雲南省、岩手県	中華人民共和国雲 南省昆明市 (昆明中維翠湖ホテ ル)
大野 浩	いわてワイン生産拡大セミナー	R2.3.9	農林水産部農産園芸課	盛岡市 (サンセール盛岡)
<b>野菜研究室</b>				
横田 啓	令和元年度 野菜花き課題別研究会「ネギ属野菜 生産を取り巻く現状と今後の課題」 アザミウマがタマネギを腐らせる？～岩手県の春ま きタマネギ栽培におけるネギアザミウマの被害実態 と品種選定～	R元.10.28~29	農研機構 野菜花き研究部門	三重県
横田 啓	令和元年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	R元.11.14	岩手県植物防疫協会	花巻市
横田 啓	令和元年度第1回「水田への土地利用型野菜導 入推進に係る研修会」 農業研究センターにおける土地利用型野菜(「春 まきタマネギ」)の研究取組状況について	R2.1.15	岩手県農産園芸課	北上市
横田 啓	タマネギ関係意見交換会「タマネギ腐敗性病害の 病原細菌種および薬剤耐性に対応した防除技術 の構築」	R2.1.16	東北農業研究センター	東京都
横田 啓	春まきたまねぎ育苗巡回指導	R2.3.11~12	農業普及技術課農業革新支 援担当	紫波町 花巻市 金ケ崎町 陸前高田市
田代 勇樹	岩手県技術対策部会(キュウリ部会) 「きゅうり流通実証試験結果概要について」	R元.10.1	岩手県農業普及技術課農業 革新支援担当	矢巾町

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
田代 勇樹	JA園芸産地改革ネットワーク会議(きゅうり部会) 「フケ果試験について」	R元.10.23	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹	令和元年度花巻地域野菜生産部会きゅうり部会研 修会「フケ果試験について」	R元.11.1	岩手花巻農協	北上市
田代 勇樹	JA全農いわて販売対策会議 「フケ果試験について」	R元.11.14	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹	岩手中央農協きゅうり専門部会及び役員会合同研 修会「フケ果試験について」	R元.12.25	岩手中央農協	紫波町
田代 勇樹	岩手中央農協都南支所研修会 「フケ果試験について」	R2.1.10	岩手中央農協	盛岡市
<b>花き研究室</b>				
三田 重雄 内藤 善美 小田島 雅	りんどう育苗状況調査	H31.4.19	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	二戸市、一戸町 九戸村
小田島 雅 佐々木 忍	りんどう県有望系統現地見学会	R元.7.26	二戸農業改良普及センター	一戸町
内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク合同りんどう検討会	R元.8.2	農業普及技術課農業革新支 援担当	北上市 (農研センター)
三田 重雄 内藤 善美	いわてフラワーコンテスト2019審査会	R元.9.6	全農岩手県本部、農産園芸 課	盛岡市 (プラザおでって)
内藤 善美 小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	岩手県園芸育種研究会りんどう部会	R元.10.17	農産園芸課	北上市 (農研センター)
小田島 雅 佐々木 忍 小澤 傑	令和元年度普及指導員調査研究中間検討会	R元.11.1	農業普及技術課農業革新支 援担当	北上市 (農研センター)
佐々木 忍	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R元.11.12	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
<b>南部園芸研究室</b>				
漆原 昌二	園芸技術向上研修会(きゅうり)	R元.12.11	大船渡地方農業振興協議会	陸前高田市
三田 重雄 鈴木 朋代	2020年農業問題研究会	R2.1.16	株式会社佐藤政行種苗	雫石町
<b>生産環境研究部</b>				
<b>土壌肥料研究室</b>				
島 輝夫	いわてアグリフロンティアスクール	R元.6.5	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
島 輝夫	令和元年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	R元.11.8	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
島 輝夫	令和元年度土づくり施肥改善研修会(専門)	R元.11.18	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
島 輝夫	令和元年度土壌診断処方箋作成研修会	R元.11.21	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
<b>病理昆虫研究室</b>				
岩館 康哉 佐々木 陽菜	ホップ栽培講習会	H31.4.9	大雄ホップ農業協同組合	秋田県横手市
熊谷 拓哉	令和元年度いわてアグリフロンティアスクール	R元.6.12	岩手大学農学部地域連携推 進室	岩手大学農学部
加藤 真城 羽田 厚	令和元年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修 会	R元.6.13	JA全農いわて	農研センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
加藤 真城 羽田 厚	令和元年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R元.7.10	JA全農いわて	農研センター
熊谷 拓哉	生き物調査隊	R元.7.13	(有)ピース	奥州市江刺現地
加藤 真城	令和元年度第2回果樹栽培講習会	R元.8.2	胆江地方農林業振興協議会	農研センター
岩館 康哉	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同きゅうり現地研修会	R元.10.1	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会	農研センター
加藤 真城	令和元年度岩手県農業農村指導士協会果樹部会研修会	R元.10.17	岩手県農業農村指導士協会	農研センター
加藤 真城	2019いわて純情りんごコンテスト 第1部	R元.10.17	JA全農いわて	農研センター
加藤 真城	2019いわて純情りんごコンテスト 第2部	R元.11.20	JA全農いわて	農研センター
加藤 真城	令和元年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	R元.11.14	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
岩館 康哉	令和元年度一関地方農林業振興協議会「営農大学講座」	R元.12.10	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎
中野 央子 佐々木 陽菜	令和元年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R元.12.10	病害虫防除所	農研センター
岩館 康哉 武田 純子	令和元年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R元.12.12	病害虫防除所	農研センター
加藤 真城 羽田 厚	令和元年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R元.12.18	病害虫防除所 JA全農いわて	農研センター
中野 央子	令和元年度病害虫防除実績検討会(作物部会(県北))	R元.12.18	病害虫防除所	県北研
岩館 康哉	令和元年度なす全体指導会	R元.12.20	JAいわて平泉	一関市花泉
羽田 厚	令和元年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R元.12.24	盛岡地方農業農村振興協議会	農研センター
加藤 真城	令和2年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R2.1.15	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎
羽田 厚 武田純子 佐々木陽菜	令和元年度農薬管理使用アドバイザー養成研修	R2.1.16 R2.1.21	農業普及技術課	農研センター アピオ(滝沢市)
岩館 康哉 佐々木 陽菜	令和2年度岩手県ホップ栽培暦検討会	R2.2.21~22	岩手県農業共済組合 岩手県ホップ連合会	盛岡市
加藤 真城	令和2年産江刺りんご農薬選定会議	R2.1.23	JA江刺	奥州市江刺
中野 央子	令和2年度農薬適正販売研修会	R2.1.24	農薬卸商業協同組合	盛岡市
加藤 真城	令和元年度ダニ剤さらば 天敵を活用したハダニ類防除に関する視察研修	R2.2.25	ダニ剤さらば(滝沢市生産者研究グループ)	農研センター
岩館 康哉	令和元年度ういずOne研究会実績検討会	R2.2.19	JA全農いわて	矢巾町
加藤 真城	令和元年度新技術普及活動検討会(果樹部門)	R2.2.27	一関農業改良普及センター	一関地区合同庁舎 一関市大東
<b>病害虫防除部</b>				
<b>病害虫防除課</b>				
病害虫防除所 長	農薬管理使用アドバイザー認定委員会	R元.7.22 R2.2.4	農業普及技術課	盛岡市
病害虫防除所 職員	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R元.10.1 ~12.5	農業普及技術課	県内5か所

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病害虫防除所 職員	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R2.1.16 R2.1.21	農業普及技術課	県内2か所
吉田 雅紀 石川 菜津美	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R元.11.14	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
名久井 一樹	いわてワイン生産アカデミーフォローアップ講座 " いわてワイン生産アカデミー	R元.5.21 R元.6.18 R元.7.26	農産園芸課	北上市(農研セ) " 盛岡市
名久井 一樹 遠藤 歩美	りんご病害虫防除研修会	R元.6.13 R元.7.10	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
勝部 和則	農業大学校新規就農者研修	R元.7.18	農業大学校	金ヶ崎町
佐藤 千穂子	産地直売所における農薬適正使用研修会	R元.11.15	盛岡地方農業農村振興協議 会	盛岡市
名久井 一樹 遠藤 歩美	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R元.12.24	盛岡地方農業農村振興協議 会	盛岡市
名久井 一樹 遠藤 歩美	一関地方りんご病害虫防除暦編成会議	R2.1.15	一関地方農林業振興協議会	一関市
猫塚 修一	農薬適正販売研修会	R2.1.24	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市
吉田 雅紀	令和元年度産麦の実績検討及び実需者との意見交 換会	R2.2.5	農産園芸課	北上市 (農研センター)
佐藤 千穂子	園芸産地改革ネットワーク・ねぎ部会実績検討会	R2.2.7	全農岩手県本部	矢巾町
猫塚 修一	全国農薬協同組合東北地区会議	R2.2.13	全農薬協東北支部	盛岡市
佐藤 千穂子	第1回病害診断スキルアップ研修会	R2.2.18	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)
<b>畜産研究所</b>				
<b>家畜育種研究室</b>				
安田 潤平	公開シンポジウム「和牛の地方特定品種の重要 性」	R元.7.18	日本学会議 食料科学委 員会	高知県
安田 潤平	岩手県立農業大学校肉畜経営科講義	R元.8.23	岩手県立農業大学校	滝沢市 (畜産研究所)
安田 潤平	日本短角種研究会「日本短角種の改良と肥育技 術」	R元.9.12	日本短角種研究会	滝沢市 (畜産研究所)
高杉 亘	岩手県農協肉牛経営者連絡協議会研修会	R元.8.17	岩手県農協肉牛経営者連絡 協議会	花巻市
米澤 智恵美	第1回いわて肉用牛指導者養成研修会	R元.9.25	いわて肉用牛躍進運動推進 協議会	滝沢市 (畜産研究所)
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	R元.9.11 R元.9.17~25 R元.9.30 ~10.1	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
安田 潤平	第2回いわて肉用牛指導者養成研修会「早期肥育 試験から見る子牛の飼養管理」	R元.11.1	いわて肉用牛躍進運動推進 協議会	滝沢市 (畜産研究所)
米澤 智恵美	家畜人工授精講習会	R元.11.5	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高杉 亘	家畜人工授精講習会	R元.11.7	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高杉 亘	いわて牛生産者交流会	R元.11.21		滝沢市
細川 泰子	市場ワンポイント講習会	R元.12.11~12	全農いわて	奥州市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
高杉 亘	市場ワンポイント講習会	R元.12.18~20	全農いわて	雫石町
安田 潤平	家畜商講習会	R元.12.20	流通課	盛岡市
安田 潤平	釜津田肉用牛生産組合40周年記念	R2.2.17	釜津田肉用牛生産組合	岩泉町
高杉 亘	遠野地方和牛改良組合研修会	R元.12.12	遠野和牛改良組合	遠野市
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>				
昆野 勝	家畜人工授精講習会	R元.11.18	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	農業大学校講義(家畜飼養管理 (酪農):カウコンフォートのための飼養管理技術)	R元.10.8	農業大学校	畜産研究所
昆野 勝	農業大学校講義(家畜飼養管理 (酪農):牛群検定成績見方)	R元.8.23	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	家畜人工授精講習会	R元.11.6	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 優希	家畜商協講習会	R元.12.19	流通課	盛岡市
佐藤 真	飼料増産研修会	R2.1.31	いわてコントラクター等利用推進協議会	滝沢市
<b>外山畜産研究室</b>				
尾張 利行	農業大学校校外学習	R元.10.8	農業大学校	畜産研究所
尾張 利行	令和元年度第2回いわて肉用牛指導者養成研修会	R元.11.1	畜産課	畜産研究所
大宮 元	家畜人工授精講習会	R元.11.15	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
<b>種山畜産研究室</b>				
羽田 雅紀	農業大学校講義	R元.5.13	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
篠崎 創	和牛研修会	R元.7.19	JAIいわて平泉 " 和牛生産部会室根支部	大船渡市
篠崎 創	岩手江刺農協和牛部会 愛宕・田原支部全体研修会	R元.6.28	岩手江刺農協和牛部会	奥州市水沢
小澤 さち	和牛改良組合胆沢支部二の台分会勉強会	R元.8.22	岩手ふるさと農業協同組合	奥州市水沢
羽田 雅紀 篠崎 創	子牛市場ワンポイント講習会	R元.9.11~12	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
羽田 雅紀 篠崎 創 小澤 さち	子牛市場ワンポイント講習会	R元.9.18~20	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
熊谷 光洋	農業大学校講義	R元.9.10	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
羽田 雅紀	肉牛快飼塾	R元.10.25	盛岡広域振興局農政部	滝沢市
篠崎 創	第2回いわて肉用牛指導者養成研修会	R元.11.1	いわて肉用牛躍進運動推進協議会	滝沢市
平間 ちが	家畜人工授精講習会	R元.11.8	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
小澤 さち	家畜人工授精講習会	R元.11.12	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
篠崎 創	家畜人工授精講習会	R元.11.14	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
羽田 雅紀	令和元年度いわて牛生産者交流会	R元.11.21	いわて肉用牛躍進運動推進協議会、いわて牛普及推進協議会	滝沢市
羽田 雅紀	令和元年度花北地域畜産技術向上研修会	R元.12.24	花巻市農業振興対策本部 北上地方農林業振興協議会	北上市
羽田 雅紀 篠崎 創 小澤 さち	家畜人工授精講習会	R元.11.25	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	R元.11.26	畜産課	住田町 (種山畜産研究室)
小澤 さち	令和元年度和牛女性研修会	R2.1.30～31	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
羽田 雅紀	JA花巻研修会	R2.1.31	いわて花巻農業協同組合	花巻市
小澤 さち	いわてくじ和牛改良組合研修会	R2.2.27	いわてくじ和牛改良組合	久慈市
<b>県北農業研究所</b>				
<b>作物研究室</b>				
長谷川 聡	第1回 国産雑穀原料 流通情報交流会	R元.6.25	一般社団法人 日本雑穀協会	東京都中央区日本橋兜町 製粉会館
長谷川 聡	雑穀研究会第33回シンポジウム in 花巻	R元.8.26	雑穀研究会	花巻市
高草木 雅人	二戸地域雑穀現地検討会	R元.9.3	二戸農業改良普及センター	軽米町 (県北農業研究所)
長谷川 聡	十勝総合振興局との意見交換(岩手県における雑穀研究の取り組み紹介)	R元.9.10	十勝総合振興局	帯広市 (十勝総合振興局)
小野 直毅	雲南省農業シンポジウム	R元.11.15	中国雲南省、岩手県	中華人民共和国雲南省昆明市 (昆明中維翠湖ホテル)
小野 直毅	多収阻害プロ成果発表会	R元.12.4	農研機構 中央農業研究センター	東京都北区 (滝野川会館)
高草木 雅人	第3回県北農業ステップアップセミナー(雑穀栽培研修会)	R元.12.18	農業普及技術課革新支援担当	軽米町 (県北農業研究所)
高草木 雅人	令和元年度(第12回) 二戸地域雑穀推進大会	R2.1.21	二戸地域雑穀ブランド推進委員会、二戸地方農林水産振興協議会	二戸市 (二戸パークホテル)
<b>園芸研究室</b>				
熊谷 初美	第1回県北農業ステップアップセミナー(春まきたまねぎ栽培の生産技術について)	R元.7.4	農業普及技術課革新支援担当	軽米町(県北農業研究所)

### 3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,360 人	1,500 人	2,860 人	平成31年4月～令和2年3月
南部園芸研究室	152 人	- 人	152 人	
畜産研究所	250 人	400 人	650 人	
種山畜産研究室	428 人	- 人	428 人	
県北農業研究所	114 人	- 人	114 人	
計	2,304 人	1,900 人	4,204 人	

### 4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場 所	参 集 人 員
春季一般公開	H31.4.16～21	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	111 名
参観デー(本部)	R元.9.7	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	1,500 名
参観デー(畜産研究所)	R元.8.22～24	岩手産業文化センター(アピオ)	400 名

### 5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R2.2.26	北上市(本部)	令和元年度岩手県農業研究センター研究成果発表会	65名	研究企画
H31.4.17	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.5.21	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.6.18	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.7.8	盛岡市	いわてワインアカデミー	20名	果樹
R元.7.9	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.7.26	盛岡市	いわてワインアカデミー	20名	果樹
R元.8.6	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.9.3	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R元.10.15	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R2.2.10	北上市(本部)	いわてワインアカデミー・フォローアップ講座	15名	果樹
R2.3.9	盛岡市	醸造用ぶどう生産拡大セミナー	40名	果樹
R元.9.26	北上市(本部)	環境制御技術セミナー	70名	生産システム
R2.2.26	北上市(本部)	いわてキュウリセミナー2020	70名	生産システム・野菜
R元.9.20	軽米町	たわわっこ中間現地検討会	23名	作物(県北)
R元.10.20	軽米町	イノベーション事業に係る立毛検討会	2名	作物(県北)

## 6 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項目	主な内容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	4,877名	
		農業研究センター春季一般公開	H31.4.16～21 (111名)	
		農業研究センター参観デー	R元.9.7 (790名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年4回展示紹介		-
		第80回「長さ、容積、重さをはかる」	H31.4.7～R元.6.27	
		第81回「鍬、鋤、犁」	R元.7.9～9.28	
		第82回「なつかしい昭和初期の食と道具」	R元.10.6～R2.1.31	
	イベント	第83回「消えゆく茅葺き民家『直家』『曲り家』」	R2.3.3～7.29	
		「つばきの実でブローチを作ろう！」	R元.8.4	14名(7組)
	その他	「しめ飾り作りを作ろう！」	R元.12.15	12名(6組)
		学校教育支援活動(社会科実習、校外学習等の受入)	-	744名(17校)
	農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	7,424名
(289件)				



## 7 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
中嶋 望	岩手県農業共済組合	水稻の栽培管理及び調査方法を修得する	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 病理昆虫研究室 研究企画室	R元.7.11～13 R元.9.26～28 R元.11.7～9
高橋 裕之	岩手県農業共済組合	水稻の栽培管理及び調査方法を修得する	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 病理昆虫研究室 研究企画室	R元.7.11～13 R元.9.26～28 R元.11.7～9
田屋 美春	岩手県農業共済組合	果樹の栽培管理及び調査方法を修得する	果樹研究室 病理昆虫研究室 研究企画室	R元.6.6～8 R元.9.20～22 R元.10.11～13
藤原 望	岩手県農業共済組合	果樹の栽培管理及び調査方法を修得する	果樹研究室 病理昆虫研究室 研究企画室	R元.6.6～8 R元.9.20～22 R元.10.11～13
石川 裕子	(公財)岩手生物工学研究センター	雑穀に関する研究手法や調査方法、栽培法について修得する	作物(県北研)	R元.7.8～10.31

### (4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校 2年生	職場体験学習	2	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 研究企画室	R元.9.27
筑波大学付属駒場中学校3年	総合的な学習	5	種山畜産研究室	R元.5.22
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(苗定植)	29	県北農業研究所	R元.6.6
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(収穫)	28	県北農業研究所	R元.10.28

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
JA仙台今泉出荷組合	野菜生産技術に関する研究取組状況の視察	15	野菜研究室 研究企画室	R元.6.18
JA庄内みどり管内 中平田地区農業振興協議会	水稲品種育成に関する取組状況の視察	16	作物育種研究室 研究企画室	R元.7.3
出納局会計課、花巻審査指導監	野菜の環境制御技術に関する研究施設、取組状況の視察	4	生産システム研究室 総務課 研究企画室	R元.7.25
佐比内ぶどう生産組合(紫波町)	ぶどうに関する試験研究取組状況の視察	25	果樹研究室	R元.7.29
JAさが なす部会	野菜の環境制御技術に関する研究取組状況の視察	14	生産システム研究室	R元.8.7
JA花巻野菜生産部会 矢沢連絡会	野菜の環境制御技術に関する研究取組状況の視察	15	生産システム研究室	R元.8.8
JAつがる弘前	花きの栽培技術等に関する研究取組状況の視察	13	花き研究室	R元.8.21
宮城県栗原市果樹連絡協議会	りんごの栽培技術開発等に関する視察	20	果樹研究室	R元.8.22
日本気象学会 東北支部	農業研究センターの研究概要(作況試験、耐冷性検定試験等)	12	作物育種研究室 研究企画室	R元.8.28
JAいしのまき トマト生産組合	トマト栽培技術等に関する研究取組状況の視察	10	野菜研究室	R元.8.29
青森県三八地域県民局管内 4Hクラブ	スマート園芸技術に関する研究取組状況の視察	20	生産システム研究室	R元.8.29
花巻農業高等学校 2年生	職場体験研修	2	花き研究室 研究企画室	R元.9.25～27
公益社団法人岩手県農業公社	スマート農業技術に関する研究取組状況の視察	60	生産システム研究室	R元.9.27
日本生活協同組合連合会 全国米部会	「銀河のしずく」の開発経緯と品種特性等に関する研修	8	作物育種研究室 研究企画室	R元.10.10
埼玉県川越市農業委員会	スマート農業技術に関する研究取組状況の視察	36	生産システム研究室	R元.11.7
一関工業高等専門学校 3年生	スマート農業技術に関する研修	40	生産システム研究室	R元.11.14
花巻農業高等学校 2年生	リンドウ受精胚珠培養及び栽培に関する研修	7	花き研究室	R元.11.15

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
雫石地区農作業改善協議会	「銀河のしずく」、大豆の栽培方法に関する研修	15	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 研究企画室	R元.12.16
北上翔南高等学校 2年生	職場体験研修	3	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 研究企画室	R元.12.18 ~ 20
全国農業協同組合連合会	果樹の省力生産技術に関する視察及び意見交換	4	果樹研究室	R2.1.15
JA会津よつば 果樹部会	はるかのかの栽培管理に関する研修	20	果樹研究室	R2.1.28
福島県農業大学校	職場見学	1	家畜育種研究室	R元.7.17
盛岡農業高等学校	職場見学	41	家畜育種研究室	R元.11.26
花巻農業高等学校	南部かしわの研修	20	家畜育種研究室	R元.12.20
農業大学校酪農経営科1年	畜産研究所における研究概要	6	飼養飼料研究室	R元.10.8
盛岡農業高校動物科学科2年	畜産研究所における研究概要	41	飼養飼料研究室	R元.11.26
日本大学生物資源科学部動物資源科学科3年	畜産研究所における研究概要	11	外山畜産研究室 家畜育種研究室	R元.10.2
岩手大学農学部動物科学科2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	31	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R元.10.8
岩手大学農学部共同獣医学科5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	29	種山畜産研究室	R元.6.12
岩手大学農学部動物科学課程4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	7	種山畜産研究室	R元.7.16
岩手県立農業大学校畜産学科1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	19	種山畜産研究室	R元.8.22
軽米高校 2年生	職場体験研修	1	県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	R元.7.30 ~ 8.1
県立農業大学校野菜経営科1・2年生	県北農業研究所における野菜に関する試験実施内容について	21	野菜花き研究室	R元.7.18

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新採用職員38名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	生産システム研究室 作物育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 他	R元.6.7
岩手県職員採用内定者	岩手大学農学部植物生命科学科	採用内定者職場実習	病理昆虫研究室	R元.11.20
齋藤 菜々子	新潟大学農学部生物資源科学プログラム植物生産学分野	・農業研究センターの業務概要 ・水稲生育・収量調査法 ・スマート農業関連作業・調査 ・水稲育種の概要 他	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R元.9.13～20
館脇 瑞奈	岩手大学農学部食料生産環境学科	・農業研究センターの業務概要 ・水稲生育・収量調査法 ・スマート農業関連作業・調査 ・水稲育種の概要 他	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R元.9.17～20
齋藤 光希 白鳥 夏希	飯豊中学校2年	・農業研究センターの概要、農研センターで働くために必要なこと ・水稲生育調査法、水稲育種の概要 他	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R元.9.27
照井 悠介 平賀 愛矢 吉田 明菜	北上翔南高校2年	・農業研究センターの業務概要 ・水稲調査業務の実際	水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R元.12.18～20
細野 ちはる 工藤 大和	八幡平農業改良普及センター岩手駐在 奥州農業改良普及センター	家畜の飼養管理・飼料作物について	飼養飼料研究室 家畜育種研究室 外山畜産研究室	R元.7.22～26 R元.10.1～3
根岸 菜都子	北里大学大学院	畜産研究所の業務内容、肉用牛の繁殖・肥育技術、乳牛の飼養管理・搾乳衛生等	飼養飼料研究室 家畜育種研究室	R元.9.2～6
山田 真凜	酪農学園大学獣医学群 獣医保険看護学類2年	・畜産試験研究機関の業務について	飼養飼料研究室 家畜育種研究室	R2.3.5～18
伊藤 優希	岩手大学農学部動物生命科学科3年	・畜産試験研究機関の業務について	飼養飼料研究室 家畜育種研究室	R元.9.9～13
川戸 菜摘	岩手大学農学部植物生命科学科 3年生	・農業研究センターの業務概要 ・水稲、雑穀の栽培概要と各種調査実習 ・キャベツ害虫調査、たまねぎ収穫調査 等	県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	R元.9.17～20

## 8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	政策地域部科学ILC推進室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病害虫防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産基盤研究部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 果樹研究室長 水田利用研究室長 生産システム研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	農業普及技術課
岩手県農業管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 生産環境研究部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	生産環境研究部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長) 次長兼園芸研究室長(県 北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	生産基盤研究部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	生産基盤研究部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 園芸技術研究部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	生産基盤研究部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員	主任技能員 (生産基盤研究部、園芸 技術研究部、生産環境 研究部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	生産基盤研究部長 水田利用研究室長	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 水田利用研究室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長	農産園芸課
岩手県版GAP審査委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リー ディング経営体育成型)経営発展計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	水田利用研究室長	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会 議	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼園芸研究室長	久慈市
二戸地方農林水産振興協議会	幹事	作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	弘前大学農学部
北日本病害虫研究会	評議員	主査専門研究員(野菜研)	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 生産基盤研究部長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	園芸技術研究部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そ ば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委 員	主任主査 (病害虫防除所) 生産システム研究室長 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病害虫防除所) 上席専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病害虫防除所) 主査専門研究員 (水田利用研究室) 主査 (病害虫防除所) 野菜研究室長 花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田利用研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県病害虫防除連絡協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
胆江広域病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合胆江地域センター
岩手中部病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長) 病害虫防除所主査 (病害虫防除課主査)	岩手県農業共済組合中部地域センター
岩手北部病害虫防除協議会	役員	病害虫防除次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合北部地域センター
遠野地方病害虫防除推進協議会	幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター
気仙地方水稻病害虫防除協議会	理事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター (気仙支所)
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	水田利用研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
いわてコントラクター等利用推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	いわてコントラクター等利用推進協議会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
土壌医の会全国協議会	幹事	県北農業研究所長	(一財)日本土壌協会
かるまいシリアルブランド化女性推進協議会	委員	作物研究室長(県北研)	かるまいシリアルブランド化女性推進協議会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所



# 職員研修



## 職員研修

### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 阿部 弘	生産環境研究部 土壌肥料研究室	リンドウにおける塊茎の初期形成 および発達過程の解明	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 先端農業技術科学 専攻(筑波大学)	H30.4.1～
主査専門研究員 小舘 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	タンパク質含有率を制御した低アミロース米の加工特性及び理化学特性に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	H30.10.1～
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼料用トウモロコシの不耕起栽培に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	R元.10.1～

### 2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
園芸技術研究部長 三田 重雄	園芸技術研究部	第5回雲南省・岩手県農業シンポジウム	中華人民共和国雲 南省昆明市	R元.11.12～18
生産環境研究部長 鈴木 良則	生産環境研究部	第5回雲南省・岩手県農業シンポジウム	中華人民共和国雲 南省昆明市	R元.11.12～18
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第5回雲南省・岩手県農業シンポジウム	中華人民共和国雲 南省昆明市	R元.11.12～18

### 3 国内研修への派遣

#### (1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉品質の理化学的特性、官能特性、消費者嗜好の分析・データ解析、およびこれらを活用した差別化、ブランド化に関する研究	つくば市(農研機構 畜産研究部門)	R元.9.2～ 11.22

#### (2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
企画管理部長 町屋 宜亨	企画管理部	研究リーダーとして必要な知見の習得及び能力の向上	東京都(中央合同庁 舎)	R元.6.5～6

#### (3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

#### (4) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	農林水産関係若手研究員研修	つくば市(筑波産学 連携支援センター)	R元.7.17～19
技能員 日山 将太	県北農業研究所 総務課	農作業安全推進研修(農機安全整備・中級)	農林水産研修所つ くば館水戸ほ場	R2.2.12～14

## (5) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
研究企画室長 高城 保志 主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	三陸国際ガストロノミー会議2019	宮古市	R元.6.12
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	スマート自治体実現のAI・RPA等勉強会	盛岡市	R元.7.12
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	Webアクセシビリティ研修会	盛岡市	R元.7.17
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	令和元年度ITマスタ研修	盛岡市	R元.7.26
研究企画室長 高城 保志 上席専門研究員 鈴木 元 主査専門研究員 長澤 睦 主査専門研究員 阿部 敦 主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	広報研修会	盛岡市	R元.11.21
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	UnitBase操作研修会	盛岡市	R元.11.22
農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	令和元年度日本農業経営学会研究大会（仙台大会）	宮城県仙台市	R元.9.6～8
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	令和元年度園芸作物生産転換促進事業成果発表会	東京都	R2.2.28
上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	第55回東北農業経済学会宮城大会	宮城県仙台市	R元.9.4～6
上席専門研究員 前山 薫 技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	アグリビジネス創出フェア、アグロ・イノベーション	東京都	R元.11.20～22
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	農業食料工学会シンポジウム・テクノフェスタ	埼玉県大宮市	R元.12.6
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	女性職員リーダー研修	盛岡市	R元.6.28
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	アグリビジネスジャパン	東京都	R元.9.12～13
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	政策形成能力向上講座	盛岡市	R元.11.18～19
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	三陸国際ガストロノミー会議2019	宮古市	R元.6.12
技師 坂口 昌啓	企画管理部 農業経営研究室	第3回いわてスマート農業祭	滝沢市	R元.8.23
室長 小野寺 健一 主査専門研究員 齋藤 智子	生産基盤研究部 水田利用研究室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	農業農村工学会大会講演会	東京都府中市	R元.9.4～5
室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	アグリビジネス創出フェア2019	東京都	R元.11.20
主任専門研究員 及川 光史	生産基盤研究部 水田利用研究室	アグリビジネス創出フェア2019	東京都	R元.11.21
室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	農業農村工学会東北支部秋田大会	秋田県秋田市	R元.11.12～13
室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	農業食料工学会、東北支部会	福島県福島市、郡山市	R元.8.27～28
室長 小野寺 健一 上席専門研究員 田村 和彦	生産基盤研究部 水田利用研究室	全国農業システム化研究会 最終成績検討会	東京都	R2.2.18～19
主査専門研究員 藤尾 拓也	生産基盤研究部 生産システム研究室	日本養液栽培研究会愛知大会、UECS研究会 総会	愛知県	R元.5.30～31
首席専研兼室長 八重樫 耕一 主査専門研究員 山口 貴之	生産基盤研究部 生産システム研究室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
首席専研兼室長 八重樫 耕一	生産基盤研究部 生産システム研究室	農業食料工学会、東北支部会	福島県福島市、郡山市	R元.8.27～28
主査専門研究員 山口 貴之	生産基盤研究部 生産システム研究室	園芸学会	島根県島根大学	R元.9.14～16
首席専研兼室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主査専門研究員 山口 貴之 主査専門研究員 藤尾 拓也	生産基盤研究部 生産システム研究室	アグリビジネス創出フェア アグロ・イノベーション2019	東京都	R元.11.20～22
首席専研兼室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主査専門研究員 山口 貴之	生産基盤研究部 生産システム研究室	農村食料工学会シンポジウム第24回テクノフェ スタ	埼玉県さいたま市	R元.12.6
首席専研兼室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 永富 巨人 主査専門研究員 山口 貴之 専門研究員 小原 あつ子	生産基盤研究部 生産システム研究室	全国農業システム化研究会 最終成績検討会	東京都	R2.2.18～19
室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	全国農業システム化研究会最終成績検討会	東京都千代田区(アルカディア市谷)	R2.2.19～20
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本作物学会東北支部第62回講演会	秋田県秋田市(秋田 県立大学生物資源 科学部)	R元.8.19～20
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本作物学会第248回講演会	鳥取県鳥取市(とり ぎん文化会館)	R元.9.25～26
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	日本官能評価学会2019年大会	東京都板橋区(東京 家政大学)	R元.11.17
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	競争資金応募に向けた分析依頼及び打ち合わせ	東京都世田谷区(東 京農業大学)	R元.11.18
主査専門研究員 小館 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	東北ハイテク研究会個別相談会	盛岡市(東北農業研 究センター)	R元.12.19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	外部資金応募打ち合わせ	つくば市(農研機構 食品研究部門)、 東京都渋谷区(伊藤 忠食糧(株))	R2.2.5~6
主査専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	イノベーション創出強化研究推進事業応募課題 の研究推進に関する打ち合わせ	沖縄県那覇市・名護 市(沖縄県農業研究 センター、同名護支 所)	R2.2.26~28
専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	生研支援センター外部資金活用セミナー	神奈川県川崎市(生 研支援センター)	R元.7.12
専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	東北農業試験研究発表会	盛岡市(いわて県民 情報交流センター)	R元.8.6
専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	第45回酒米研究会	東京都北区(滝野川 会館)	R元.9.6
専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	第11回日本水稻品質・食味研究会	岡山県岡山市(岡山 大学)	R元.11.1~2
専門研究員 高橋 祐也	生産基盤研究部 作物育種研究室	いわて農林水産物機能性活用セミナー	盛岡市(ホテルメトロ ポリタン盛岡)	R元.11.27
主任技能員 佐藤 洋貴	生産基盤研究部 作物育種研究室	第74回岩手県全国農業機械実演展示会・いわ てスマート農業祭トリニティ	滝沢市(岩手産業文 化センター)	R元.8.23
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 真介 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	イノベーション創出強化研究開発推進事業「水 稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子 -環境間相互作用の解明とゲノム育種による超 多収系統の育成」平成30年度第1回研究推進 会議	北上市(岩手生工 研)	R元.9.4
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 真介 専門研究員 藤岡 智明	生産基盤研究部 作物育種研究室	イノベーション創出強化研究開発推進事業「水 稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子 -環境間相互作用の解明とゲノム育種による超 多収系統の育成」令和元年度第2回研究推進 会議	盛岡市(いわて県民 情報交流センター)	R2.2.25
室長 佐々木 真人 主査専門研究員 浅川 知則	園芸技術研究部 果樹研究室	令和元年度園芸学会東北支部大会	秋田県秋田市	R元.8.27
専門研究員 西田 絵梨香	園芸技術研究部 果樹研究室	令和元年度園芸学会秋季大会	鳥根県松江市 (鳥根大学)	R元.9.15~16
主査専門研究員 浅川 知則	園芸技術研究部 果樹研究室	アグリビジネス創出フェア2019	東京都	R元.11.22
主査専門研究員 横田 啓 主査専門研究員 田代 勇樹 技師 佐藤 春菜 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	園芸学会平成31年度秋季大会	鳥根県	R元.9.14~16
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	シンポジウム「植物防疫の新たな展開の「その 後」をフォローする	東京都	R元.9.20
技師 佐藤 春菜 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	R元.11.20~22
主査専門研究員 田代 勇樹 技師 佐藤 春菜	園芸技術研究部 野菜研究室	農産物流通技術研究会	東京都	R元.11.28~29

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 横田 啓 技師 坂口 昌啓 専門研究員 熊谷 初美	園芸技術研究部 野菜研究室 企画管理部 農業経営研究室 県北農業研究所 園芸研究室	令和元年度「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」にかかる先進地視察研修	秋田県大潟村	R元.12.12～13
主査専門研究員 横田 啓 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	第7回生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	盛岡市	R元.12.17
技師 佐藤 春菜 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	第41回施設園芸総合セミナー・機器資材展	東京都	R2.2.4～5
主査専門研究員 横田 啓 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	第73回北日本病害虫研究発表会	秋田市	R2.2.20～21
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	第64回日本応用動物昆虫学会大会	-	中止
技師 佐藤 春菜 技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	園芸学会令和2年度春季大会 ポスター発表要旨投稿	-	中止
主査専門研究員 小田島 雅	園芸技術研究部 花き研究室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
主査専門研究員 佐々木 忍	園芸技術研究部 花き研究室	園芸学会令和元年度秋季大会	島根県松江市	R元.9.14～17
主査専門研究員 佐々木 忍	園芸技術研究部 花き研究室	花き遺伝育種・生産流通利用研究開発プラットフォーム第1回総会	茨城県つくば市	R2.1.15～16
専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	職員向けILC研修会	盛岡市	H31.4.15
専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	一眼レフカメラを使った写真撮影上達講座	宮古市	R元.6.6
主査専門研究員 高橋 大輔	園芸技術研究部 南部園芸研究室	第1回環境制御セミナー	北上市	R元.6.11
専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	園芸学会東北支部令和元年度大会	秋田県秋田市	R元.8.28
主査専門研究員 高橋 大輔	園芸技術研究部 南部園芸研究室	いわて環境制御技術セミナー(養液栽培技術)	北上市	R元.9.26
主査専門研究員 高橋 大輔	園芸技術研究部 南部園芸研究室	いちご大規模経営体先進事例研修	宮城県石巻市	R元.10.21
専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	宮城県次世代施設園芸推進大会	宮城県石巻市	R元.12.19
主査専門研究員 高橋 大輔 専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	イチゴ栽培研修会 ～クラウン温度とIPM防除技術、春先の栽培管理～	宮城県亘理町	R2.2.7
主査専門研究員 高橋 大輔	園芸技術研究部 南部園芸研究室	施設園芸セミナー・機器資材展	東京都江戸川区	R2.2.4～5
主査専門研究員 高橋 大輔 専門研究員 鈴木 朋代	園芸技術研究部 南部園芸研究室	いわてキュウリセミナー2020	北上市	R2.2.7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
生産環境研究部長 鈴木 良則 土壌肥料研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 高橋 良学 主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北土壌肥料研究会(夏季)	福島県南相馬市	R元.7.3～4
生産環境研究部長 鈴木 良則 土壌肥料研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 高橋 良学 主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北土壌肥料研究会・生産環境推進部会	盛岡市	R2.1.23～24
上席専門研究員 高橋 良学 主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	日本土壌肥料学会東北支部会	福島県南相馬市	R元.7.2～3
上席専門研究員 高橋 良学 主査専門研究員 葉上 恒寿	生産環境研究部 土壌肥料研究室	日本土壌肥料学会静岡大会	静岡県静岡市	R元.9.3～5
主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北農業研究試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北大豆セミナーinみやぎ	宮城県東松島市・登米市・石巻市	R元.8.30
主査専門研究員 葉上 恒寿	生産環境研究部 土壌肥料研究室	第61回 日本環境化学会講演会	東京都	R元.9.18
専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	研究力向上支援セミナー	盛岡市	R元.10.25
主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	高度技術者養成講習会「さわって学ぶ「誰でも使えるQGIS」」	滝沢市(岩手県立大学)	R元.11.26
主査専門研究員 葉上 恒寿 専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	QGISを介して行う位置情報解析	滝沢市(岩手県立大学)	R元.12.20
主査専門研究員 葉上 恒寿	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北直播研究会・稲栽培研究会	盛岡市	R2.1.28
専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	東北稲栽培研究会	盛岡市	R2.1.28
専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	緑肥を考える会	千葉県	R2.2.6～7
専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	寒冷地果樹研究会	盛岡市	R2.2.12～13



職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
土壌肥料研究室長 島 輝夫	生産環境研究部 土壌肥料研究室	令和元年度 農林水産省 ベンチャー/生産現場 連携促進シンポジウム 農業における先端技術活用の加速化を目指し てII	東京都	R2.2.14
主査専門研究員 岩館 康哉	生産環境研究部 病理昆虫研究室	全国土壌改良資材協議会講演会	東京都	H31.4.17
上席専門研究員 中野 央子 専門研究員 武田 純子	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第24回農林害虫防除研究会	沖縄県那覇市	R元.7.4～5
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉 上席専門研究員 中野 央子	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第62回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R元.8.6
主査専門研究員 羽田 厚	生産環境研究部 病理昆虫研究室	植物病害診断教育プログラム	岡山県岡山市	R元.9.9～13
主査専門研究員 岩館 康哉 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ	東京都	R元.9.18
技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和元年度日本植物病理学会関東部会	東京都	R元.9.19～20
上席専門研究員 中野 央子 主査専門研究員 羽田 厚 専門研究員 武田 純子 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	日本植物病防疫協会シンポジウム	東京都	R元.9.20
主査専門研究員 岩館 康哉 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和元年度日本植物病理学会東北部会	秋田県秋田市	R元.9.24～25
技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和元年度直は水稻に関する技術フォーラム	宮城県仙台市	R元.11.12～13
上席専門研究員 加藤 真城	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第29回天敵利用研究会	群馬県前橋市	R元.11.12～13
上席専門研究員 加藤 真城 上席専門研究員 中野 央子 主査専門研究員 岩館 康哉 主査専門研究員 羽田 厚 専門研究員 武田 純子 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和元年度岩手県植物防疫関係者技術研修 会	花巻市	R元.11.14～15
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉 上席専門研究員 加藤 真城 上席専門研究員 中野 央子 主査専門研究員 岩館 康哉 主査専門研究員 羽田 厚 専門研究員 武田 純子 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第7回生態と防除研究会	盛岡市	R元.12.16～17

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 岩館 康哉 専門研究員 武田 純子	生産環境研究部 病理昆虫研究室	薬剤抵抗性病害虫の防除体系検討のための ワークショップ	盛岡市	R2.1.17
上席専門研究員 加藤 真城 主査専門研究員 羽田 厚	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和元年度果樹茶業研究会	盛岡市	R2.2.12～13
病理昆虫研究室長 熊谷 拓哉 上席専門研究員 加藤 真城 上席専門研究員 中野 央子 主査専門研究員 岩館 康哉 主査専門研究員 羽田 厚 専門研究員 武田 純子 技師 佐々木 陽菜 主任技能員 佐藤 広昭 主任技能員 小黒沢 清人	生産環境研究部 病理昆虫研究室          土壌肥料研究室	第73回北日本病害虫研究発表会	秋田県秋田市	R2.2.20～21
上席専門研究員 加藤 真城 主査専門研究員 羽田 厚	生産環境研究部 病理昆虫研究室	第64回日本応用動物昆虫学会(みなし開催)	(愛知県名古屋市)	(R2.3.15～17)
主査専門研究員 岩館 康哉 主査専門研究員 羽田 厚 技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	令和2年度日本植物病理学会(みなし開催)	(鹿児島県鹿児島市)	(R2.3.19～21)
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤千穂子 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	第1回病害虫防除員等指導者研修会	北上市	R元.5.31
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 名久井一樹 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤千穂子	病害虫防除部 病害虫防除課	農薬適正販売・使用研修会	盛岡市	R元.6.14
主査 佐藤千穂子 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	東北農業試験研究推進会議 病害虫研究会(夏季)	秋田市	R元.8.27～28
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主任主査 名久井一樹 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤千穂子 主任 石川菜津美	病害虫防除部 病害虫防除課	岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R元.11.14

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	病害虫防除所職員等中央研修	横浜市	R元.12.3～6
課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一	病害虫防除部 病害虫防除課	生態と防除研究会	盛岡市	R元.12.17～18
主任主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	東北地区病害虫防除所職員技術研修会	仙台市	R2.1.22
主査 佐藤 千穂子	病害虫防除部 病害虫防除課	「AIを活用した病害虫診断技術の開発」年度末 検討会	農研機構	R元.12.17～20
主査 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	「AIを活用した病害虫診断技術の開発」成績及 び設計検討会	農研機構	R2.1.22～23
課長 勝部 和則 主査 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	東北農業試験研究推進会議 病害虫研究会	盛岡市	R2.1.24～25
主任主査 名久井一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	落葉果樹病害虫研究会	つくば市	R2.2.4～5
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主任主査 遠藤 歩美 主査 吉田 雅紀 主任 石川菜津美 技師 福田 拓斗	病害虫防除部 病害虫防除課	第2回病害虫防除員等指導者研修会	北上市	R2.2.6
主任主査 名久井一樹 主任主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	寒冷地果樹研究会	盛岡市	R2.2.12～13
部長 一守 貴志 課長 勝部 和則 主任主査 猫塚 修一 主査 吉田 雅紀 主査 佐藤千穂子 技師 福田 拓斗	病害虫防除部 病害虫防除課	北日本病害虫研究発表会	秋田市	R2.2.20～21
技師 福田 拓斗	病害虫防除部 病害虫防除課	東北地区病害虫同定識別技術研修会	塩釜市	R2.2.26～27
主査専門研究員 高杉 亘	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県西郷村	R元.6.10～24 R元.9.30 ～10.11 R2.1.15～24
室長 細川 泰子 主任専門研究員 米澤 智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	超音波画像診断研究会	青森県七戸町	R元.6.28
主任専門研究員 米澤智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	第11回北東北しゃくなげ会研修会	盛岡市	R元.9.13
上席専門研究員 西田 清	畜産研究所 家畜育種研究室	第111回日本養豚学会	福島県白河市	R元.10.24～25
上席専門研究員 安田 潤平	畜産研究所 家畜育種研究室	日本食品分析センター講習会	宮城県仙台市	R元.11.20
室長 細川 泰子 主査専門研究員 高杉 亘	畜産研究所 家畜育種研究室	ZENOAG 肉牛セミナー	盛岡市	R元.12.5
室長 細川 泰子 主任専門研究員 米澤 智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	肉用牛生産性向上講習会	滝沢市	R元.12.17

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 米澤 智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	肉用牛繁殖技術シンポジウム	福島市	R2.2.18
次長 藤原 哲雄 専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	AIセミナー	東京	R元.8.8
次長 藤原 哲雄 専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	自給飼料生産に関する全国シンポジウム	東京	R2.1.20
専門研究員 高橋 優希	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	酪農プロ養成塾	八幡平市 金ヶ崎町	R元.7.25～26 R元.8.29～30 R元.9.26～27
次長兼室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	三陸国際ガストロノミー会議2019	宮古市	R元.6.11
主査専門研究員 平間 ちが	畜産研究所 種山畜産研究室	出納員研修	盛岡市	R元.5.17
主査専門研究員 平間 ちが	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(2))	福島県西郷村	R元.10.7～11
主査専門研究員 平間 ちが	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	一関市	R元.11.22
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	ITサポート研修会	奥州市	R元.6.11
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度県南広域振興局管内の担当課長、総括主査等会計事務研修	奥州市	R元.8.7
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度奥州審査指導監管内会計事務研修	奥州市	R2.1.28
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	日本畜産学会第126回大会	盛岡市	R元.9.18
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	平成元年度獣医畜産業績発表会	盛岡市	R2.1.30
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(1))	福島県西郷村	R元.6.24～28
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	第211回地方審査員認定講習会	宮城県美里町	R元.8.26～28
主査専門研究員 平間 ちが 技師 篠崎 創 技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	和牛登記登録審査研修会	雫石町	R元.12.3
専門研究員 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	園芸学会平成31年度秋季大会	島根県松江市	R元.9.15～16
専門研究員 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	日植防シンポジウム 「病害虫被害の近未来を考える」	東京都	R2.1.20
専門研究員 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	第74回北日本病害虫研究発表会	秋田市	R2.2.21～22
作物研究室長 長谷川 聡	県北農業研究所 作物研究室	職員向けILC研修	盛岡市	H31.4.15
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	平成31年度安全衛生担当者研修会	盛岡市	H31.4.19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
総務課長 高橋 和則 主任行政専門員 向駒木 幸悦	県北農業研究所 総務課	平成31年度第1回会計事務研修会	二戸市	H31.4.22
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	地球温暖化対策第4次岩手県計画研修会	盛岡市	R元.5.13
所長 高橋 好範 総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和元年度出納員研修	盛岡市	R元.5.17
次長兼園芸研究室長 後藤 純子	県北農業研究所 園芸研究室	職員のためのメンタルヘルスセミナー	盛岡市	R元.6.10
次長兼園芸研究室長 後藤 純子	県北農業研究所 園芸研究室	ITサポート研修会	久慈市	R元.6.12
所長 高橋 好範 総務課長 高橋 和則	県北農業研究所	令和元年度第1回管理監督者実践セミナー	盛岡市	R元.7.5
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和元年度管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	盛岡市	R元.8.2
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	公共施設点検研修会	二戸市	R元.8.22
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和元年度第2回会計事務研修会	二戸市	R元.8.27
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	令和元年度RPAを活用した業務効率化に関する職員研修会	盛岡市	R元.11.26
所長 高橋 好範 総務課長 高橋 和則	県北農業研究所	令和元年度第2回管理監督者実践セミナー	盛岡市	R元.12.13
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	情報通信技術(ICT)の活用に向けた勉強会	久慈市	R2.1.31
総務課長 高橋 和則 ほか	県北農業研究所	令和元年度第3回会計事務研修会	二戸市	R2.2.3

#### 4 所内研修等

##### (1) 岩手県総務部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
企画管理部長 町屋 宜亨	企画管理部	ダイバーシティマネジメント研修	人事課主催	R元.6.7
企画管理部長 町屋 宜亨	企画管理部	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.7.19
研究企画室長 高城 保志	企画管理部 研究企画室	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9
上席専門研究員 鈴木 元	企画管理部 研究企画室	eラーニング マーケティング講座・プレゼンテーション講座	人事課主催	R元.7.1～ 12.27
主査専門研究員 長澤 睦	企画管理部 研究企画室	女性職員リーダー研修	人事課主催	R元.7.22
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	女性職員リーダー研修	人事課主催	R元.6.23
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	選択研修(政策形成能力向上講座)	人事課主催	R元.11.18～19
総務課長 筒井 則裕	企画管理部 総務課	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.7.19
主任 坂田 真樹子	企画管理部 総務課	安全衛生担当者研修会	総務事務センター 主催	H31.4.19
主任主査 金野 重夫	企画管理部 総務課	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9
水田利用研究室長 小野寺 健一	生産基盤研究部 水田利用研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	R元.5.27～29
上席専門研究員 木村 陽子	生産基盤研究部 水田利用研究室	新任主任主査研修	人事課主催	R元.6.10～11
生産システム研究室長 八重樫 耕一	生産基盤研究部 生産システム研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.7.19
生産システム研究室長 八重樫 耕一	生産基盤研究部 生産システム研究室	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9
上席専門研究員 永富 巨人	生産基盤研究部 生産システム研究室	新任主任主査研修	人事課主催	R元.6.24～25
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	第1回管理監督者実践セミナー	人事課主催	R元.7.5
生産基盤研究部長 扇 良明 作物育種研究室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	第2回管理監督者実践セミナー	人事課主催	R元.12.13
作物育種研究室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	H31.4.19
作物育種研究室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	R元.5.8～10
作物育種研究室長 仲條 眞介	生産基盤研究部 作物育種研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.2
主査専門研究員 小舘 琢磨	生産基盤研究部 作物育種研究室	eラーニング 論理的思考養成講座	人事課主催	R元.7.1～ 12.27
専門研究員 高橋 祐也	生産基盤研究部 作物育種研究室	eラーニング 問題発見解決力向上講座	人事課主催	R元.7.1～ 12.27

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
園芸技術研究部長 三田 重雄	園芸技術研究部	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.2
主査専門研究員 横田 啓	園芸技術研究部 野菜研究室	能力開発研修「交渉力向上講座」	人事課主催	R元.10.7～8
技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	新採用職員研修	人事課主催	H31.4.15～19 R元.6.18～21 R元.10.8～11
花き研究室長 内藤 善美	園芸技術研究部 花き研究室	新任担当課長研修	人事課主催	R元.5.13～15
主査専門研究員 佐々木 忍	園芸技術研究部 花き研究室	新任主査研修	人事課主催	R元.8.26～28
専門研究員 小澤 傑	園芸技術研究部 花き研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	R元.6.3～5
生産環境研究部長 鈴木 良則	生産環境研究部	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.7.19
生産環境研究部長 鈴木 良則	生産環境研究部	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9
生産環境研究部長 鈴木 良則	生産環境研究部	管理監督者実践セミナー	人事課主催	R元.12.13
上席専門研究員 鈴木 元	企画管理部 研究企画室	eラーニング マーケティング講座・プレゼンテーション講座	人事課主催	R元.7.1～ 12.27
土壌肥料研究室長 島 輝夫	生産環境研究部 土壌肥料研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.26～28
土壌肥料研究室長 島 輝夫	生産環境研究部 土壌肥料研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	R元.7.1～ 12.27
上席専門研究員 高橋 良学	生産環境研究部 土壌肥料研究室	新任主任主査研修	人事課主催	R元.6.24～25
主査専門研究員 葉上 恒寿	生産環境研究部 土壌肥料研究室	新任主査研修	人事課主催	R元.9.11～13
専門研究員 小田島 芽里	生産環境研究部 土壌肥料研究室	中堅職員研修	人事課主催	R元.6.10～12
専門研究員 白木 正俊	生産環境研究部 土壌肥料研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	R元.7.8～10
技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	R元.6.19～21
技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	eラーニング 問題発見・解決能力向上講座	人事課主催	R元.9.2～ 12.27
技師 佐々木 陽菜	生産環境研究部 病理昆虫研究室	eラーニング 論理的思考能力向上講座	人事課主催	R元.9.2～ 12.27
病害虫防除部長 一守 貴志	病害虫防除部	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.6.10～12
病害虫防除課長 勝部 和則	病害虫防除部 病害虫防除課	管理監督者実践セミナー	総務事務センター 主催	R元.7.5 R元.12.13
病害虫防除課長 勝部 和則	病害虫防除部 病害虫防除課	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.2
病害虫防除課長 勝部 和則	病害虫防除部 病害虫防除課	保副知事特別講和	人事課主催	R元.12.13
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9
主任主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	新任主任主査研修	人事課主催	R元.5.20
主任主査 遠藤 歩美	病害虫防除部 病害虫防除課	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.8.9

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任主査 名久井 一樹	病虫害防除部 病虫害防除課	鳥インフルエンザ作業支援班研修会	県南局	R元.9.13
主任主査 遠藤 歩美	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	R元.9.2~ 12.27
主任主査 名久井 一樹 技師 福田 拓斗	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	R元.9.2~ 12.27
主任 石川 菜津美	病虫害防除部 病虫害防除課	ITサポーター研修	科学・情報政策室主 催	R元.6.5
技師 福田 拓斗	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	R元.9.2~ 12.27
技師 福田 拓斗	病虫害防除部 病虫害防除課	千葉副知事特別講和	人事課主催	R2.2.13
技師 福田 拓斗	病虫害防除部 病虫害防除課	職員のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.6.10
技師 土谷 のぞみ 技師 妻神 大己	畜産研究所 家畜育種研究室	平成31年度採用3年目職員研修	盛岡市	R元.6.19~21 R元.8.5~7
家畜飼養・飼料研究 室長 及川 修	畜産研究所	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	総務事務センター 主催	R元.12.13
専門研究員 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度 中堅職員研修	人事課主催	R元.7.1~3
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度 採用3年目職員研修	人事課主催	R元.6.3~5
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	R元.7.1~ 12.27
技能員 千葉 弘和	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R元.7.1~ 12.27
総務課長 高橋 和則	県北農業研究所 総務課	平成31年度新任担当課長研修	人事課主催	R元.5.27~29
専門研究員 下川原 智	県北農業研究所 作物研究室	平成31年度採用3年目職員研修	人事課主催	R元.6.19~21
専門研究員 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	平成31年度採用3年目職員研修	人事課主催	R元.7.8~10
技能員 日山 将太	県北農業研究所 総務課	平成31年度採用3年目職員研修	人事課主催	R元.7.8~10
専門研究員 吉津 祐貴	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	R元.7.11~ 2.1.31
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	R元.7.11~ 2.1.31

## (2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	農林水産部新採用職員研修	農林水産企画室主 催	R元.6.6~7
技師 佐々木 達史	園芸技術研究部 野菜研究室	農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産企画室主 催	R元.8.26~30
主査 八重樫 恭子	畜産研究所 種山畜産研究室	令和元年度農林水産部会計事務担当職員研 修会	盛岡市	R元.11.14



## (3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師：研究企画室員	研究企画室	H31.4.5
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法等 講師：総務課員	総務課	H31.4.5
会計事務等研修会	本部	年度末及び年度当初の会計事務等 講師：総務課員	総務課	R2.2.7
交通安全研修会	本部	交通安全講話 講師：北上警察署交通課職員	総務課	R元.7.18
交通安全研修会	本部	交通安全講話 講師：北上警察署交通課職員	総務課	R元.11.28
救急救命・AED操作講習会	本部	基本的心肺蘇生法及びAEDの操作について 講師：北上消防署員	総務課	R元.8.26
健康推進研修	本部	働きやすい職場づくりのために 講師：(公財)岩手県予防医学協会職員	総務課	R元.11.7
健康推進事業研修会	畜産研究所	働き盛りから始める高血圧対策について 講師：(公財)予防医学協会保健師	総務課	R元.8.24
交通安全研修会	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識講話 講師：盛岡西警察署交通課交通企画係長	総務課	R元.8.24
農作業安全研修会	畜産研究所	農作業対策のポイント及び農業機械等の点検箇所について 講師：(株)みちのくボタサービス本部第3ブロック長	総務課	R元.9.6
健康管理研修会	畜産研究所	働き盛りのメンタルヘルス対策について 講師：県央保健所職員	総務課	R元.9.28
セクハラ・パワハラ研修会	畜産研究所	セクハラ・パワハラの防止について 講師：総務担当次長	総務課	R元.9.28
第1回会計事務処理研修会	畜産研究所	物品購入事務等に係る事務処理の留意点について、会計事務の適正な事務処理について 講師：盛岡広域振興局盛岡審査指導監職員	総務課	R元.10.26
文書作成事務研修会	畜産研究所	公用文作成の基礎について 講師：総務担当次長	総務課	R元.10.26
心肺蘇生等・AED操作研修会	畜産研究所	心肺蘇生等・AED講習会 講師：滝沢消防署滝沢北出張所署員	総務課	R元.11.29
第2回会計事務研修会	畜産研究所	収入・支出事務の留意事項について、物品購入事務の留意事項について 講師：盛岡広域振興局盛岡審査指導監職員	総務課	R2.1.30
パワーハラスメント研修	畜産研究所 種山畜産研究室	パワーハラスメント防止のために：DVD視聴	種山畜産研究室	R元.11.20
第1回安全衛生研修	県北農業研究所	熱中症予防と応急措置 講師：二戸消防署軽米分署員 夏場の健康管理 講師：二戸保健所職員	総務課	R元.6.24
交通安全研修会	県北農業研究所	運転者疑似体験型集合教育装置を用いた安全運転研修 講師：二戸警察署員	総務課	R元.9.19
第2回安全衛生研修	県北農業研究所	お口の健康づくり 講師：宮沢歯科医院院長 ほか	総務課	R元.11.14

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>[本部]</b> <b>[企画管理部]</b> 農業研究センター全体研修会	R元.6.28	令和元年度試験研究ほ場説明会 【説明研究課題等】 (1)省力かつ現場で使いやすいコメの無機と素低減技術の開発 (2)水稻の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成 (3)品種登録現地審査 (4)産地を強化するりんどうの品種育成(親系統の育成) ・りんどうの生育と生理生態の解明(作況調査) (5)水稻作況試験 (6)春まきタマネギの安定生産技術の確立 (7)高密度播種苗移植栽培試験 (8)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査 ・倒伏軽減剤の使用を前提とした多収栽培法 (9)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査 ・立枯性病害特性検定 (10)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (11)りんごのわい化栽培における早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	28 名
<b>[生産基盤研究部]</b> 部内ゼミ	R元.7.22	圃場説明会	40 名
	R元.11.15	Wild Cup受賞の「水田で稼げ！～アスパラガス100億円 運動～」に 山口 貴之(生産システム研究室 主査専門研究員)	20 名
	R元.12.26	アメリカの農業事情 八重樫 耕一(首席専門研究員兼生産システム研究室長)	30 名
	R2.2.21	水田輪作における作業技術から見た研究の発想と手法 及川 一也(元県北農業研究所長)	35 名
<b>[園芸技術研究部]</b> 部内ゼミ	R元.5.28	・「令和」に「昭和」の研究成果を振り返る 小田島 雅(花き研究室 主査専門研究員) ・研究活動と普及活動 三田 重雄(園芸技術研究部長)	14 名
	R元.6.26	・野菜関係圃場視察 横田 啓(野菜研究室 主査専門研究員) 田代 勇樹( " 主査専門研究員) 佐藤 春菜( " 技師) 佐々木 達史( " 技師)	13 名
	R元.7.9	・東北農業試験研究発表会予行演習 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) 小田島 雅(花き研究室 主査専門研究員)	10 名
	R元.9.30	・花き関係圃場視察 小澤 傑(花き研究室 専門研究員)	11 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続き)	R元.12.26	・農家体験研修報告 佐々木 達史(野菜研究室 技師) ・中国雲南省シンポジウム報告 三田 重雄(園芸技術研究部長) 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) ・果樹の育種について 浅川 知則(果樹研究室 主査専門研究員)	12 名
<b>[生産環境研究部]</b> 生産環境研究部ゼミ	H31.4.4	大雄ホップ農業協同組合ホップ栽培講習会事前発表 佐々木 陽菜(病理昆虫研究室 技師)	15 名
生産環境研究部ゼミ	R元.6.28	土壌肥料学会東北支部大会事前発表 高橋 良学(土壌肥料研究室 上席専門研究員) 葉上 恒寿(土壌肥料研究室 主査専門研究員)	6 名
生産環境研究部ゼミ	R元.7.31	東北農業試験研究発表会事前発表 葉上 恒寿(土壌肥料研究室 主査専門研究員) 小田島 芽里(土壌肥料研究室 専門研究員)	15 名
生産環境研究部ゼミ	R元.8.30	土壌肥料学会静岡大会事前発表 高橋 良学(土壌肥料研究室 上席専門研究員) 葉上 恒寿(土壌肥料研究室 主査専門研究員)	6 名
生産環境研究部ゼミ	R2.2.14	北日本病害虫研究発表会事前発表 加藤 真城(病理昆虫研究室 上席専門研究員) 中野 央子(病理昆虫研究室 上席専門研究員) 岩館 康哉(病理昆虫研究室 主査専門研究員) 佐々木 陽菜(病理昆虫研究室 技師)	23 名
<b>[畜産研究所]</b> 第1回セミナー	R元.7.11	(1)第62回東北農業試験研究発表会(8/6開催) 予演会 演題 黒毛和種育成期における高蛋白質飼料が発育等成績に及ぼす影響 発表者:安田 潤平(家畜育種研究室 主査専門研究員) 演題 パークシャー種肥育後期用配合飼料における栄養バランスによる背脂肪厚及び日増体量の推定 発表者:高杉 亘(家畜育種研究室 主査専門研究員) 演題 BLEタグを用いた放牧地における牛群個体確認労力の低減効果について 発表者:佐々木 康仁(外山畜産研究室 主任専門研究員)	16 名
第2回セミナー	R元.11.25	(1)令和元年度農研機構マッチングフォーラムin東北(12/4開催) 予演会 演題 岩手県の転作田におけるフェストロリウムの栽培実証と普及 発表者:高村 聡美(家畜飼養・飼料研究室 専門研究員)	9 名
第3回セミナー	R2.2.7	(1)伝達研修 演題 統計セミナー 発表者:高橋 良乃(家畜育種研究室 専門研究員) 演題 実践統計学を受講して 発表者:佐藤 真(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員) (2)日本草地学会静岡大会予演会 演題 トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用 - 表面施用 - 演題 トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用 - 前年多量施用 -	12 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続き) 第4回セミナー	R2.3.17	(1)伝達研修 演題 家畜生産性向上のための育種改良技術に関する研究 発表者:羽田 雅紀(種山畜産研究室 専門研究員) 演題 食肉品質の理化学的特性、官能特性、消費者嗜好の分析・データ解析、およびこれらを活用した差別化・ブランド化に関する研究 発表者:土谷 のぞみ(家畜育種研究室 技師)	23 名
<b>[県北農業研究所]</b> 第1回所内ゼミ	R元.5.16	・小野 直毅(作物研究室 技師) 「固定タイン式除草機適用指標作成に向けた畑作物生育初期の引拔抵抗値評価」 ・熊谷 初美(園芸研究室 専門研究員) 「ハイブッシュブルーベリーの休眠特性に関する研究」	10 名
第2回所内ゼミ	R元.6.13	・長谷川 聡(作物研究室長) 「市場性の高い雑穀品種・系統の特性評価」 (平成14年度 依頼研究員研修報告)」 ・細越 翔太(園芸研究室 専門研究員) 「岩手県のタマネギ初冬どり新作型における定植時期が収量に及ぼす影響」	12 名
第3回所内ゼミ (圃場巡回)	R元.7.11	・下川原 智(作物研究室 専門研究員) 「水稻奨励品種決定調査」 ・熊谷 初美(園芸研究室 専門研究員) 「コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立」 ・小野 直毅(作物研究室 技師) 「ミヤマトウキ苗安定生産技術の確立」 ・金森 靖(園芸研究室 上席専門研究員) 「寒玉系キャベツの直播栽培」 ・細越 翔太(園芸研究室 専門研究員) 「タマネギ初冬どり新作型の開発」 ・吉津 祐貴(作物研究室 専門研究員) 「雑穀除草剤予備試験」 ・高草木 雅人(作物研究室 主任専門研究員) 「雑穀育成系統生産力検定試験」	13 名
臨時所内ゼミ	R元.8.1	・小野 直毅(作物研究室 技師) 「大豆畑法面におけるアレチウリの発生活長と省力管理の試み」	12 名
第4回所内ゼミ	R元.9.18	・高橋 好範(県北農業研究所長) 「硫黄を用いた高窒素たい肥製造技術について」 ・石川 裕子 ((公財)岩手生物工学研究センター 研究員) 「雑穀の遺伝資源の保存状況、アワの病害研究の近況など」	12 名
臨時所内ゼミ	R元.10.17	・高橋 好範(県北農業研究所長) 「断面調査法と全国デジタル土壌図」	8 名
第5回所内ゼミ	R2.1.17	・金森 靖(園芸研究室 上席専門研究員) 「水稻育苗用プール施設を利用した葉菜類の水耕栽培マニュアル」 ・高草木 雅人(作物研究室 主任専門研究員) 「機械移植に適した雑穀育苗技術の検討」	12 名
第6回所内ゼミ	R2.2.14	・後藤 純子(次長兼園芸研究室長) 「「防除が要らない」ことの実証 水稻初期害虫の隔年防除技術」 ・下川原 智(作物研究室 専門研究員) 「「いわてっこ」における障害型冷害の解析」	12 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続き) 第7回所内ゼミ	R2.3.16	・細越 翔太(園芸研究室 専門研究員) 「岩手県のだまねぎ初冬どり新作型における育苗条件の違いがセット球内の養分量ならびに収量に及ぼす影響」 ・吉津 祐貴(作物研究室 専門研究員) 「たかきびの近況について」	12 名



## 試験研究以外の業務概要





## 試験研究以外の業務概要

### 1 作物の原々種の採種

#### (1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ	8	263	農業研究センター
	いわてっこ	5	101	〃
水稻(酒米)	結の香	1	24	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	3	49	〃
小麦	ゆきちから	10	330	〃
大豆	リュウホウ	10	159	〃

#### (2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
りんどう	(令和元年度:無し)	-	-	-

## 2 作物の原種の採種

### (1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	金色の風	28	1,040	農業研究センター
	いわてっこ	100	3,700	"
	あきたこまち	85	2,480	"
	どんびしゃり	27	1,080	"
	ひとめぼれ	351	13,700	"
水稻(酒米)	結の香	4	160	農業研究センター
水稻(飼料用米)	たわわっこ	20	640	農業研究センター
	つぶゆたか	25	1100	"
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
小麦	ナンブコムギ	290	5,760	農業研究センター
	ゆきちから	200	5,901	"
大豆	リュウホウ	140	2,181	農業研究センター
	ユキホマレ	25	190	"

### (2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	-
そば	-	-	-	-
ヒエ	ねばりっこ2号	0.1	2	県北農業研究所
キビ	ひめこがね	0.1	2	県北農業研究所
アワ	-	-	-	-

### 3 種苗等の配布

#### (1) 岩手県稲、麦類及び大豆の種子の生産等に関する要綱に基づく種子の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和2年採種圃播種用)	ひとめぼれ	10,910	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	1,920	〃
	いわてっこ	1,240	〃
	どんびしゃり	440	〃
	かけはし	140	〃
	銀河のしずく	760	〃
	金色の風	280	〃
酒造好適米原種 (令和2年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和2年採種圃播種用)	つぶゆたか	470	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	たわわっこ	540	〃
水稻もち原種 (令和2年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,200	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	75	〃
	めんこもち	25	〃
小麦原種 (令和元年採種圃播種用)	ナンブコムギ	3,500	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	4,460	〃
	銀河のちから	480	〃
大豆原種 (令和2年採種圃播種用)	ナンブシロメ	225	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,560	〃
	ユキホマレ	25	〃

注)旧年産の種子も供給していること。

#### (2) その他種苗の配布

種 類	品 種・系 統	数 量(単 位)	配 布 先
小豆原種	岩手大納言	3(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	1(kg)	〃
ヒエ原種	ねばりっこ2号	3.6(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	大槌10	0.25(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	ゆいこがね	0.25(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
キビ原種	ひめこがね	0.7(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	種苗生産用親株(培養苗)		
	Sen2(2-28(B))	400(株)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	ももずきんちゃん	400(株)	〃

#### 4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:令和2年3月31日現在)

##### (1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
安久勝晃	233	785	435	301	207	259	162	190	283	205	196	439	3,695
菊勝久	476	280	291	233	217	309	186	251	211	231	268	210	3,163
花金幸	85	20	25	40	58	182	88	117	223	200	99	155	1,292
菊福秀	50	43	50	39	30	100	28	79	37	50	11	10	527
辰美継	65	55	50	0	60	40	50	0	50	41	20	25	456
暁雲	10	15	3	5	15	0	0	0	49	70	15	15	197
裕勝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170	0	170
美津福勝	0	0	0	0	0	0	0	15	35	100	5	28	183
月山桜	0	10	0	13	30	5	30	5	59	0	0	30	182
岩洋永克	30	0	20	20	14	0	30	15	0	0	10	10	149
山根雲	10	5	0	16	0	50	2	10	20	10	10	10	143
百合茂勝	30	0	0	0	0	5	30	3	52	4	6	0	130
平栄福	15	0	0	0	20	50	10	0	0	0	0	0	95
菊安舞鶴	0	0	30	26	0	0	0	0	0	0	25	3	84
春北平	0	0	0	0	0	50	0	0	3	0	0	0	53
その他	0	35	30	38	0	25	15	40	43	36	54	48	364
計	1,004	1,248	934	731	651	1,075	631	725	1,065	947	889	983	10,883

##### (2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉誉	0	70	0	0	0	0	20	5	0	0	20	30	145
松福	0	30	0	0	0	0	0	21	10	0	0	3	64
高福	0	20	20	0	3	0	0	0	0	0	0	0	43
福波	0	0	0	5	25	0	0	0	0	0	0	10	40
川春	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
民姫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	20
その他	3	0	0	20	11	0	0	0	11	0	2	68	115
計	3	120	40	25	39	0	20	26	21	10	32	111	447

## 5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和2年3月31日現在)

### (1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	-	-		県内養豚農場
B	-	1	76	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	8	県内養豚農場
計	0	1	84	

### (2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	1,830	621	2,451	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

## 6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和元年5～10月)

### (1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	35	1	28	64

### (2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	5	1	3	9



**人事、予算、財産**





## 人事、予算、財産

### 1 岩手県農業研究センター予算 (令和元年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費(本部)		668,029
人件費(県北)		106,130
庁舎管理費(本部)		123,979
庁舎管理費(県北)		27,997
ほ場管理費(本部)		46,961
ほ場管理費(県北)		3,546
ふれあい公園管理運営費		12,880
試験研究費(国庫、委託試験等)		189,846
(1)植物防疫研究費	11,483	
(2)土壌対策研究費	3,733	
(3)外部資金等農業試験研究費	174,630	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		12,024
主要農作物採種管理費		23,058
令達事業(本部)		39,121
令達事業(県北)		952
共同研究機関配分研究費		39,600
合 計		1,294,123
<b>【畜産業費】</b>		
人件費(畜産)		419,944
庁舎管理費		81,532
飼育管理費		130,756
管理運営費(種山畜産研究室分)		123,513
試験研究費(国庫、委託試験等)		22,566
農業関係試験研究委託事業	22,566	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		14,765
令達事業		45,344
合 計		838,420
全 体 計		2,132,543

## 2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (R2.3.31現在)

### (1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m <sup>2</sup> )		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
<b>【主な施設面積(内数)】</b>										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整 調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ 崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

### (2) 飼養家畜頭数 (R2.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		44	44	ホルスタイン種 68
	育成牛(子牛含む)		24	24	
肉用牛	(滝沢)	107 (雄30,去勢77)	33	140	黒毛和種 56、日本短角種 84 (子牛除く)
	(外山)	14 (子牛14)	135 (子牛17)	149	黒毛和種 82、日本短角種 53 (育成牛・子牛を含む)
	(種山)	73 (雄40,去勢33)	28	101	黒毛和種 101 (育成牛を含む)
	牛 計	194	264	458	
豚	種豚	19	33	52	【種豚の内訳】
	その他	-	-	172	パークシャー種 136、ランドレース種(イワテハ ヤチネL2) 12、デュロック種 1、雑種 70
	計	19	33	224	
鶏	種鶏	-	-	1,730	岩手地鶏267、新ロード503、基礎鶏329、ホワ イトロック580、ホワイトロック51

### 3 種苗登録、特許等

#### (1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	"
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	"
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	"
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	"
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	"
りんどう	アルピレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	"
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	"
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	"
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	"
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	"
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	"
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	"
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	"
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	"
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	"
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	"
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	"
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	"
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	"
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	"
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	"
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	"
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	"
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	"
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	育成者権消滅
大豆	ぶっくらこ	第11,100号	H15.3.17	"
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	"
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	育成者権消滅
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	"
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	"
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	"
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	"
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	"

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	育成者権消滅
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	"
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	"
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	"
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	"
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	"
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	"
稲	どんぴしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	"
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	"
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	育成者権消滅
稲	かくやの舞	第20,350号	H23. 2.15	"
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	"
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	育成者権消滅
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	"
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	"
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	"
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	育成者権消滅
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	育成者権消滅
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きらほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	第25,234号	H28. 6.10	
きび	ひめこがね	第26,971号	H30. 8.13	
りんどう	いわてLB-3号	第25,770号	H29. 3. 1	
りんどう	いわてLB-4号	第25,771号	H29. 3. 1	
稲	岩手117号	第26,436号	H30. 1.24	
稲	銀河のしずく	第26,561号	H30. 3.29	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	第26,414号	H30. 1.24	
りんどう	いわてEB-1号	第26,415号	H30. 1.24	
りんご	雪いわて	第26,691号	H30. 5.16	
稲	金色の風	第27,649号	R元.12. 9	
りんどう	いわてEB-2号	第27,159号	H30. 1.23	
りんどう	いわてMB-2号	第27,160号	H30. 1.23	
稲	たわわっこ	出願番号第32,947号	出願(H30. 3.16)	
いちご	そよかの	出願番号第33,721号	出願(H31. 2.19)	

## (2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の生育状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断器具	特開2014-204881(H26.10.30)	6120275 (H29. 4. 7)
植物の栽培方法及び植物の栽培装置	特開2015-173612(H27.10. 5)	6369827 (H30. 7.20)
リンドウの栽培方法	特願2019-217750(R1.12. 2)	(出願・審査請求中)

### (3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

開発者の所属・職名は、公開当時のもの。

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(外部表彰) 「平成31年度研究 功労者表彰」 全国農業関係試験 研究場所長会	企画管理部	農業経営研究室	上席専門研究員	前山 薫	岩手県における農業技術体系 データベース・システムの開発	R元.6.20
(内部表彰) 令和元年度岩手県 職員表彰 (業績顕著者表彰)	畜産研究所	種山畜産研究室			黒毛和種優良種雄牛「菊勝久」 及び「安久勝晃」を造成し、その 普及促進に努め、本県畜産業 の振興に貢献	R元.11.15
(内部表彰) 令和元年度第2回 農林水産部長表彰						
(内部表彰) 令和元年度第1回 農業研究センター 所長表彰 (通算34回)	病害虫防除部	病害虫防除課	主任主査	遠藤 歩美	予察情報等の記載ミスや添付 ファイルの不備等、リスク回避の ためのチェックシートの考案及 びチェック体制の整備	R2.2.18
		病害虫防除課	主査	吉田 雅紀	農研センター内のルールを作 成して防除指針作成事務の円 滑化に貢献	
(内部表彰) 令和元年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算35回)	企画管理部	総務課 研究企画室	主任 主査 主査 主任	坂田 真樹子 長澤 睦 阿部 敦 土屋 淑子	「会計年度任用職員」制度への 円滑な移行に対する貢献	R2.2.18
		生産基盤研究部	生産システム研究室	上席専門研究員	永富 巨人	
	生産システム研究室		専門研究員	小原 あつ子	岩手県における水稲高密度播 種苗の播種量及び育苗日数の 検討	
	作物育種研究室		主査専門研究員	小舘 琢磨	気孔コンダクタンス値を用いた 水稲多収系統の選抜方法	
	水田利用研究室		主任専門研究員	及川 光史	岩手県中南部におけるアメリカ アサガオの防除方法	
	水田利用研究室		主査専門研究員	齋藤 智子	令和元年度台風第19号による 大豆の冠水被害	
	園芸技術研究部	野菜研究室	主査専門研究員	田代 勇樹	きゅうり先端肥大発症助長要 因の解明および発症軽減対策 技術の確立	
			技師	佐藤 春菜		
		南部園芸研究室	専門研究員	鈴木 朋代	「いちご低温カット栽培における 極晩生いちご品種「そよかの」 の特性」及び「いちご促成栽培 における種子繁殖型品種「よつ ぼし」の各栽培体系の導入効 果」の解明	
		花き研究室	専門研究員	小澤 傑	新奇性の高い鉢花向け八重咲 きりんどう「いわてDfG PB-1号」 の育成	
	生産環境研究部	果樹研究室	専門研究員	西田 絵梨香	ぶどう「サニールージュ」の省力 的な無核化技術の確立	
		土壌肥料研究室	上席専門研究員	高橋 良学	土壌の可給態窒素に基づく雨 よけトマトの窒素減肥技術及び マイクロ波抽出と簡易測定キット による土壌蓄積養分の簡易評 価手法	
		病理昆虫研究室	技師	佐々木 陽菜	水稲・大豆の優良種子供給に 向けた植物病理学的なモニタリ ング業務の取組	

(次ページに続く)

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日		
(前ページ続き) 令和元年度第2回 農業研究センター 所長表彰	病害虫防除部	病害虫防除課	主任主査	猫塚 修一	的確な発生予察と高いリーダーシップでイネ細菌病類の被害軽減に貢献	R2.2.18	
			主任	石川 菜津美			
		病害虫防除課	主任主査	名久井 一樹			緻密な要因解析に基づく防除対策の提示でリンゴ黒星病による被害軽減に貢献
			主任主査	猫塚 修一			
		病害虫防除課	主査	佐藤 千穂子			ネギ葉枯病(黄色斑紋病斑)における発生特徴の解明と防除対策の実践指導
			技師	福田 拓斗			
		病害虫防除課	主査	遠藤 歩美			東北各県に先駆け果樹カメムシ類の新たな発生予察手法を開発
主任主査	猫塚 修一						
病害虫防除課	主査	吉田 雅紀	大豆子実害虫の新防除体系確立に向け「ホソヘリカメムシ」の発生生態を解明				
病害虫防除課	主任主査	猫塚 修一	2年連続の快挙!「北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)」を受賞				
(内部表彰) 令和元年度第1回 畜産研究所長表彰	畜産研究所	家畜飼養・飼料研究室	日々雇用職員	峰松 泉	DNA 関連の専門的な実験手法の技術継承	R元.9.11	
			上席専門研究員	昆野 勝			
		種山畜産研究室	上席専門研究員	平間 ちが			皮膚糸状菌治療薬の調合および効果的施用方法の指導
		外山畜産研究室	主任専門研究員 日々雇用職員	吉田 力 荒木田しず子			免税経由補給記録簿の様式変更
令和元年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰	畜産研究所	総務課	主任主査	阿部 君男	予算事務をはじめとする当所の適切な管理運営への貢献	R2.3.3	
		家畜飼養・飼料研究室	主査専門研究員	佐藤 真	不耕起栽培における堆肥活用型の栽培技術の確立		
		種山畜産研究室	主査	八重樫 恭子	適正な勤務命令の発令と手当支給および事務の効率化への貢献		
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員 " 技能員 " 非常勤職員 " 期限付臨時職員 " 日々雇用職員	工藤 明彦 水澤 博征 西野 聖 日下 貴行 角掛 辛一 館 春美 角掛 章 角掛 一尋 高久 しげり	牛の快適性を重視した牛舎環境の整備		
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員 " 技能員 " 期限付臨時職員 " 上席専門研究員	中村 健 鷺見 義信 中軽米 徳典 柳村 富士雄 阿部 憲司 石山 秋男 西田 清	豚舎における衛生対策の徹底		
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員 " 技能員 " 日々雇用職員 " 日々雇用職員 " 日々雇用職員	永洞 俊司 菅原 薫 細野 貴樹 妻神 大己 高橋 多鶴子 中村 真弓 角掛 富夫 堀江 正実	孵卵室の温度管理の徹底と種卵管理法の改良		



表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(内部表彰) 令和元年度 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰	県北農業研究所	総務課	主任行政専門員	向駒木 幸悦	年度途中の税率改正に伴う変更契約等の適正な事務処理	R2.2.14
		園芸研究室	専門研究員	熊谷 初美	春まきタマネギの安定生産を図るための試験研究3成果を取りまとめた	
		作物研究室	主任専門研究員	高草木 雅人	アレチウリの生態に基づいた薬剤とレーキ式除草機を組み合わせた除草技術を確立し、研究成果として取りまとめた	

5 職員名簿

(令和2年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
所長(事務取扱)	小 岩 一 幸	野菜研究室長	川 戸 善 徳
所付	高 橋 涉	主査専門研究員(総括)	横 田 啓
企画管理部長	町 屋 宜 亨	主査専門研究員	田 代 勇 樹
研究企画室長	高 城 保 志	技師	佐 藤 春 菜
上席専門研究員(総括)	鈴 木 元	技師	佐 々 木 達 史
主査専門研究員	長 澤 睦	主任技能員	猪 澤 哲 哉
主査専門研究員	阿 部 敦	花き研究室長	内 藤 善 美
主任専門研究員	伊 勢 智 宏	主査専門研究員(総括)	小 田 島 雅
主任専門研究員	土 屋 淑 子	主査専門研究員	佐 々 木 忍
首席専門研究員 兼農業経営研究室長	及 川 浩 一	専門研究員	小 澤 傑
上席専門研究員(総括)	前 山 薫	首席専門研究員 兼南部園芸研究室長	漆 原 昌 二
主査専門研究員	吉 田 徳 子	主査専門研究員	高 橋 大 輔
技師	坂 口 昌 啓	専門研究員	鈴 木 朋 代
総務課長 (総務チーム)	筒 井 則 裕	生産環境研究部長	鈴 木 良 則
主査(総括)	熊 谷 和 泉	土壌肥料研究室長	島 輝 夫
主任	坂 田 真 樹 子	上席専門研究員(総括)	高 橋 良 学
(管理チーム)		主査専門研究員	阿 部 弘
主任主査(総括)	金 野 重 夫	主査専門研究員	葉 上 恒 寿
主任	田 村 絵 美	専門研究員	小 田 島 芽 里
生産基盤研究部長	扇 良 明	専門研究員	白 木 正 俊
水田利用研究室長	小 野 寺 健 一	主任技能員	小 黒 澤 清 人
上席専門研究員(総括)	田 村 和 彦	病理昆虫研究室長	熊 谷 拓 哉
上席専門研究員	木 村 陽 子	(病理チーム)	
主査専門研究員	齋 藤 智 子	主査専門研究員(総括)	岩 舘 康 哉
主任専門研究員	及 川 光 史	主査専門研究員	羽 田 厚
主任技能員	菅 野 輝 彦	技師	佐 々 木 陽 菜
首席専門研究員 兼生産システム研究室長	八 重 樫 耕 一	(昆虫チーム)	
上席専門研究員(総括)	吉 田 宏	上席専門研究員(総括)	加 藤 真 城
上席専門研究員	永 富 巨 人	上席専門研究員	中 野 央 子
主査専門研究員	山 口 貴 之	専門研究員	武 田 純 子
主査専門研究員	藤 尾 拓 也	主任技能員	佐 藤 広 昭
専門研究員	小 原 あ つ 子	病害虫防除部長	一 守 貴 志
主任技能員	西 野 哲 仁	病害虫防除課長	勝 部 和 則
作物育種研究室長	仲 條 眞 介	(予察・防除チーム)	
主査専門研究員(総括)	小 舘 琢 磨	主任主査(総括)	猫 塚 修 一
専門研究員	藤 岡 智 明	主任主査	名 久 井 一 樹
専門研究員	高 橋 祐 也	主任	石 川 菜 津 美
主任技能員	佐 藤 洋 貴	(農薬指導チーム)	
園芸技術研究部長	三 田 重 雄	主任主査(総括)	遠 藤 歩 美
果樹研究室長	佐 々 木 眞 人	主査	佐 藤 千 穂 子
主査専門研究員(総括)	大 野 浩	主査	吉 田 雅 紀
主査専門研究員	浅 川 知 則	技師	福 田 拓 斗
主任専門研究員	高 橋 藍		
専門研究員	西 田 絵 梨 香		
主任技能員	菊 地 徳 章		

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	小野正隆	首席専門研究員兼外山畜産研究室長	大宮元
次長	佐藤博行	主査専門研究員	尾張利行
次長	藤原哲雄	主任専門研究員	吉田力
次長	熊谷光洋	主任専門研究員	佐々木康仁
主幹兼総務課長	古里清孝	主任技能員	上野由克
主任主査	阿部君男	主任技能員	上澤賢輝
主事	米村征哉	技能員	武田溪介
主任技能員	右京隆二		
主任技能員	工藤明彦	種山畜産研究室長(次長兼務)	熊谷光洋
主任技能員	荒木田俊一	上席専門研究員	平間ちが
主任技能員	中村健	主査	八重樫恭子
主任技能員	永洞俊司	専門研究員	羽田雅紀
主任技能員	菅原薫	技師	篠崎創
主任技能員	細野貴樹	技師	小澤さち
主任技能員	鳴海茂揮	主任技能員	松本徹
主任技能員	鷺見義信	主任技能員	後藤克明
主任技能員	水澤博征	技能員	千葉弘和
主任技能員	畠山博文	県北農業研究所長	高橋好範
主任技能員	谷地館透	次長	後藤純子
主任技能員	葉木澤一也	総務課長	高橋和則
主任技能員	荒屋康之	(施設管理スタッフ)	
技能員	中軽米徳典	主任行政専門員	向駒木幸悦
技能員	西野聖	(ほ場管理チーム)	
技能員	妻神大己	主任技能員	清水賢一
技能員	日下貴行	技能員	藤根寛道
技能員	廣田裕誠	技能員	日山将太
技能員	小林雄二	園芸研究室長(次長兼務)	後藤純子
首席専門研究員兼家畜育種研究室長	細川泰子	(野菜研究チーム)	
上席専門研究員	西田清	上席専門研究員	金森靖
主査専門研究員	高杉亘	専門研究員	熊谷初美
主査専門研究員	安田潤平	専門研究員	細越翔太
主任専門研究員	米澤智恵美		
専門研究員	高橋良乃	作物研究室長	長谷川聡
技師	土屋のぞみ	(特産作物研究チーム)	
家畜飼養・飼料研究室長	及川修	主任専門研究員	高草木雅人
上席専門研究員	昆野勝	技師	小野直毅
主査専門研究員	佐藤真	(水稻研究チーム)	
主任専門研究員	小梨茂	専門研究員	下川原智
専門研究員	高村聡美	専門研究員	吉津祐貴
専門研究員	高橋優希		



# 東日本大震災津波への対応



## 東日本大震災への対応

### 1 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー・成果展示等	開催日	延べ参加者数
【研修会・セミナー】		
第1回稲作コスト低減研修会(先端プロ・社会実装:水稲鉄コ直播関連)	R元.8.1	70
先端P現地検討会・復旧農地先端技術導入研修(先端プロ実証・水田営農)	R元.8.20	63
第2回稲作コスト低減研修会(先端プロ・社会実装:水稲鉄コ直播関連)	R2.2.10	90
第3回稲作コスト低減研修会(先端プロ・社会実装)	R2.2.11	91
いわてキュウリセミナー(先端プロ・実証研究)	R元.6.11	35
環境制御研修会(先端プロ・社会実装)	R元.6.21	50
いわて環境制御技術セミナー(先端プロ・社会実装)	R元.9.26	102
盛岡市環境制御技術研究会(先端プロ・社会実装)	R元.9.27	25
第1回いわて環境制御技術セミナー	R元.6.11	60
いわて環境制御技術セミナー(養液栽培技術)	R元.9.26	70
いわてキュウリセミナー2020(先端プロ社会実装・実証研究)	R2.2.26	70
【成果展示等】		
農業研究センター参観デー(共通)	R元1.9.7	1,500
いわてスマート農業祭トリニティー(先端プロ・社会実装、実証・水田営農)	R元.9.26	25,000
アグリビジネス創出フェア(共通)	R元.11.20~22	36,000

### 2 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
被災地におけるめん羊の放牧に関する調査(事業成果物の取りまとめ会議等)	4	7





# 沿革



## 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。  
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。  
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。  
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。  
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。  
農業試験場畜産部を種畜場と併設。  
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。  
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。  
農業試験場に遠野試験地が国から移管。  
農業試験場に農業経営研究部門設置。  
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。  
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びびぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びびぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。  
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。  
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。  
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。  
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。  
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。  
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。  
園芸試験場に環境部を設置。  
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。  
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。  
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編し、5部体制に整備 環境部を生産環境研究部と改称

< 所 在 >

岩手県農業研究センター		
<b>本 部</b>	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="http://www2.pref.iwate.jp/hp2088/">http://www2.pref.iwate.jp/hp2088/</a> E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
<b>畜産研究所</b>	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
<b>県北農業研究所</b>	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

令和 元 年度 岩手県農業研究センター年報  
令和 2 年 11 月発行

**岩手県農業研究センター**

〒024-0003 岩手県北上市成田20 - 1

TEL(0197)68-2331 FAX(0197)68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

